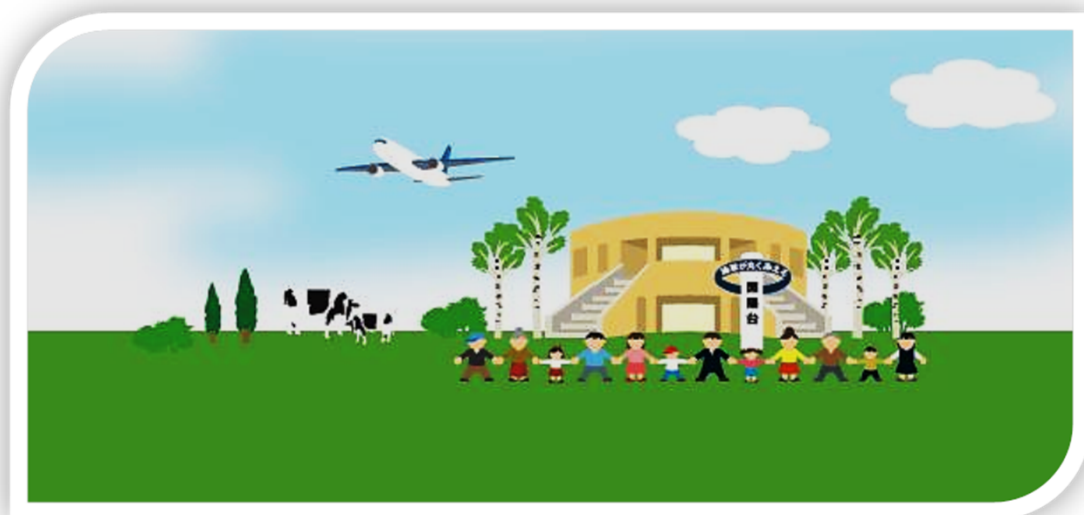


《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート 調査結果報告書



平成30年12月

中標津町 総務部 企画課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
（１）調査の目的	1
（２）調査対象及び調査方法	1
（３）配布数及び回収結果	1
（４）本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
（１）一般市民（20歳以上の町内に居住する男女）	2

II まちづくり市民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
（１）まちへの愛着度について	5
（２）今後の定住意向について	7
（３）住み続けたい主な理由	9
（４）住みたくない主な理由	10
2 中標津町の取り組みに対する市民の声	11
（１）中標津町全体について	11
（２）生活環境について	15
（３）環境問題への取り組みについて	33
（４）産業振興について	35
（５）保健・医療・福祉について	42
（６）教育・文化・スポーツについて	52
（７）人権・男女共同参画について	62
（８）地域間交流について	65
（９）北方領土問題について	67
3 費用負担について	68
（１）取り組みに対する費用負担の可否について	68
4 市民活動・協働について	70
（１）地域活動・ボランティア活動について	70
（２）参加したい地域活動について	72
5 中標津町役場について	73
（１）情報共有について	73
（２）役場の窓口について	75
6 将来人口目標について	77
（１）目標の達成に必要なこと	77
7 行政との関わりについて	80
（１）協働の推進に向け市民が行政に望むもの	80
8 防災対策（情報収集）について	81
（１）情報収集について	81

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見	84
（1）自由意見の記入状況	84

Ⅳ 設問別記述

1 設問別記述意見（主な意見）	87
-----------------	----

Ⅴ【別添】町税等の納付方法に関するアンケート調査結果

参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第6期中標津町総合発展計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調 査 対 象 : 20歳以上の町内に居住する男女
- ◆ 抽 出 法 : 無作為抽出(住民基本台帳より抽出)
- ◆ 調 査 方 法 : 郵送法(郵送による配布・回収)
- ◆ 調 査 時 期 : 平成30年5月
- ◆ 調 査 区 域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配 布 数 : 500票
- ◆ 有効回収数 : 145票
- ◆ 有効回収率 : 29.0%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

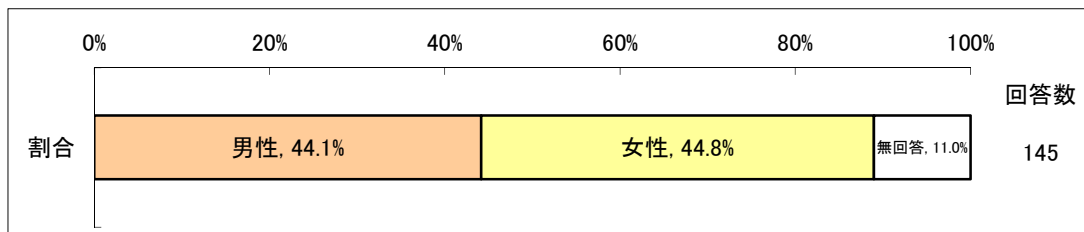
- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問となっています。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に○をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般市民（20歳以上の町内に居住する男女）

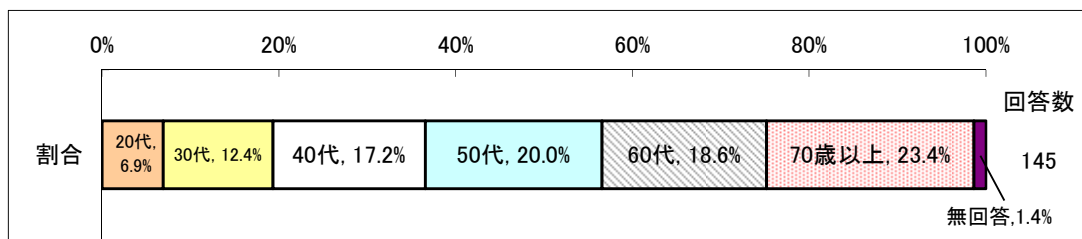
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が64名・44.1%、「女性」が65名・44.8%、「無回答」が16名・11.0%となっています。



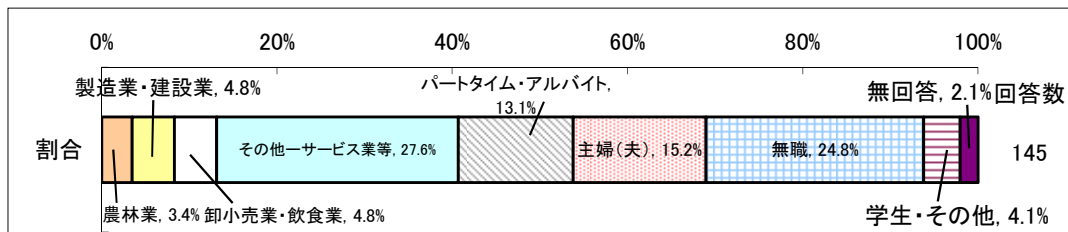
② 年齢

回答者の年齢構成は、「70歳以上」が34名・23.4%で最も多く、次いで「50代」29名・20.0%、「60代」が27名・18.6%、「40代」が25名・17.2%、「30代」が18名・12.4%、「20代」が10名・6.9%の順となっています。



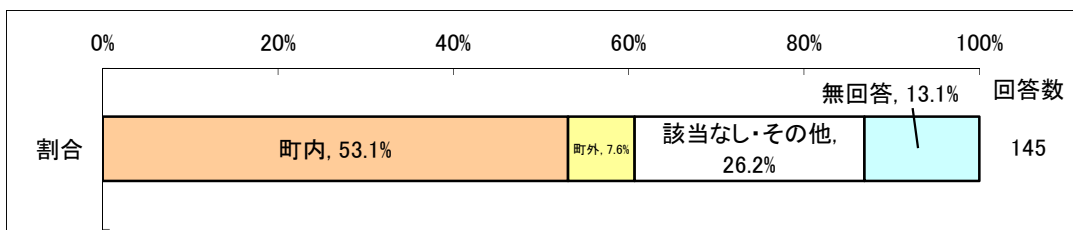
③ 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が40名・27.6%で最も多く、次いで「無職」が36名・24.8%、「主婦(夫)」が22名・15.2%、「パートタイム・アルバイト」が19名・13.1%、「製造業・建設業」「卸小売業・飲食業」が同数で7名・4.8%、「学生・その他」が6名・4.1%、「農林業」が5名・3.4%、「無回答」が3名・2.1%の順となっています。



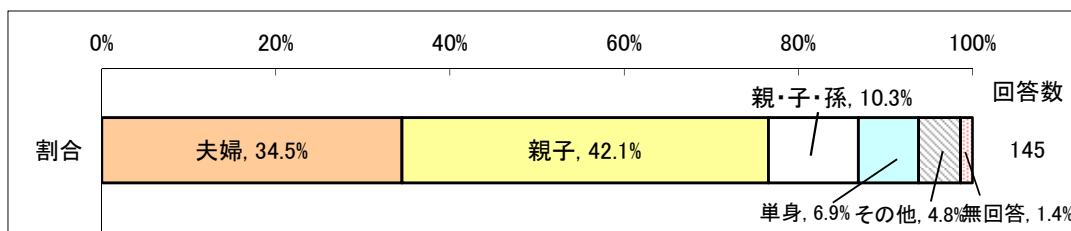
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が77名・53.1%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が38名・26.2%、「無回答」が19名・13.1%、「町外」が11名・7.6%の順となっています。



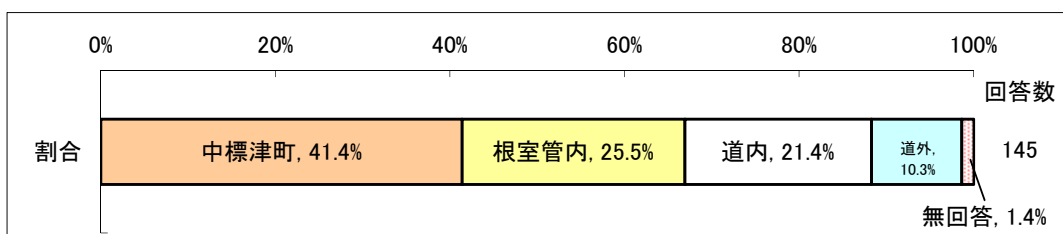
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が61名・42.1%で最も多く、次いで「夫婦」が50名・34.5%、「親・子・孫」が15名・10.3%、「単身」が10名・6.9%、「その他」が7名・4.8%の順となっています。



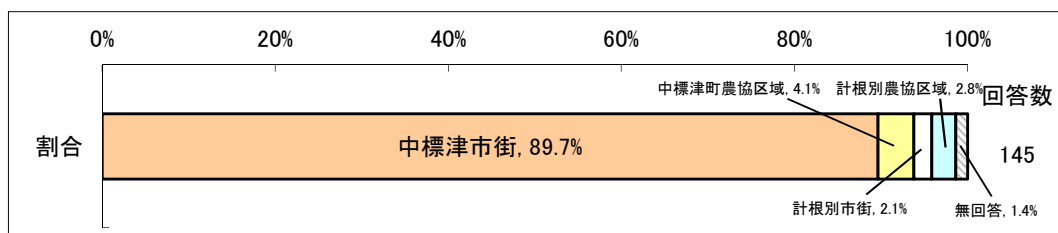
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「中標津町」が60名・41.4%で最も多く、次いで「根室管内」が37名・25.5%、「道内」が31名・21.4%、「道外」が15名・10.3%の順となっています。



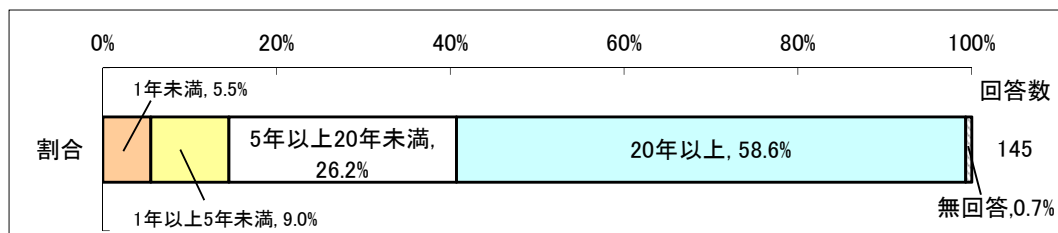
⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が130名・89.7%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が6名・4.1%、「計根別農協区域」が4名・2.8%、「計根別市街」が3名・2.1%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が85名・58.6%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が38名・26.2%、「1年以上5年未満」が13名・9.0%、「1年未満」が8名・5.5%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。



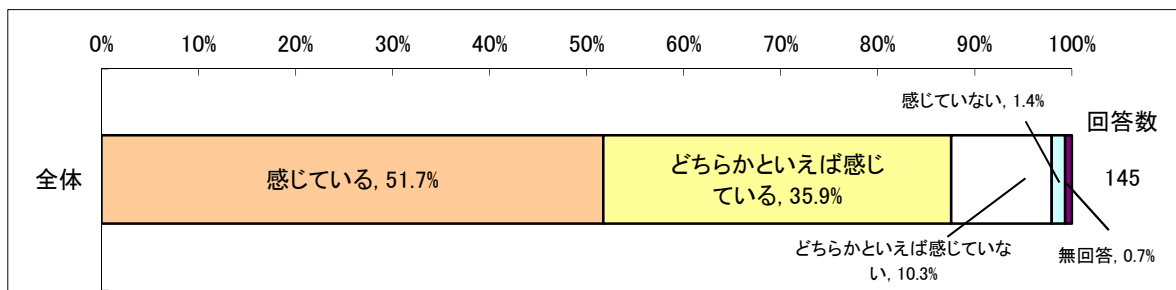
● “愛着を感じている” が87.6%。一方、“愛着を感じていない” は11.7%。

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、愛着を「感じている」と回答した人が75名・51.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が52名・35.9%で続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が87.6%となりました。

これに対して、“愛着を感じていない”（「どちらかといえば感じていない」15名・10.3%及び「感じていない」2名・1.4%の合計）は17名・11.7%と約1割となっており、総じてまちへの愛着度は高いといえます。【図表1 参照】

図表1 まちへの愛着度について（全体）

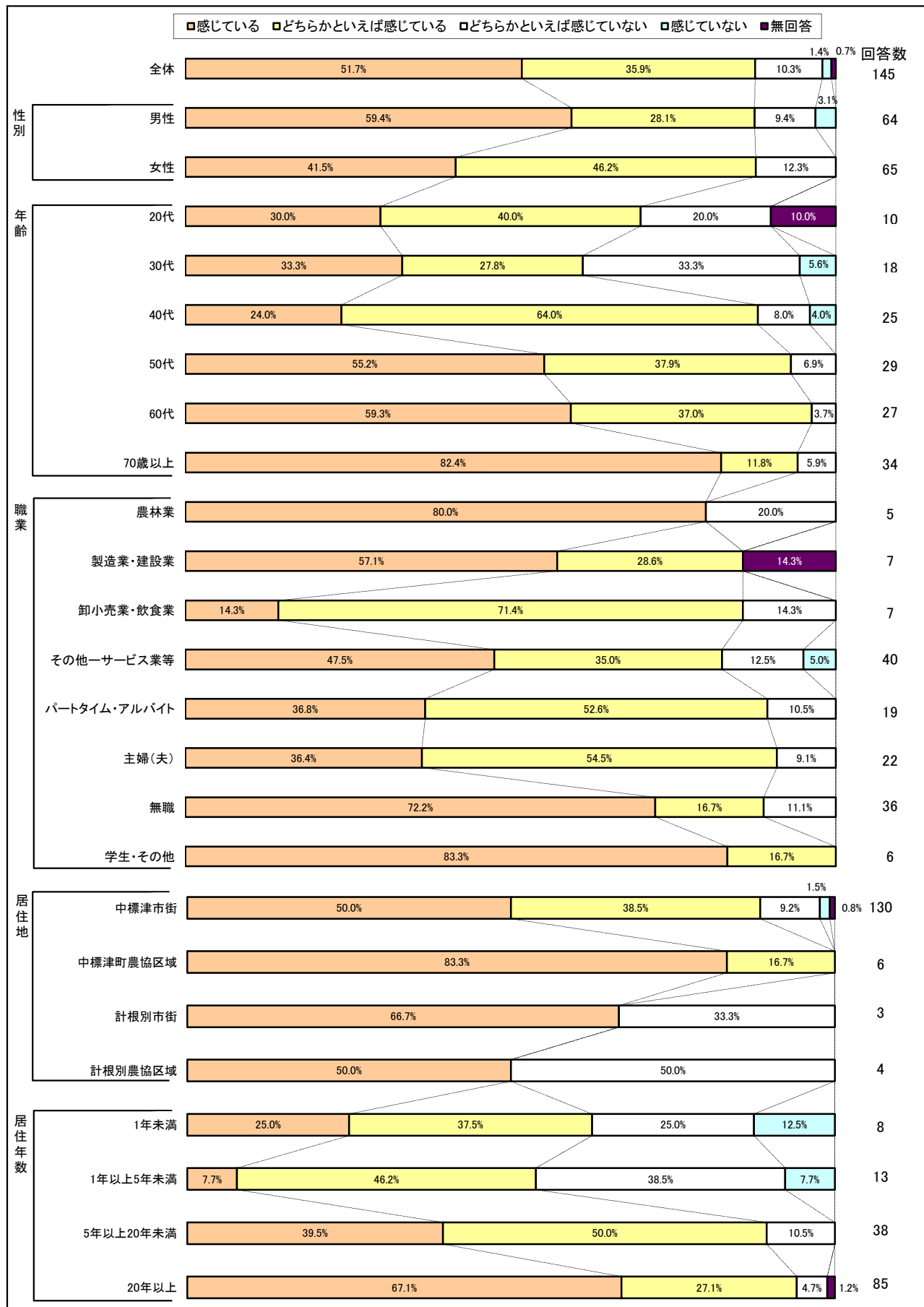


性別で“愛着を感じている”率をみると、女性は87.7%、男性は87.5%と、ほぼ同様の愛着度となっています。

年齢別では、60代が96.3% “愛着を感じている” となっていますが、一方で30代では61.1%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“愛着を感じている”率の高い層をみると、職業別では学生・その他が100.0%、次いで主婦（夫）が90.9%となっており、居住地では中標津町農協区域（100.0%）、居住年数では20年以上（94.2%）などとなっています。【図表2参照】

図表2 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

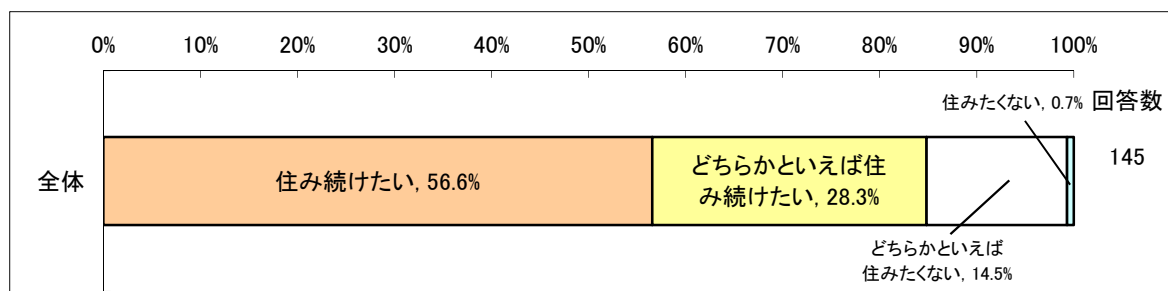
問3① あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

● “住み続けたい” が84.9%、一方、“住みたくない” は15.2%。

今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が82名・56.6%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（41名・28.3%）をあわせた123名・84.9%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

一方、「どちらかといえば住みたくない」（21名・14.5%）及び「住みたくない」（1名・0.7%）と答えた“住みたくない”という人の合計は22名・15.2%と1割程度にとどまり、定住意向が強い結果となっています。【図表3参照】

図表3 今後の定住意向について（全体）



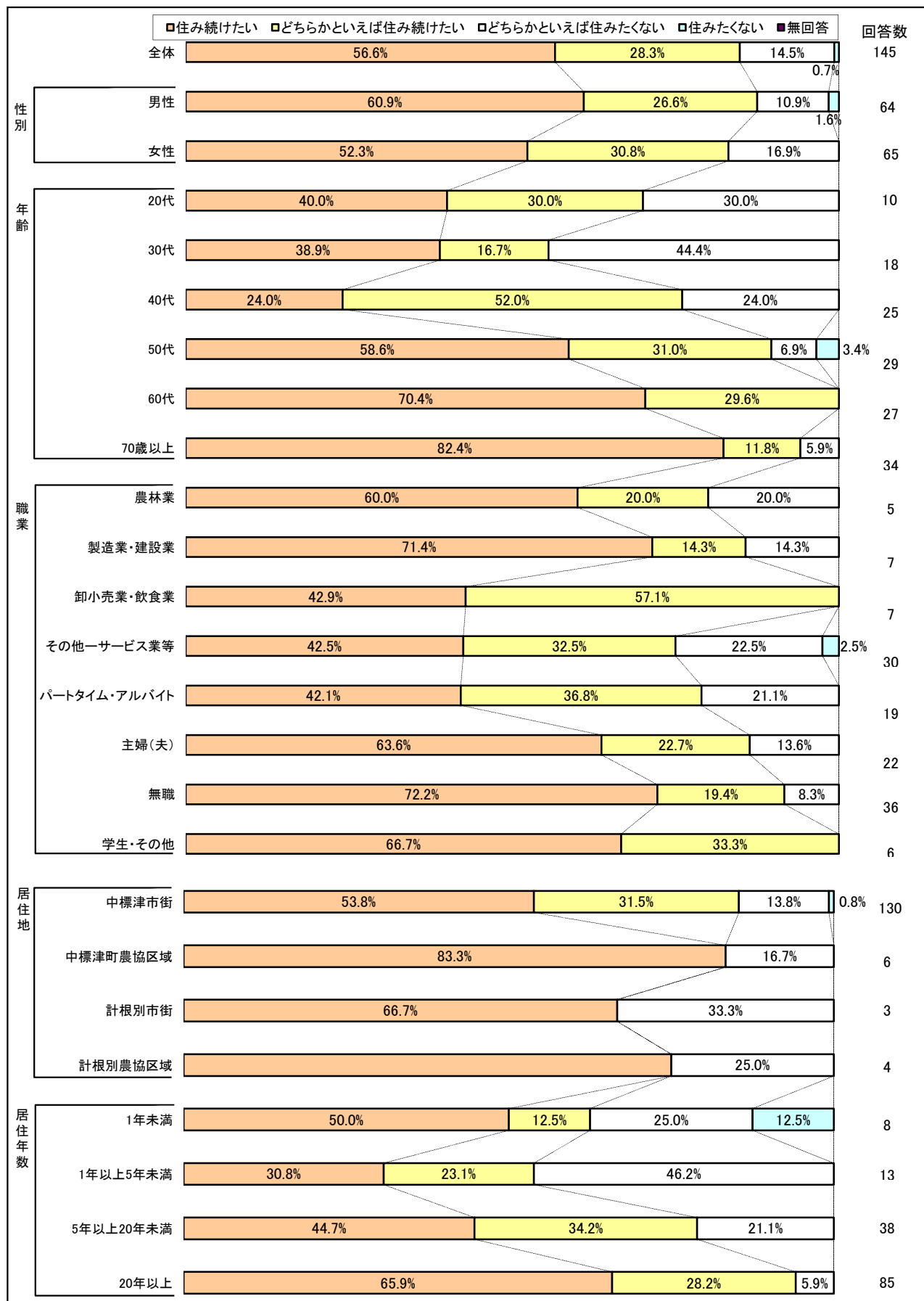
性別で“住み続けたい”率をみると、男性が87.5%、女性が83.1%と男性が4.4ポイント上回っており、男性の方が定住意向が比較的高いことがうかがえます。

年齢別では、60代の“住み続けたい”率が、100.0%と最も高い結果となっています。

一方で30代では“住み続けたい”率が55.6%と最も低い結果となっています。

職業別・居住年数・居住地別で“住み続けたい”率の高い層をみると、職業別では卸小売業・飲食業及び学生・その他（100.0%）、居住地では中標津市街（85.3%）、居住年数では20年以上（94.1%）などとなっています。【図表4参照】

図表4 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



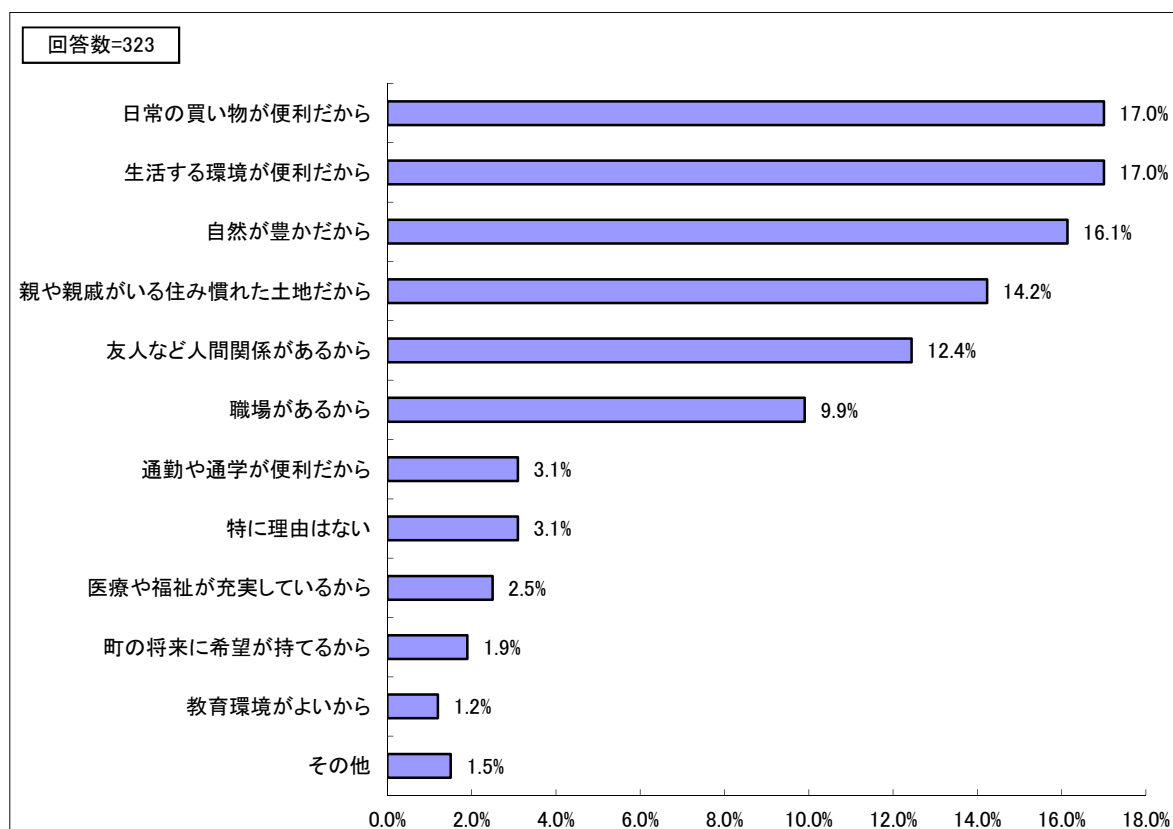
(3) 住み続けたい主な理由

問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(①で「1.」または「2.」に○をつけた方のみ) 【複数回答】

- 「日常の買い物が便利だから」、「生活する環境が便利だから」が同率で第1位。次いで、「自然が豊かだから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人(全体の84.9%・123名)にその理由をたずねたところ、「日常の買い物が便利だから」と「生活する環境が便利だから」が同率(17.0%)第1位に挙げられ、次いで「自然が豊かだから」(16.1%)が続き、以下「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」(14.2%)、「友人など人間関係があるから」(12.4%)などの順となっています。【図表5参照】

図表5 住み続けたい主な理由(全体/複数回答)



「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

空港が近いから
50年以上居住しているから
温泉がある
長男が同所で酪農している

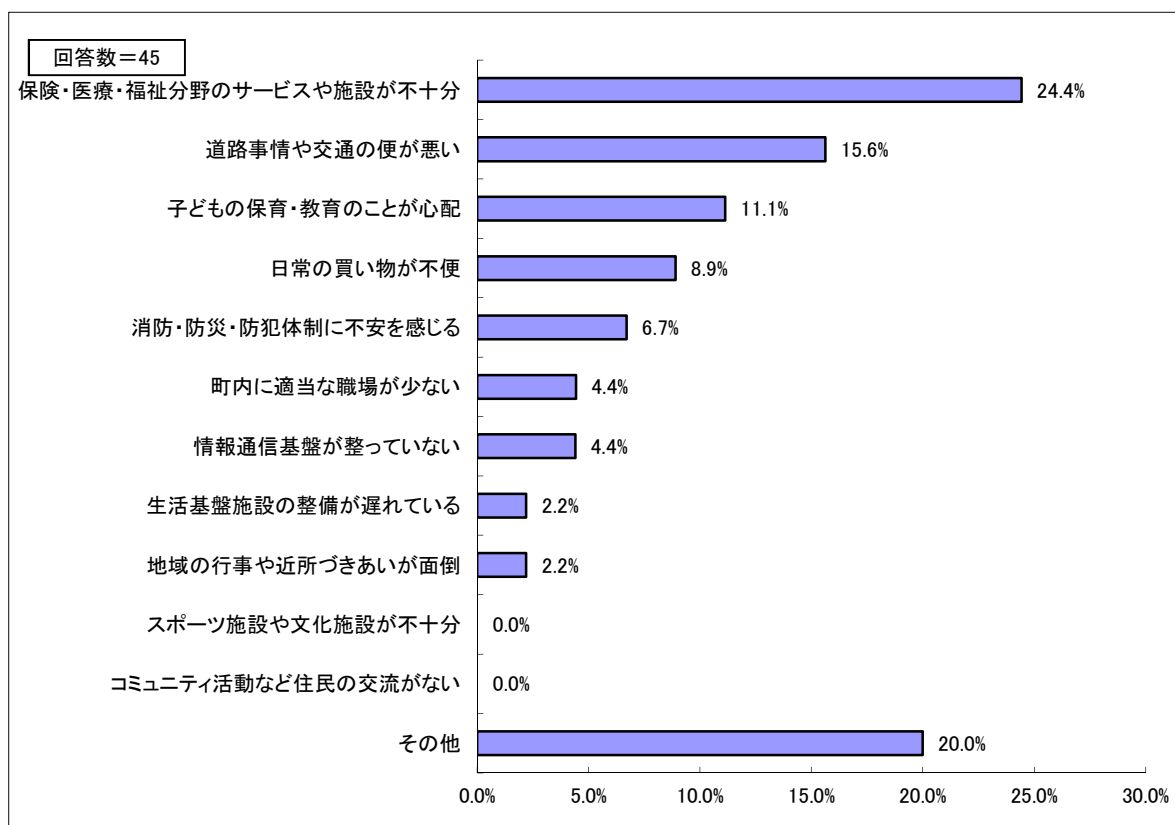
(4) 住みたくない主な理由

問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(①で「3.」または「4.」に○をつけた方のみ)【複数回答】

- 「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」が第1位。次いで「道路事情や交通の便が悪い」、「子どもの保育・教育のことが心配」の順。

問3で“住みたくない”と回答した人(全体の15.2%・22名)にその理由をたずねたところ、「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」(24.4%)が第1位に挙げられ、次いで「道路事情や交通の便が悪い」(15.6%)が続き、以下「子どもの保育・教育のことが心配」(11.1%)、「日常の買い物に不便」(8.9%)などの順となっています。[図表6参照]

図表6 住みたくない主な理由(全体/複数回答)



「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

地元に帰りたい
携帯の電波、ネット環境
標津・別海の方が経済的支援が大きいから
子供に障がいがあるため。車以外でも移動しやすい所へ行きたい

2 中標津町の取り組みに対する町民の声

(1) 中標津町全体について

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

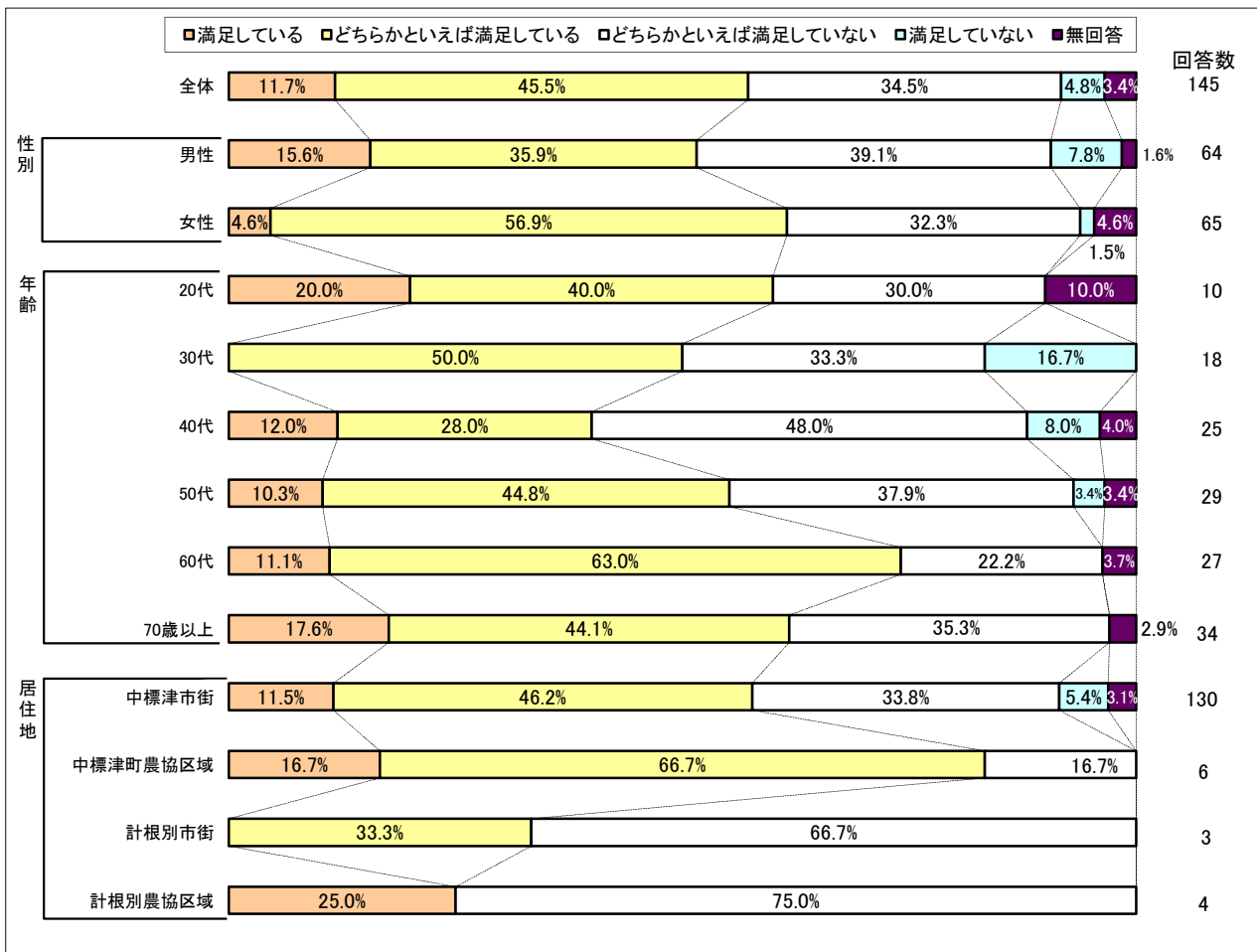
● “満足している” が57.2%、“満足していない” が39.3%。

全体的なまちづくりに対する満足度についてたずねたところ、「どちらかといえば満足している」と答えた人が45.5%、これに「満足している」（11.7%）をあわせた“満足している”という人が57.2%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（34.5%）及び「満足していない」（4.8%）の合計）は39.3%となっており、全体的に満足している町民が過半数を占めています。

年齢別の“満足している”率は、60代が（74.1%）と7割を超えています。40代は（40.0%）と4割にとどまっています。[図表7参照]

図表7 中標津町のまちづくりに満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は87ページに掲載しています。

問5 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている” が66.9%、“関心を持っていない” が25.5%。

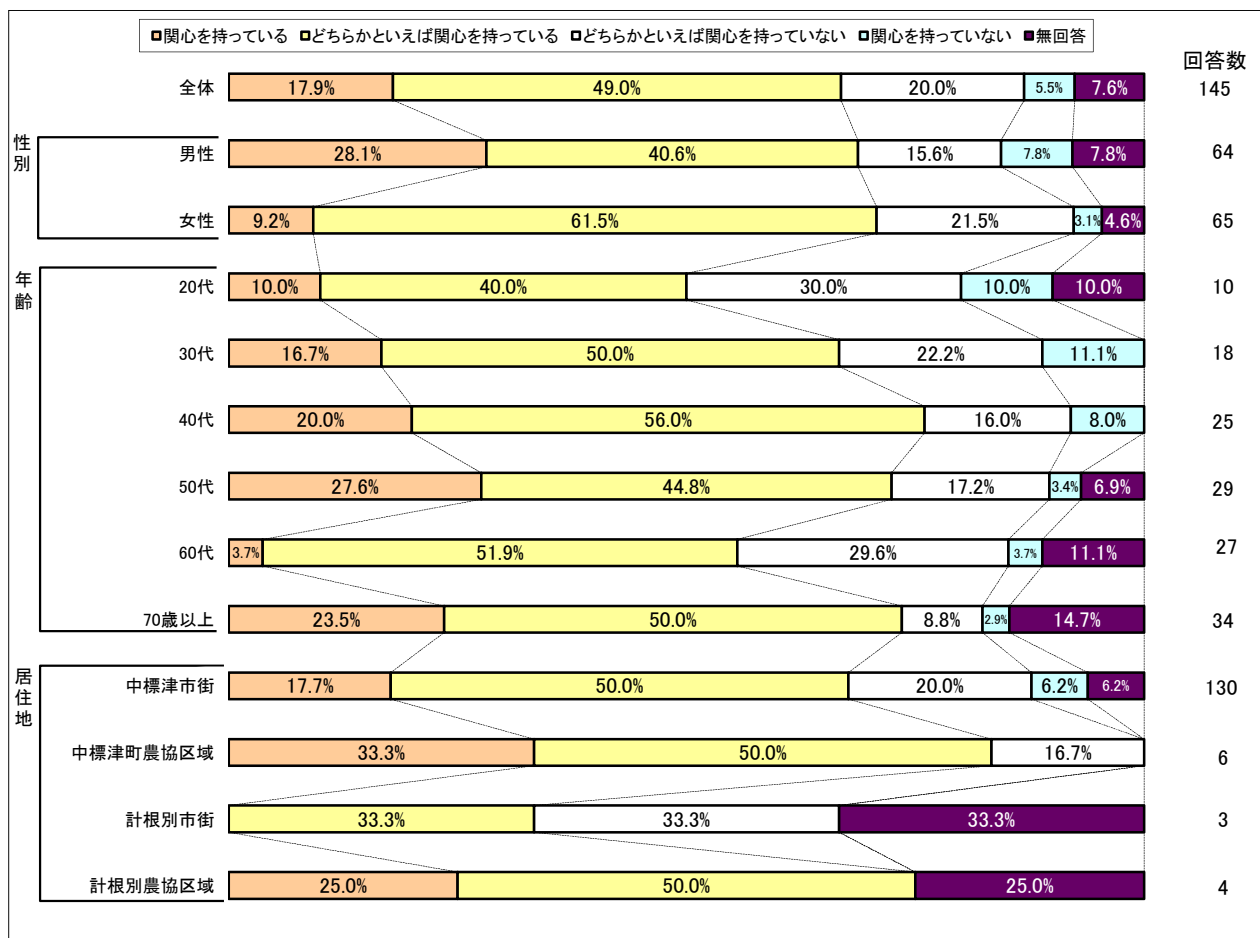
「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が49.0%で、これに「関心を持っている」（17.9%）をあわせた“関心を持っている”という人が66.9%となりました。

一方、“関心を持っていない”（「どちらかといえば関心を持っていない」（20.0%）及び「関心を持っていない」（5.5%）の合計）は25.5%となり、関心を持っている人が持っていない人を3割以上上回る結果となりました。

性別でみると、女性（70.7%）が男性（68.7%）より若干関心が高いことがうかがえます。

年齢別でみると、40代が76.0%と高く、次いで70歳以上が73.5%、50代が72.4%となっています。[図表8参照]

図表8 まちの計画や取り組みへの関心について（全体、性別、年齢、居住地）



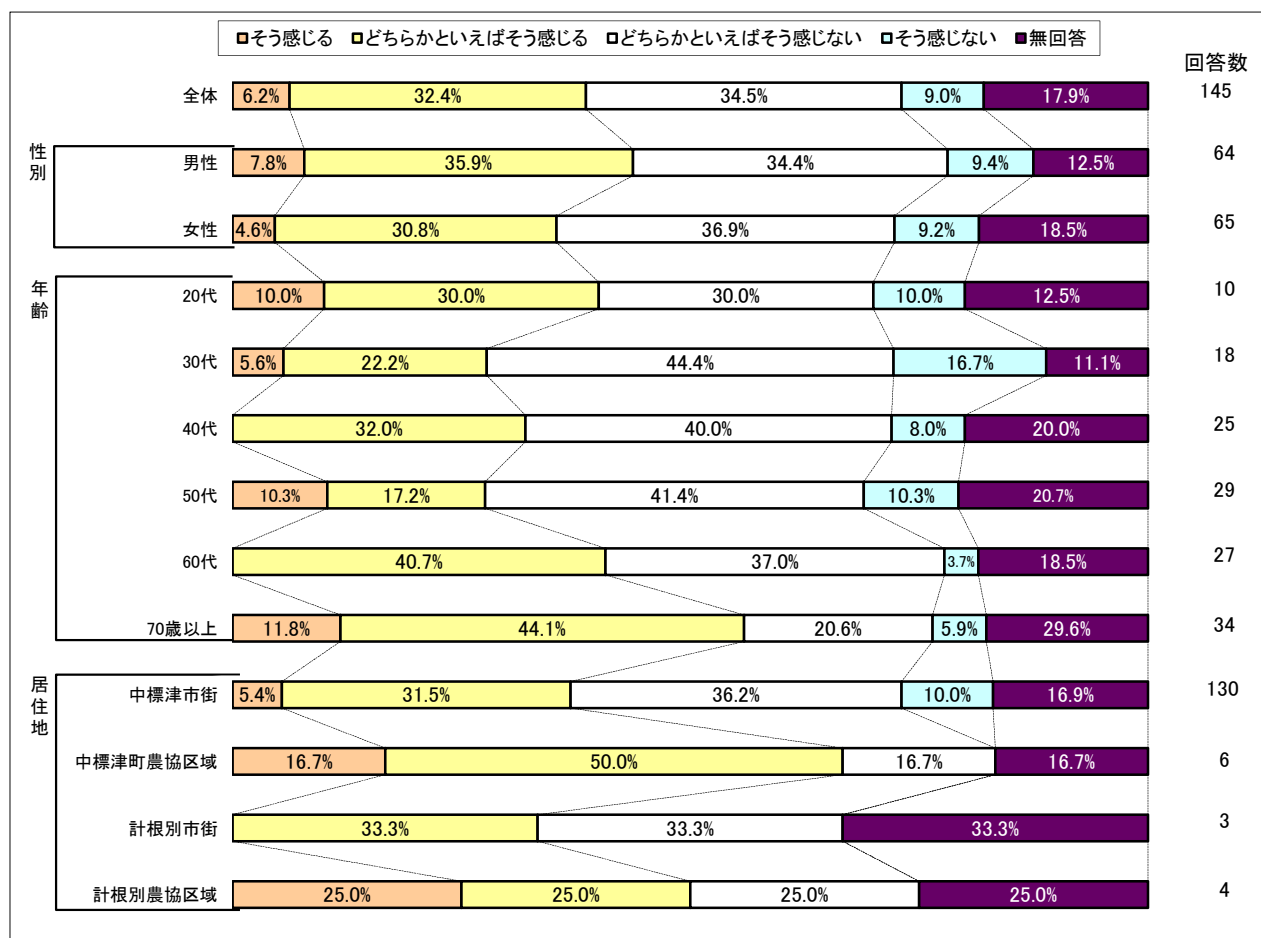
問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

● “そう感じる” が38.6%、“そう感じない” が43.5%。

「どちらかといえばそう感じる」（32.4%）と「そう感じる」（6.2%）をあわせた“そう感じる”が38.6%、一方“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（34.5%）と「そう感じない」（9.0%）の合計）が43.5%となり、町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる人が、そう感じない人を下回っています。

年齢別でみると、概ね加齢とともに“そう感じる”率が高くなり、70歳以上では55.9%の人が“そう感じる”と回答しています。[図表9参照]

図表9 町民と行政が協力してまちづくりを行っているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は88ページに掲載しています。

問7 今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

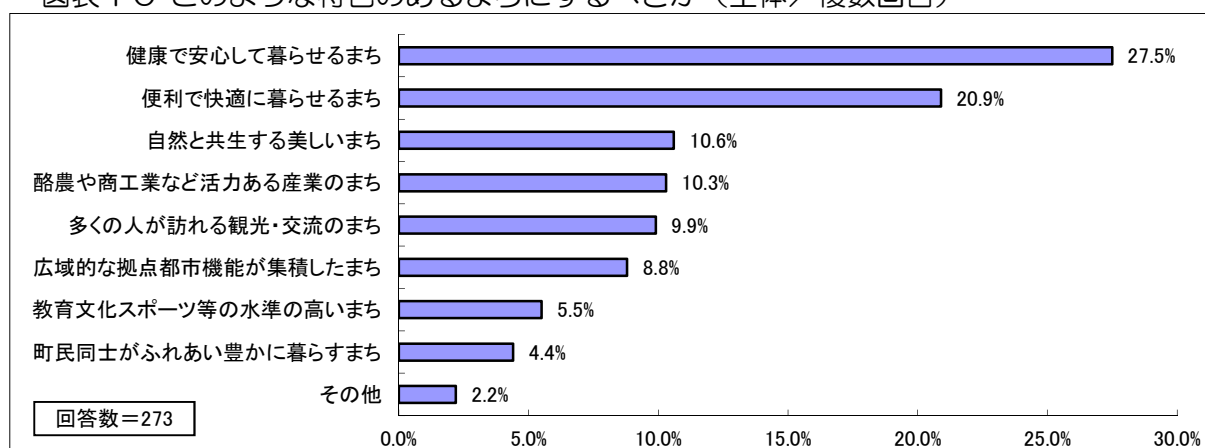
●「健康で安心して暮らせるまち」が第1位。次いで「便利で快適に暮らせるまち」、「自然と共生する美しいまち」、の順。

今後のまちづくりにおいて、どのような特色のあるまちにするべきかたずねたところ、「健康で安心して暮らせるまち」（27.5%）が第1位にあげられ、次いで「便利で快適に暮らせるまち」（20.9%）、「自然と共生する美しいまち」（10.6%）、「酪農や商工業など活力ある産業のまち」（10.3%）、「多くの人が訪れる観光・交流のまち」（9.9%）の順となりました。

年齢別では、全ての年代で「健康で安心して暮らせるまち」が第1位となっています。

[図表10～11参照]

図表10 どのような特色のあるまちにするべきか（全体／複数回答）



図表11 どのような特色のあるまちにするべきか（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	健康で安心して暮らせるまち 31.6	便利で快適に暮らせるまち (同率1位) 31.6	同率複数のため省略 -
	30代	健康で安心して暮らせるまち 37.1	便利で快適に暮らせるまち 20.0	同率複数のため省略 -
	40代	健康で安心して暮らせるまち 19.1	自然と共生する美しいまち 17.0	同率複数のため省略 -
	50代	健康で安心して暮らせるまち 22.2	広域的な拠点都市機能が集積したまち 16.7	同率複数のため省略 -
	60代	健康で安心して暮らせるまち 32.7	便利で快適に暮らせるまち 26.9	同率複数のため省略 -
	70歳以上	健康で安心して暮らせるまち 27.4	便利で快適に暮らせるまち 24.2	酪農や商工業など活力のある産業のまち 16.1
居 住 地	中標津市街	健康で安心して暮らせるまち 27.5	便利で快適に暮らせるまち 21.3	自然と共生する美しいまち 10.7
	中標津町農協区域	健康で安心して暮らせるまち 25.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	計根別市街	便利で快適に暮らせるまち 33.3	町民同士がふれあい豊かに暮らすまち (同率1位) 33.3	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	健康で安心して暮らせるまち 50.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

娯楽施設があるといい
子どもの保障が手厚い町、永住したくなるような住宅補助
信頼出来る医療
光熱費、水道料金などが安い町。自然エネルギーを活用するなど。
高齢者が元気な町

(2) 生活環境について

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。

● “そう感じる” が59.4%、“そう感じない” が35.8%。

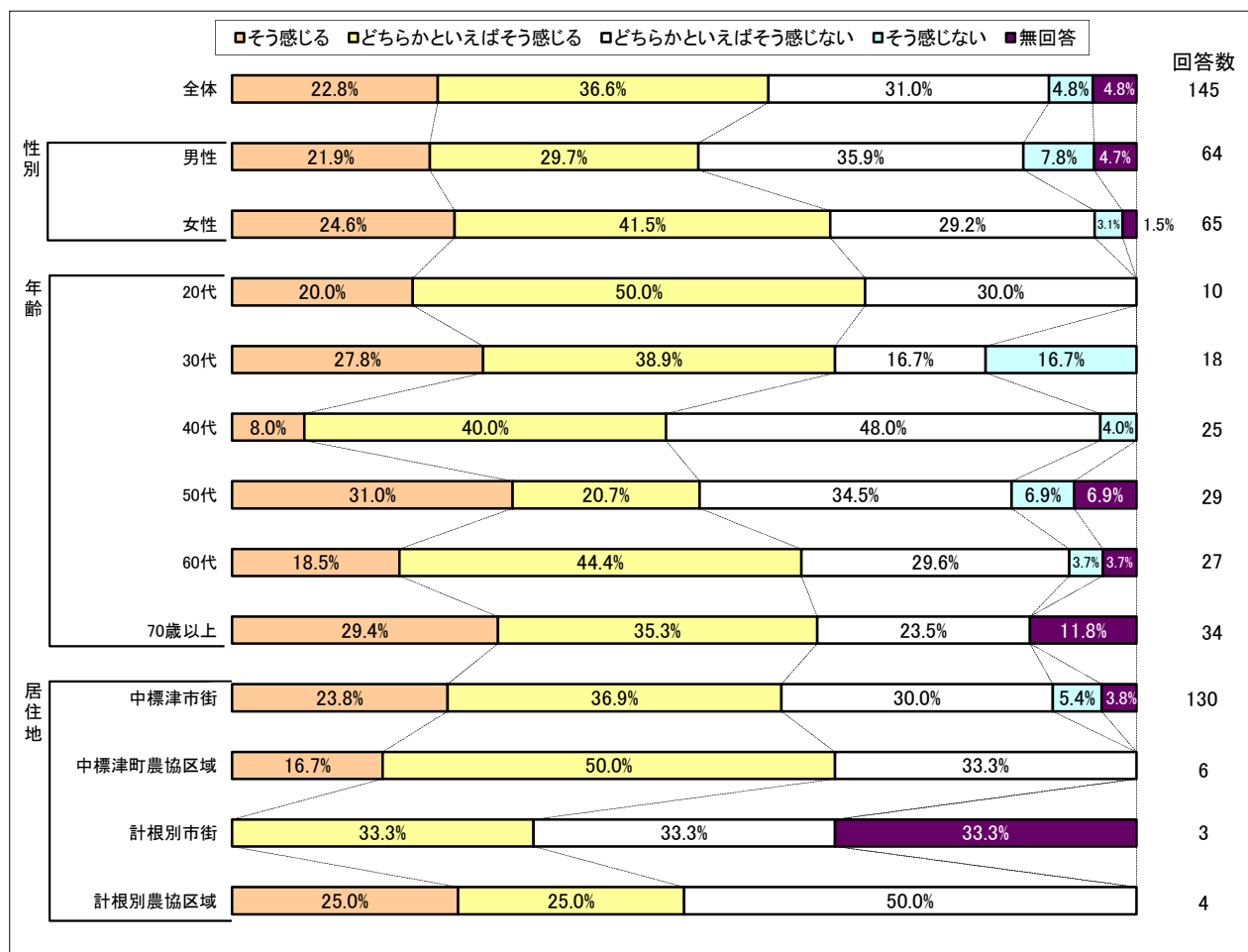
中心市街地の利便性について、たずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（36.6%）これに「そう感じる」（22.8%）を合わせた“そう感じる”人は59.4%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」31.0%、「そう感じない」4.8%の合計）は35.8%となっており、全体的には中心市街地は便利で利用しやすいと感じている町民が半数以上を占めています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が（51.6%）、女性が（66.1%）と女性が14.5ポイント上回っています。

年齢別の割合は20代が70.0%と一番高く、他の年代では約50%以上の方が中心市街地は便利で利用しやすいと感じています。[図表12参照]

図表12 中心市街地は便利で利用しやすいか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は89ページに掲載しています。

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

● “そう感じる” が56.6%、“そう感じない” が39.3%。

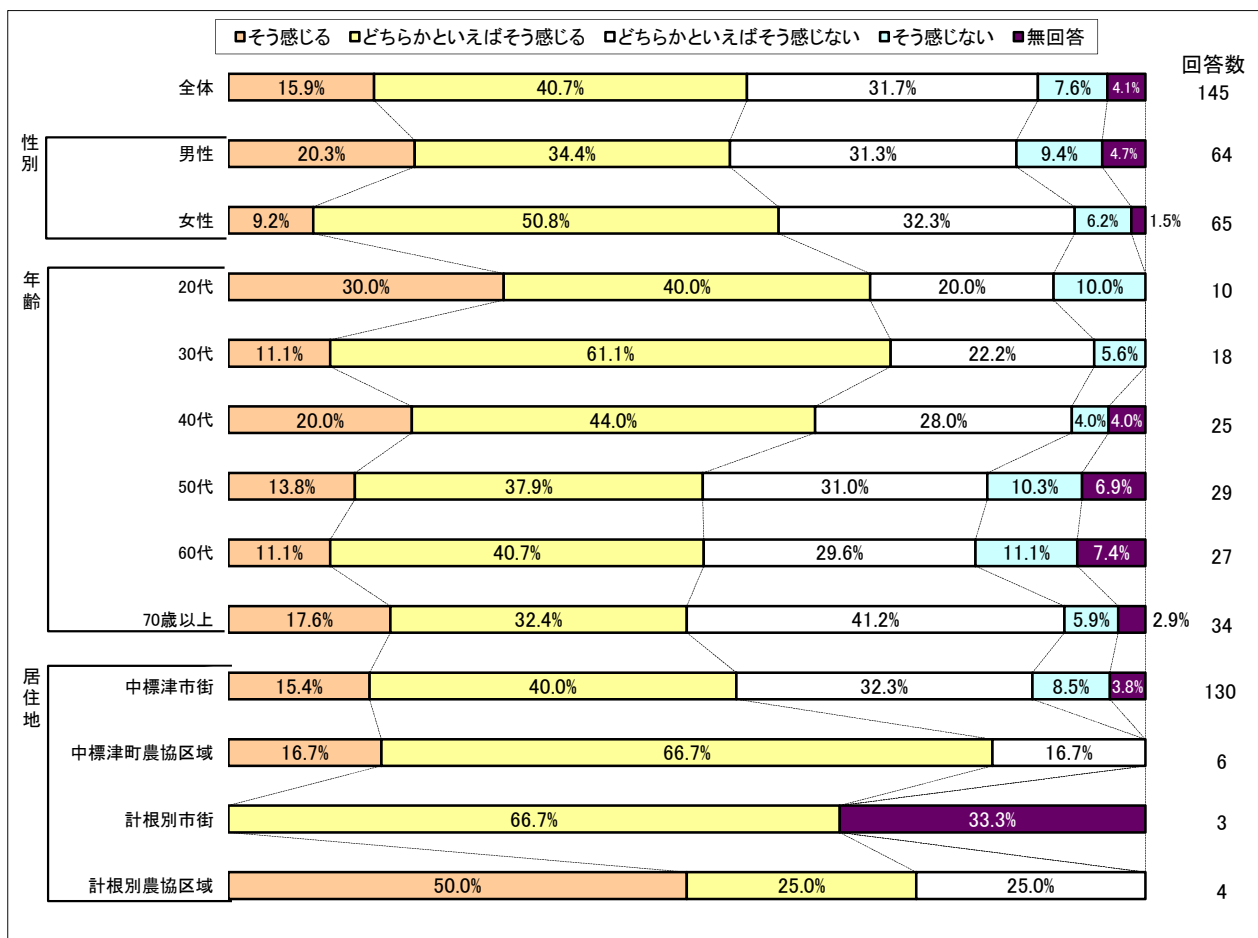
道路や河川などが適切に維持管理されているかについてたずねたところ、「どちらといえばそう感じる」（40.7%）、これに「そう感じる」（15.9%）を合わせた“そう感じる”人は56.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらといえばそう感じない」（31.7%）、「そう感じない」（7.6%）合計）は39.3%となっています。

性別で“そう感じる人”の割合は男性が54.7%、女性が60.0%と女性が5.3ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が72.2%と高い一方50代では51.7%と低くなっています。[図表13参照]

図表13 道路や河川などが適切に維持管理されていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は90ページに掲載しています。

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

● “満足している” が73.1%、 “満足していない” が20.7%。

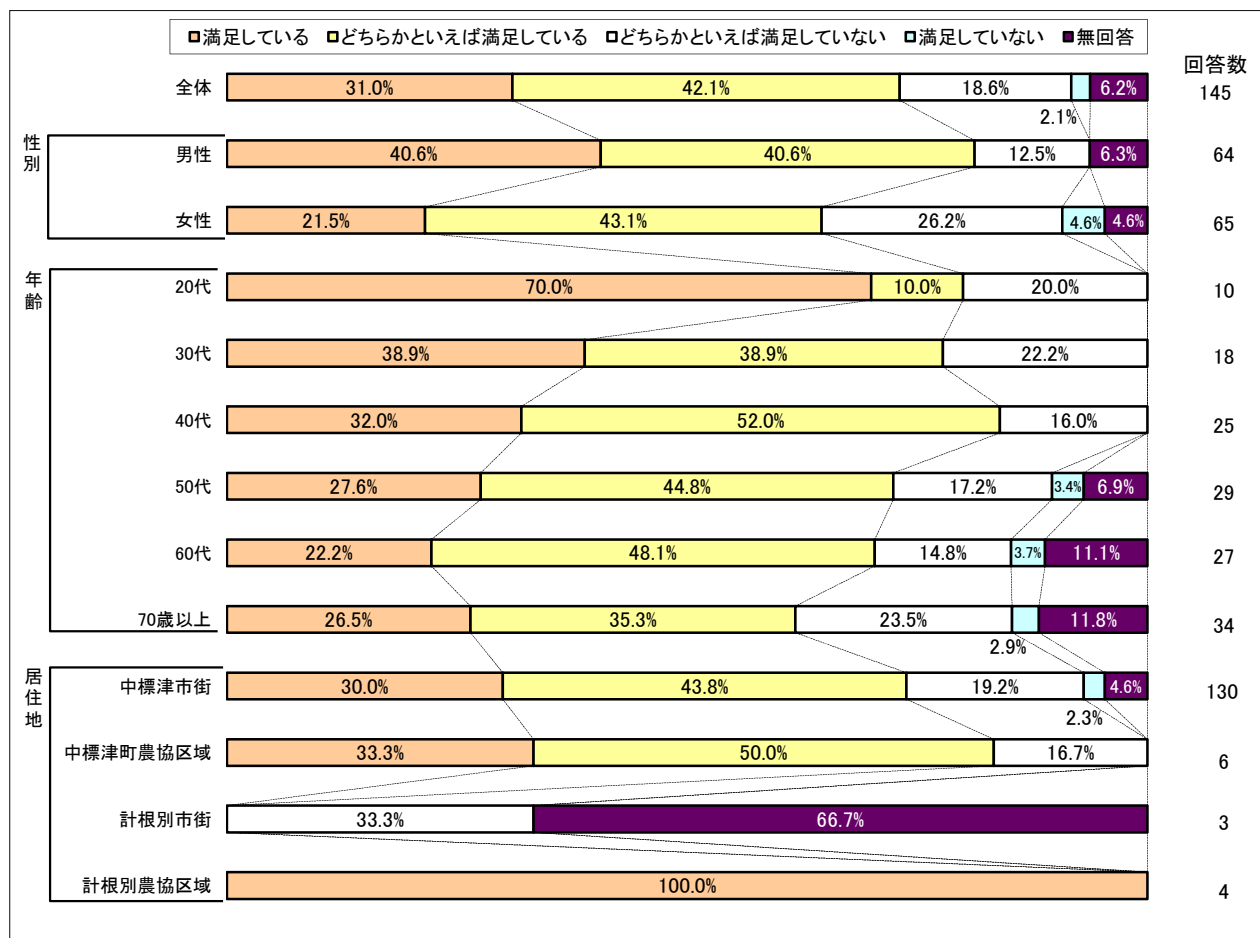
「まちの緑」に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(42.1%)と、これに「満足している」(31.0%)をあわせた“満足している”という人が73.1%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（18.6%）「満足していない」（2.1%）の合計）は20.7%となっています。

性別で“満足している”人は男性(81.2%)、女性（64.6%）と男性が16.6ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は、40代（84.0%）が高く、一方70歳以上（61.8%）と低くなっています。[図表14参照]

図表14 「まちの緑」に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は91ページに掲載しています。

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができますと感じますか。

● “そう感じる” が33.8%、“そう感じない” が57.3%。

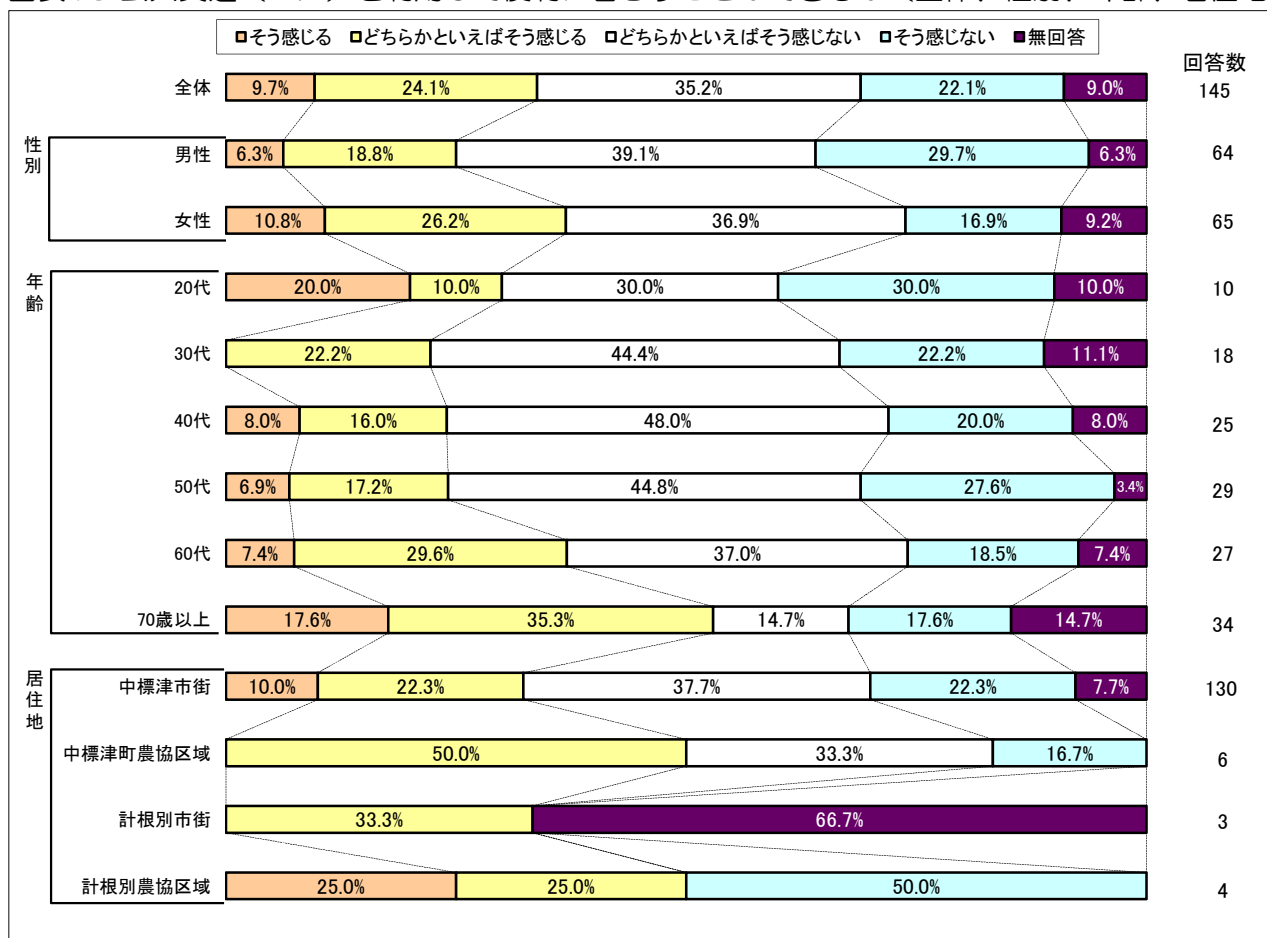
公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」が24.1%、これに「そう感じる」9.7%を合わせた“そう感じる”人は33.8%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（35.2%）「そう感じない」（22.1%）の合計）は57.3%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合では男性が25.1%、女性が37.0%と女性が11.9ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は70歳以上が52.9%となっていますが30代では22.2%と低くなっています。[図表15参照]

図表15 公共交通（バス）を利用して便利に暮らすことができるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は92ページに掲載しています。

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

● “満足している” が66.9%、 “満足していない” が26.9%。

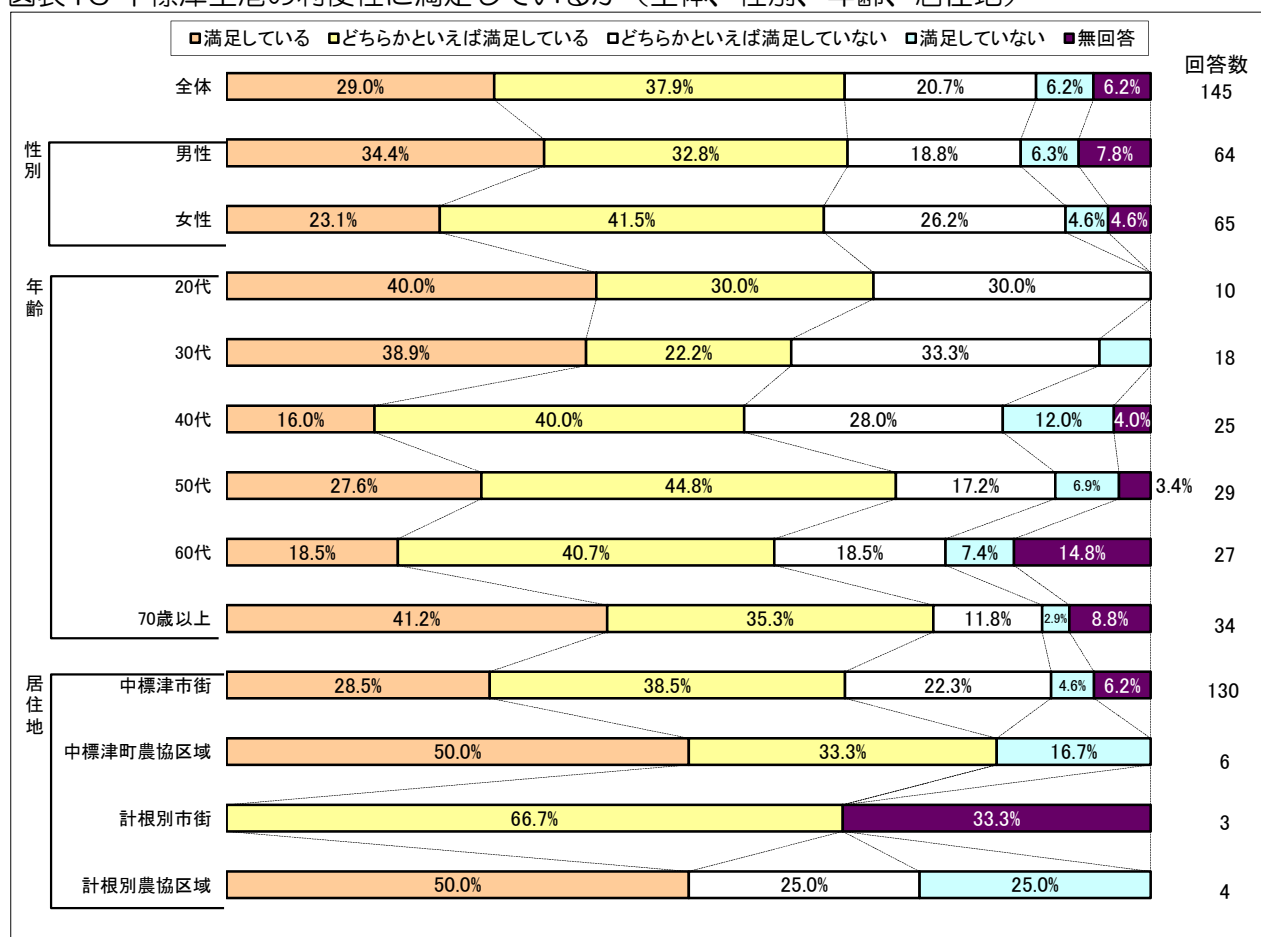
中標津空港の利便性に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(37.9%)これに「満足している」(29.0%)をあわせた“満足している”という人が66.9%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（20.7%）「満足していない」（6.2%）の合計）は26.9%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性（67.2%）、女性（64.6%）となり、女性の方が2.6ポイント低くなっています。

年齢別の“満足している”人の割合は、70歳以上が76.5%と高くなっていますが、40代は56.0%と低くなっています。[図表16参照]

図表16 中標津空港の利便性に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は93ページに掲載しています。

問13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
【複数回答】



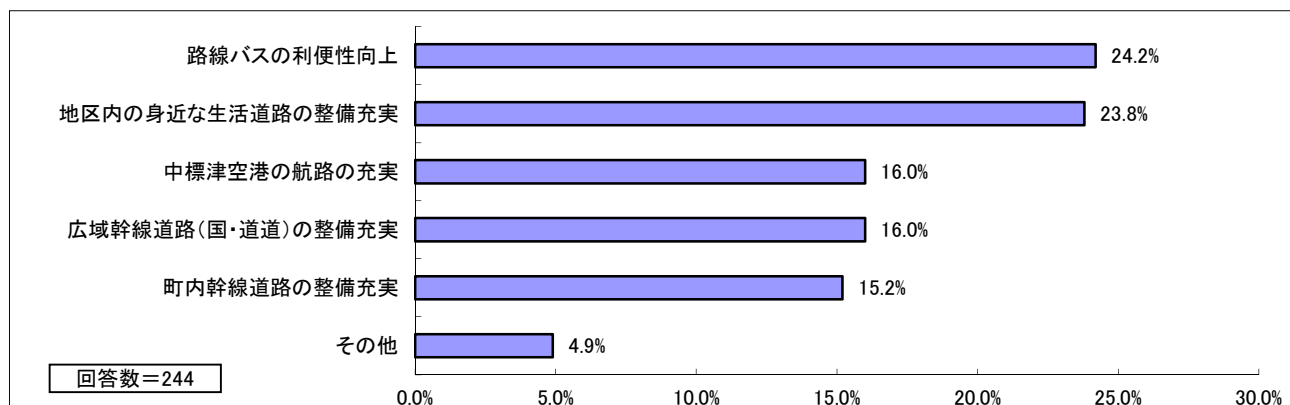
- 「路線バスの利便性向上」が第1位。次いで「地区内の身近な生活道路の整備充実」、
「中標津空港の航路の充実」、「広域幹線道路（国・道道）の整備充実」の順。

町内及びその周辺で必要な道路、交通手段についてたずねたところ、「路線バスの利便性向上」（24.2%）が第1位に挙げられ、次いで「地区内の身近な生活道路の整備充実」（23.8%）、同率で「中標津空港の航路の充実」「広域幹線道路（国・道道）の整備充実」（16.0%）、「町内幹線道路の整備充実」（15.2%）などの順となっています。

年齢別で見ると20代は「広域幹線道路（国・道道）の整備充実」、30代は「中標津空港の航路の充実」、40代と60代は「路線バスの利便性向上」、50代と70歳以上は「地区内の身近な生活道路の整備充実」となっています。

【図表17～18参照】

図表17 今後必要な道路交通手段について（全体／複数回答）



図表18 今後必要な道路交通手段について（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	広域幹線道路（国・道道）の整備充実 26.3	町内幹線道路の整備充実 （同率1位）26.3	中標津空港の航路の充実 21.1
	30代	中標津空港の航路の充実 23.3	地区内の身近な生活道路の整備充実 （同率1位）23.3	路線バスの利便性向上 20.0
	40代	路線バスの利便性向上 20.5	町内幹線道路の整備充実 （同率1位）20.5	広域幹線道路（国・道道）の整備充実 18.2
	50代	地区内の身近な生活道路の整備充実 25.5	路線バスの利便性向上 23.5	中標津空港の航路の充実 19.6
	60代	路線バスの利便性向上 27.3	地区内の身近な生活道路の整備充実 22.7	中標津空港の航路の充実 20.5
	70歳以上	地区内の身近な生活道路の整備充実 34.0	路線バスの利便性向上 32.1	広域幹線道路（国・道道）の整備充実 15.1
居住地	中標津市街	路線バスの利便性向上 25.6	地区内の身近な生活道路の整備充実 23.7	同率複数のため省略 -
	中標津町農協区域	広域幹線道路（国・道道）の整備充実 22.2	中標津空港の航路の充実 （同率1位）22.2	路線バスの利便性向上 （同率1位）22.2
	計根別市街	地区内の身近な生活道路の整備充実 50.0	路線バスの利便性向上 25.0	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	地区内の身近な生活道路の整備充実 37.5	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

空路の低価格化
高速道路

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

● “そう感じる” が87.6%、“そう感じない” が5.5%。

安定して水道水が利用できていると感じるかについてたずねたところ、「そう感じる」(69.7%)に「どちらかといえばそう感じる」(17.9%)を合わせた“そう感じる”人は87.6%となっています。

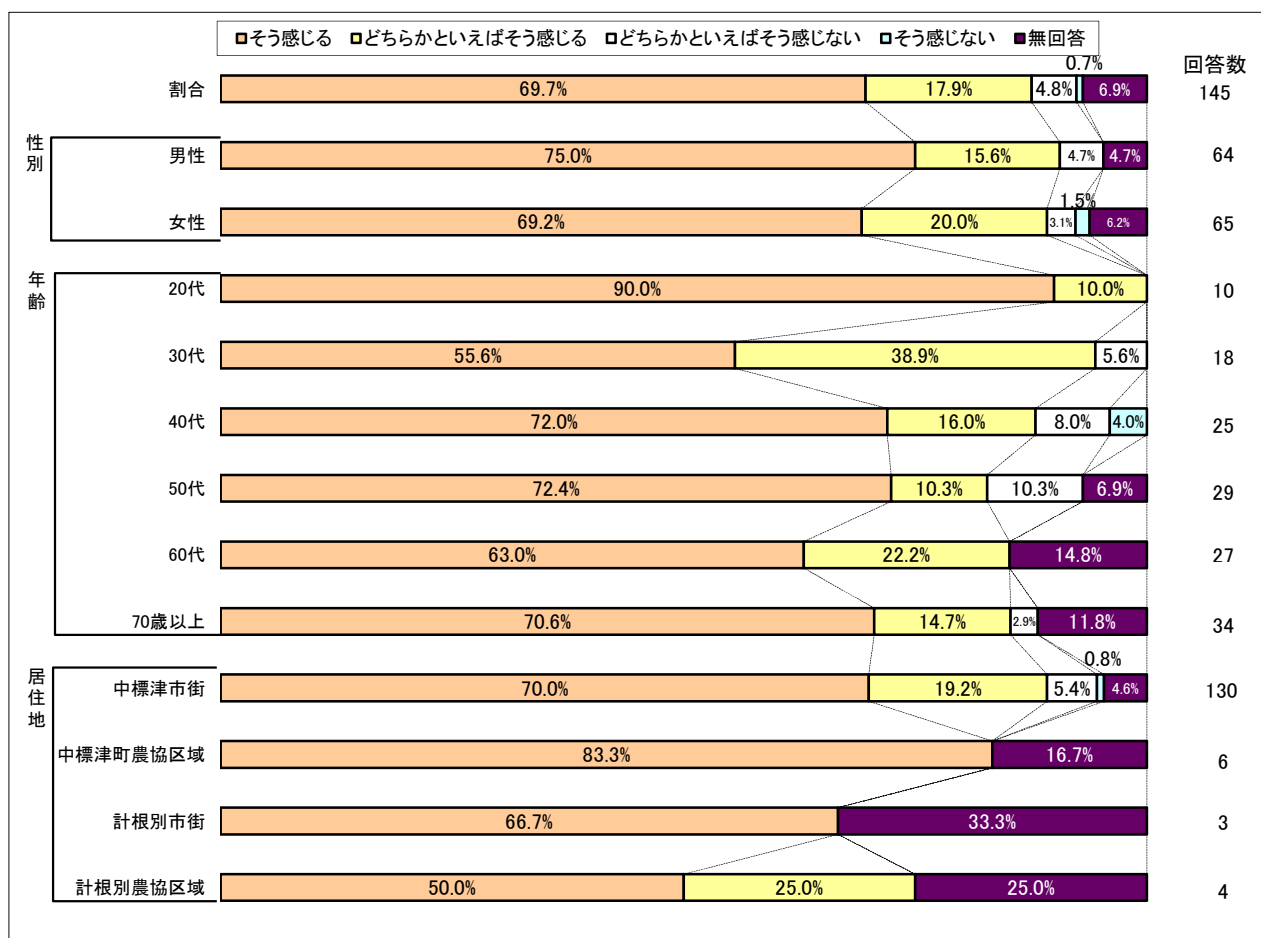
一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(4.8%)「そう感じない」(0.7%)の合計）は5.5%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が90.6%、女性が89.2%と男性が1.4ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代と30代が9割以上となっていますが、他の年齢層では約8割となっています。

居住地別で“そう感じる”人の割合は中標津市街区域では89.2%ですが、計根別市街区域は66.7%と低くなっています。[図表19参照]

図表19 安定して水道水が利用できているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は94ページに掲載しています。

問15 墓地の施設に満足していますか。

● “満足している” が61.3%、“満足していない” が15.9%。

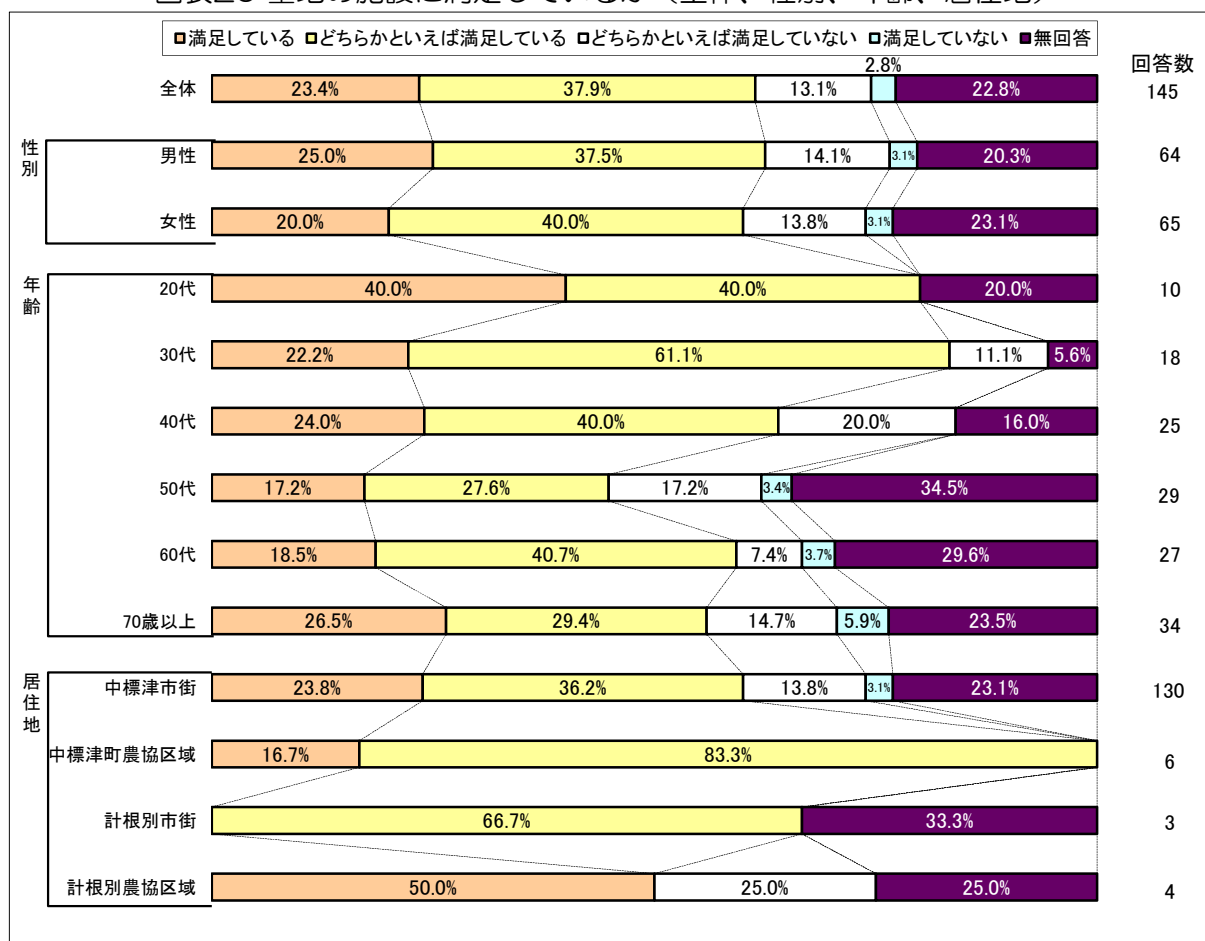
墓地の施設に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(37.9%)、これに「満足している」(23.4%)をあわせた“満足している”という人が61.3%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（13.1%）「満足していない」（2.8%）の合計）は15.9%となっています。

性別で“満足している”人は男性(62.5%)、女性（60.0%）と男性が2.5ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人は、20代（80.0%）、30代（83.3%）と8割を超えていますが、50代は（44.8%）と低くなっています。[図表20参照]

図表20 墓地の施設に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は95ページに掲載しています。

問16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
【複数回答】

●「道路の改良、舗装」が第1位。次いで「高齢者福祉施設」の順。

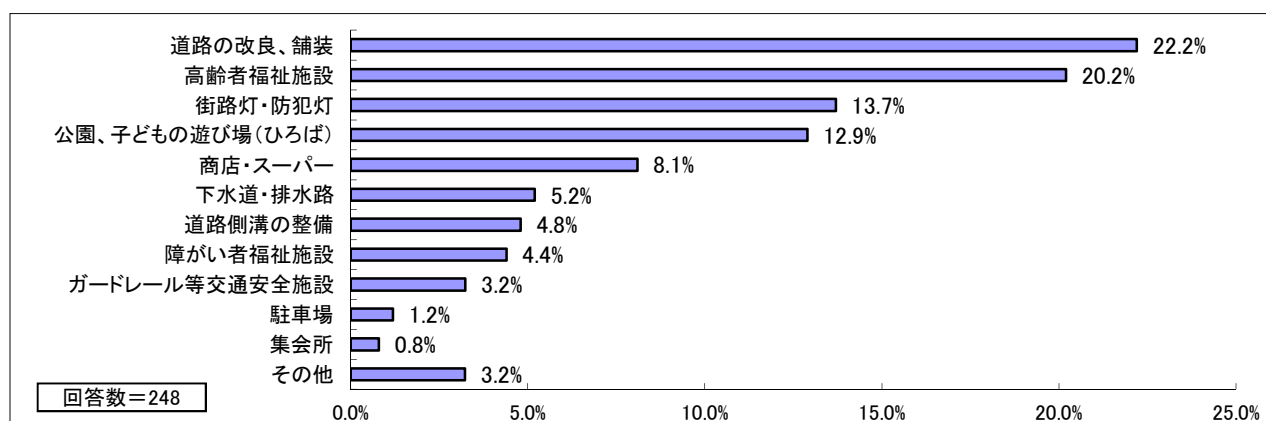
今後必要な施設整備についてたずねたところ、「道路の改良、舗装」（22.2%）が第1位に挙げられ、次いで、「高齢者福祉施設」（20.2%）、「街路灯・防犯灯」（13.7%）、「公園、子どもの遊び場（ひろば）」（12.9%）で続き、以下「商店・スーパー」（8.1%）、「下水道・排水路」（5.2%）、「道路側溝の整備」（4.8%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代、30代が「公園、子どもの遊び場（ひろば）」、40代、60代、70歳以上は「道路の改良、舗装」、50代では「高齢者福祉施設」となっています。

また、居住地別の第1位は、計根別市街が複数になっていますが、中標津市街、計根別農協区域では「道路の改良、舗装」、中標津町農協区域では「高齢者福祉施設」となっています。

[図表21～22参照]

図表21 今後必要な施設整備について（全体／複数回答）



図表22 今後必要な施設整備について（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位			第2位			第3位		
		施設	割合 (%)	同率複数のため省略	施設	割合 (%)	同率複数のため省略	施設	割合 (%)	同率複数のため省略
年齢	20代	公園、子どもの遊び場	25.0	-	同率複数のため省略	-	-	同率複数のため省略	-	-
	30代	公園、子どもの遊び場	34.3	-	道路の改良、舗装	17.1	-	街路灯・防犯灯	14.3	-
	40代	道路の改良、舗装	20.0	-	同率複数のため省略	-	-	同率複数のため省略	-	-
	50代	高齢者福祉施設	26.5	-	道路の改良、舗装	20.4	-	街路灯・防犯灯	12.2	-
	60代	道路の改良、舗装	27.5	-	高齢者福祉施設	25.0	-	街路灯・防犯灯	17.5	-
	70歳以上	道路の改良、舗装	26.8	-	高齢者福祉施設	25.0	-	道路側溝の整備	14.3	-
	その他	道路の改良、舗装	21.8	-	高齢者福祉施設	19.1	-	公園、子どもの遊び場	13.8	-
居住地	中標津市街	道路の改良、舗装	21.8	-	高齢者福祉施設	19.1	-	公園、子どもの遊び場	13.8	-
	中標津町農協区域	高齢者福祉施設	33.3	-	街路灯・防犯灯	22.2	-	同率複数のため省略	-	-
	計根別市街	高齢者福祉施設	50.0	-	同率複数のため省略	-	-	同率複数のため省略	-	-
	計根別農協区域	道路の改良、舗装	42.9	-	高齢者福祉施設	28.6	-	同率複数のため省略	-	-

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

公共交通の充実
冬の除雪車をもっと増やしてへき地の除雪をちゃんとしてほしい
空き家対策
冬期間の身近なところの雪捨て場
道の駅
防犯カメラ等

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。

● “そう感じる” が72.4%、“そう感じない” が22.1%。

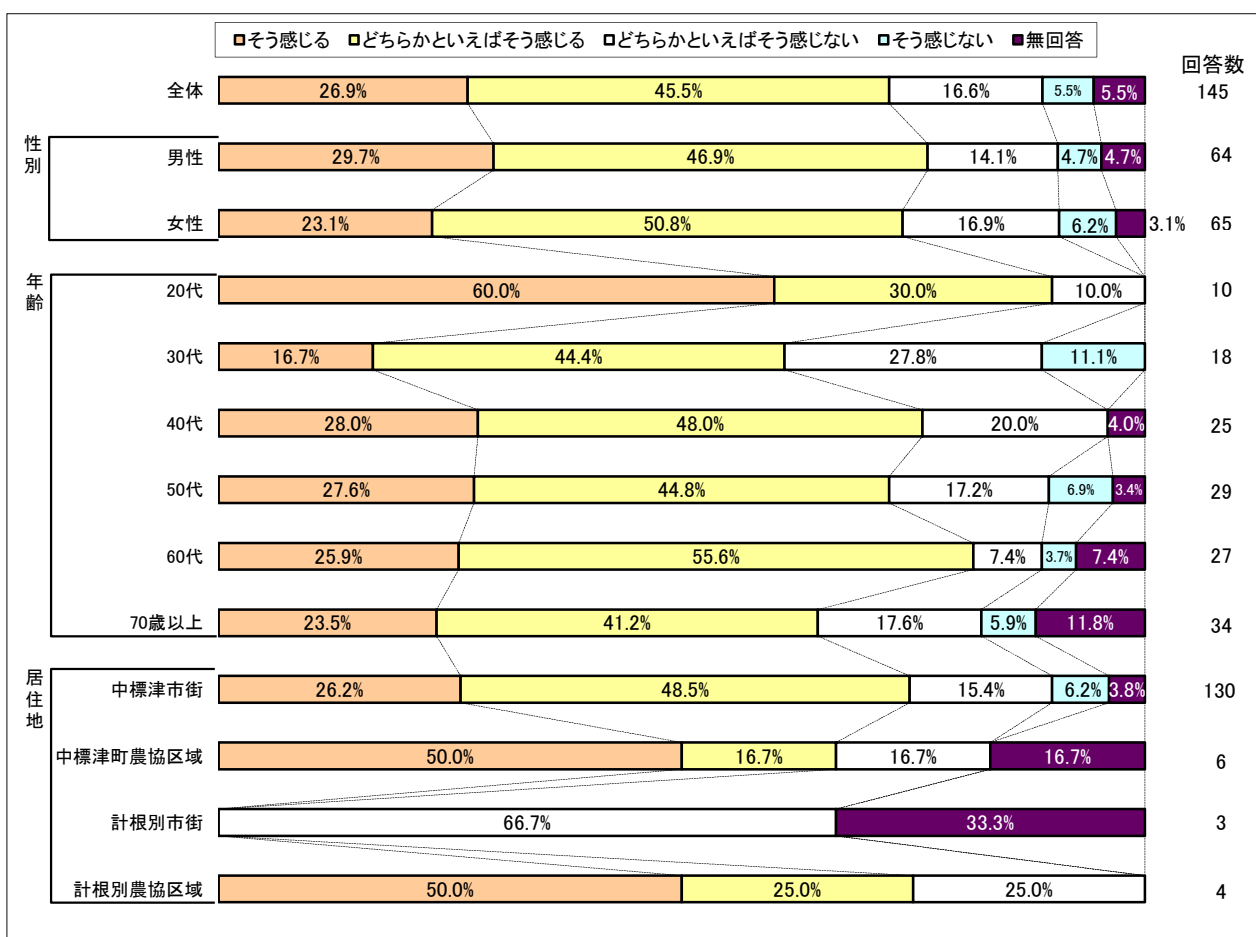
お住まいの地域は、良好なまちなみ（住環境）であると感じるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（45.5%）に「そう感じる」(26.9%)を合わせた“そう感じる”は72.4%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(16.6%)「そう感じない」(5.5%）の合計）は22.1%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が76.6%、女性が73.9%と男性が2.7ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が90.0%と高くなっていますが30代では61.1%と低くなっています。[図表23参照]

図表23 住んでいる地域は良好なまちなみと感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は95ページに掲載しています。

問18 地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

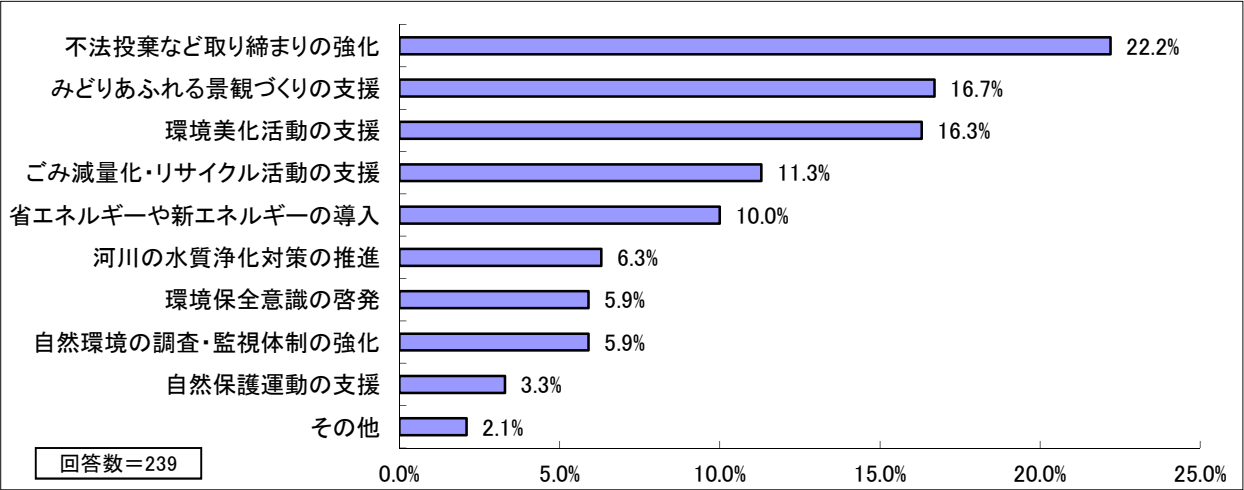
●「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位。「みどりあふれる景観づくりの支援」が続く。

自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組みについてたずねたところ、「不法投棄など取り締まりの強化」（22.2%）が第1位に挙げられ、次いで「みどりあふれる景観づくりの支援」（16.7%）、「環境美化活動の支援」（16.3%）、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」（11.3%）などの順となっています。

年齢別でみると30代は「みどりあふれる景観づくりの支援」、40代は「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」、その他の年代では、「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位となっています。

【図表24～25参照】

図表24 自然環境や生活環境の保全について（全体／複数回答）



図表25 自然環境や生活環境の保全について（全体、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	全 体	不法投棄などの取り締まりの強化 22.2	みどりあふれる景観づくりの支援 16.7	環境美化活動の支援 16.3
	20代	不法投棄など取り締まりの強化 23.5	省エネルギーや新エネルギーの導入 (同率1位) 23.5	環境美化活動の支援 17.6
	30代	みどりあふれる景観づくりの支援 30.0	環境美化活動の支援 20.0	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 (同率2位) 20.0
	40代	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 19.4	不法投棄など取り締まりの強化 (同率1位) 19.4	みどりあふれる景観づくりの支援 16.7
	50代	不法投棄など取り締まりの強化 21.2	みどりあふれる景観づくりの支援 17.3	省エネルギーや新エネルギーの導入 15.4
	60代	不法投棄など取り締まりの強化 28.3	環境美化活動の支援 17.4	みどりあふれる景観づくりの支援 13.0
	70歳以上	不法投棄など取り締まりの強化 25.5	環境美化活動の支援 16.4	みどりあふれる景観づくりの支援 14.5
居 住 地	中標津市街	不法投棄など取り締まりの強化 23.0	環境美化活動の支援 16.4	みどりあふれる景観づくりの支援 (同率2位) 16.4
	中標津町農協区域	不法投棄など取り締まりの強化 30.0	自然環境の調査・監視体制の強化 20.0	同率複数のため省略
	計根別市街	環境保全意識の啓発 50.0	環境美化活動の支援 25.0	省エネルギーや新エネルギーの導入 (同率2位) 25.0
	計根別農協区域	みどりあふれる景観づくりの支援 50.0	河川の水質浄化対策の推進 25.0	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

交通安全、マナーの徹底
空き家対策

問19 日常生活でインターネットなどを活用していますか。

● “活用している” が55.1%、“活用していない” が41.4%。

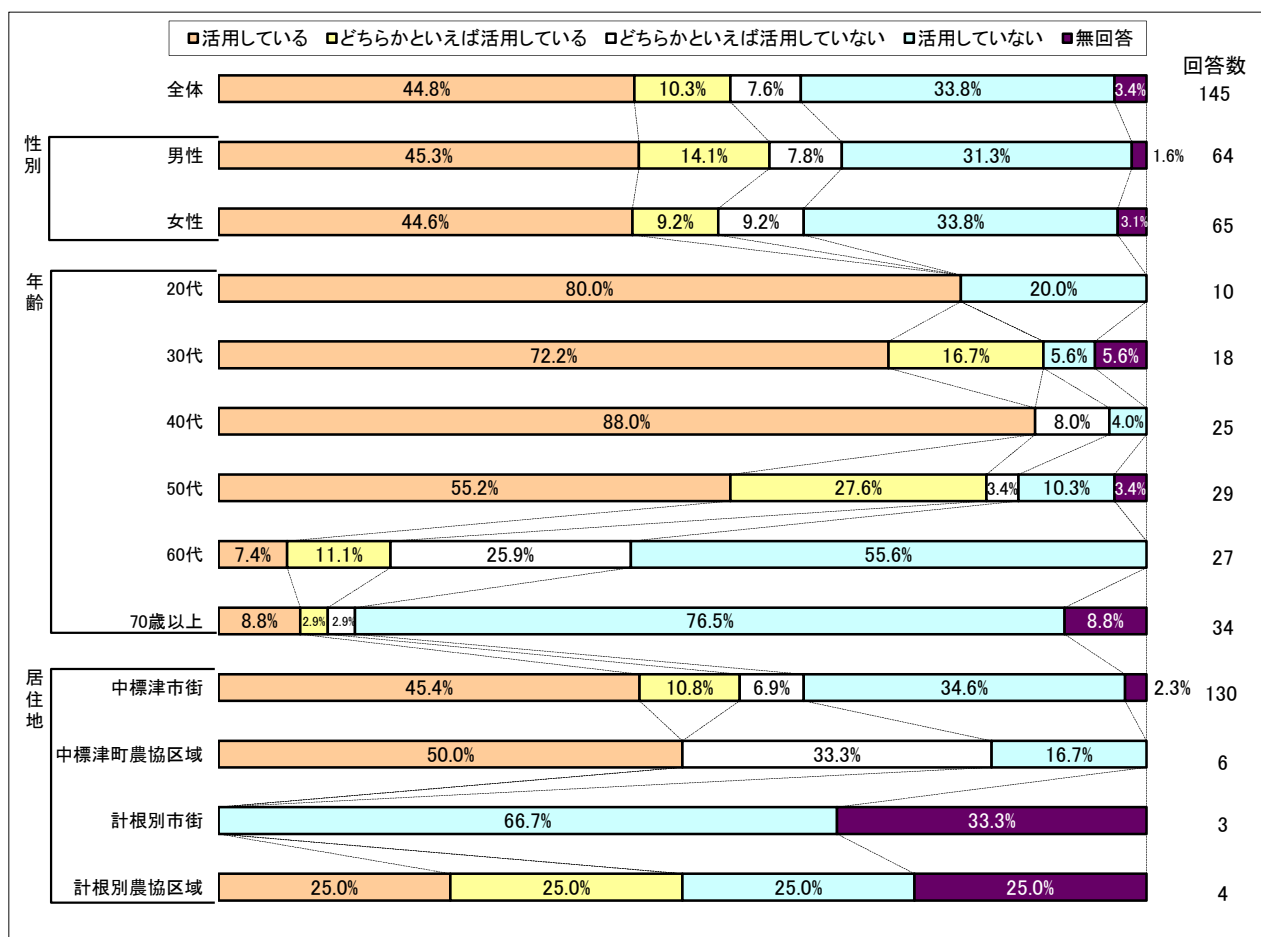
日常生活でインターネットなど活用しているかたずねたところ、「活用している」（44.8%）に「どちらかといえば活用している」（10.3%）を合わせた55.1%の人が“活用している”と回答しています。

一方、“活用していない”（「活用していない」（33.8%）「どちらかといえば活用していない」（7.6%）の合計）人は41.4%となっています。

性別で“活用している”人は男性が59.4%、女性が53.8%と男性が5.6ポイント上回っています。

年齢別ではインターネットを活用している人は、ほとんどが8割を超えていますが、一方で60代と70歳以上では約2割以下と低くなっています。[図表26参照]

図表26 インターネットの活用について（全体、性別、年齢、居住地）



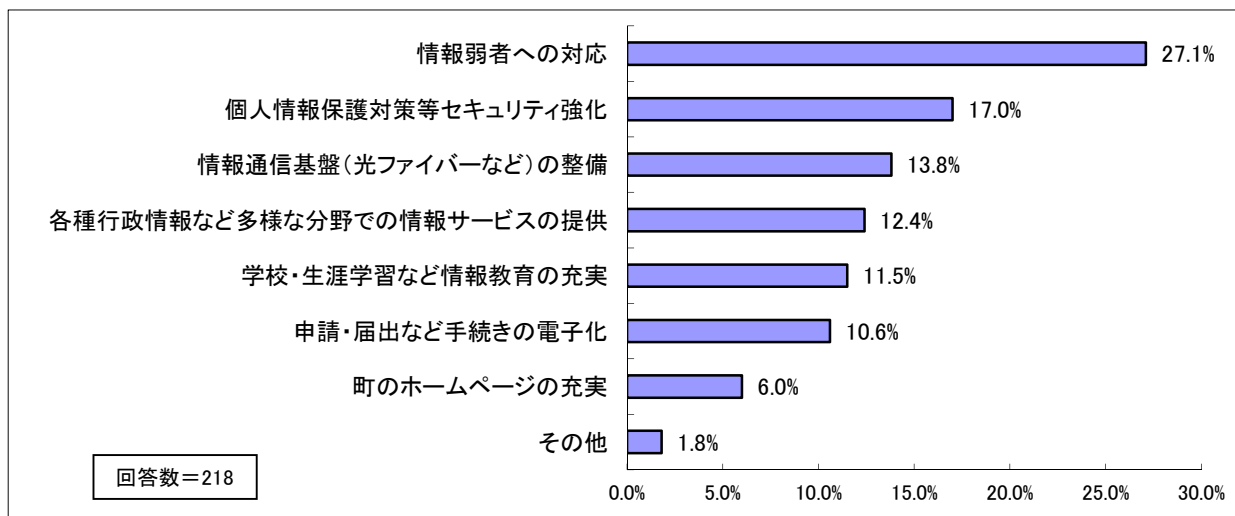
問20 インターネットを活用した社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

●「情報弱者への対応」が第1位。次いで「個人情報保護対策等セキュリティ強化」、「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」の順。

インターネットを活用した社会に対応するため、今後の必要な取り組みについてたずねたところ、「情報弱者への対応」（27.1%）が第1位に挙げられ、次いで「個人情報保護対策等セキュリティ強化」（17.0%）、「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」（13.8%）、「各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供」（12.4%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代・30代・40代で「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」となり、その他の世代では「情報弱者への対応」となっています。[図表27～28参照]

図表27 インターネット活用に対する今後の取り組みについて（全体／複数回答）



図表28 インターネット活用に対する今後の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 31.3	申請・届出など手続きの電子化 18.8	学校・生涯学習など情報教育の充実 （同率2位）18.8
	30代	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 21.9	申請・届出など手続きの電子化 （同率1位）21.9	情報弱者への対応 18.8
	40代	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 21.4	情報弱者への対応 19.0	個人情報保護対策等セキュリティ強化 16.7
	50代	情報弱者への対応 24.0	個人情報保護対策等セキュリティ 22.0	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 14.0
	60代	情報弱者への対応 40.6	個人情報保護対策等セキュリティ 18.8	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 15.6
	70歳以上	情報弱者への対応 37.2	個人情報保護対策等セキュリティ 20.9	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 11.6
居 住 地	中標津市街	情報弱者への対応 27.3	個人情報保護対策等セキュリティ 17.2	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 13.1
	中標津町農協区域	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 37.5	町のホームページの充実 25.0	同率複数のため省略 -
	計根別市街	情報弱者への対応 50.0	学校・生涯学習など情報教育の充実 25.0	個人情報保護対策等セキュリティ強化 （同率2位）25.0
	計根別農協区域	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 33.3	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答 情報弱者への対応

利用しない

問21 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。

● “している” が40.0%、“していない” が58.6%。

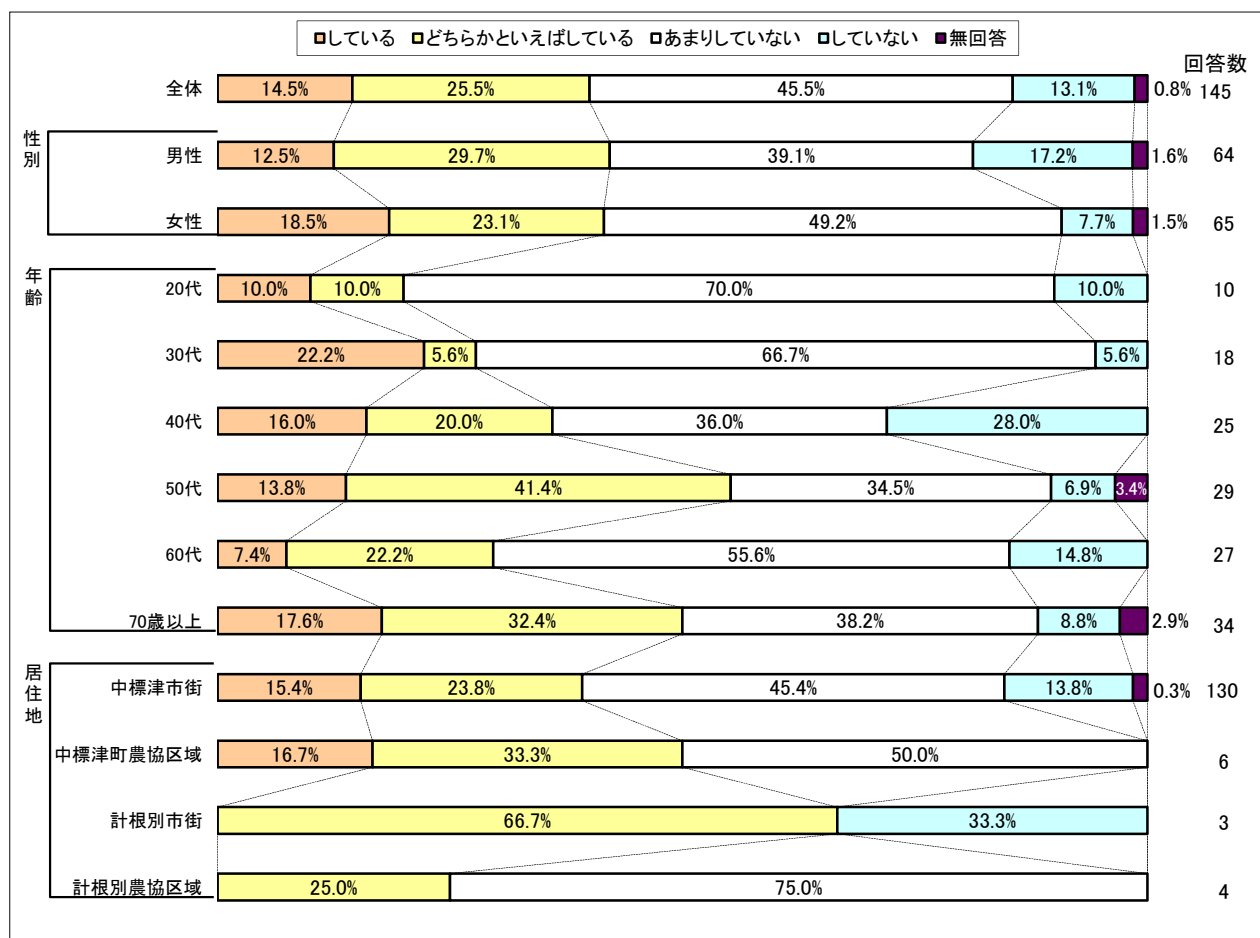
日頃から家庭で災害への備えをしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」（25.5%）に「している」（14.5%）を合わせた“している”人の割合は40.0%となっています。

一方、“していない”（「あまりしていない」（45.5%）「していない」（13.1%）の合計）は58.6%となっています。

性別で“している”人の割合は男性が42.2%、女性が41.6%と男性が0.6ポイント上回っています。

年齢別では20代が20.0%と一番低く、55.2%と一番高い50代とは約35%の差が出ています。[図表29参照]

図表29 日頃から家庭で災害への備えをしているか（全体、性別、年齢、居住地）



問22 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

● “参加している” が22.1%、“参加していない” が76.5%。

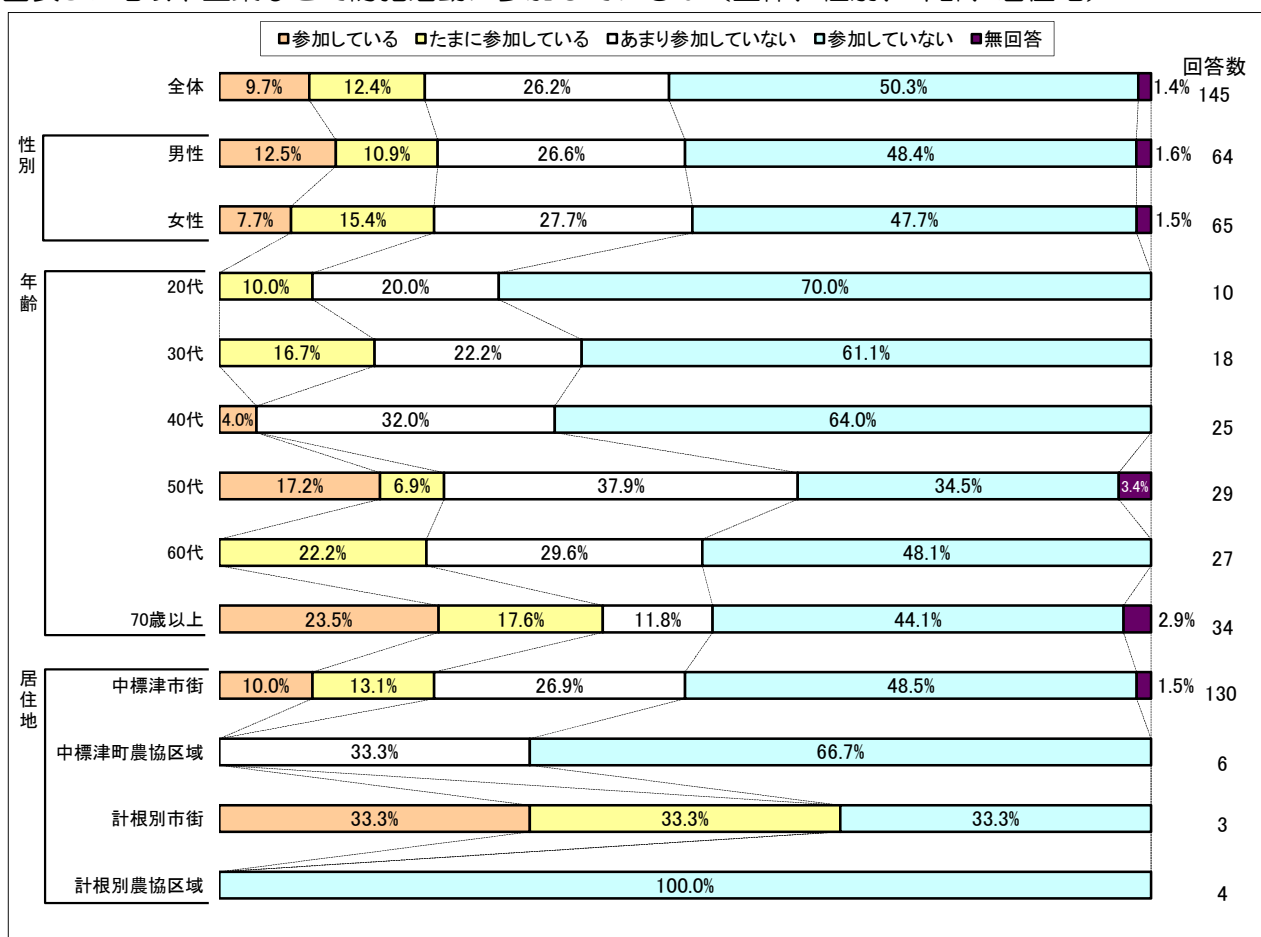
地域や企業などの防犯活動に参加しているかたずねたところ、「たまに参加している」(12.4%)に「参加している」(9.7%)を合わせた“参加している”人は22.1%となっています。

一方、“参加していない”（「参加していない」(50.3%)「あまり参加していない」(26.2%)の合計）は76.5%となっています。

性別で“参加している”人の割合は男性が23.4%、女性が23.1%と男性が0.3ポイント上回っています。

年齢別で“参加している”人が多いのが70歳以上の41.1%となっていますが、一方30代では4.0%となっています。[図表30参照]

図表30 地域や企業などで防犯活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

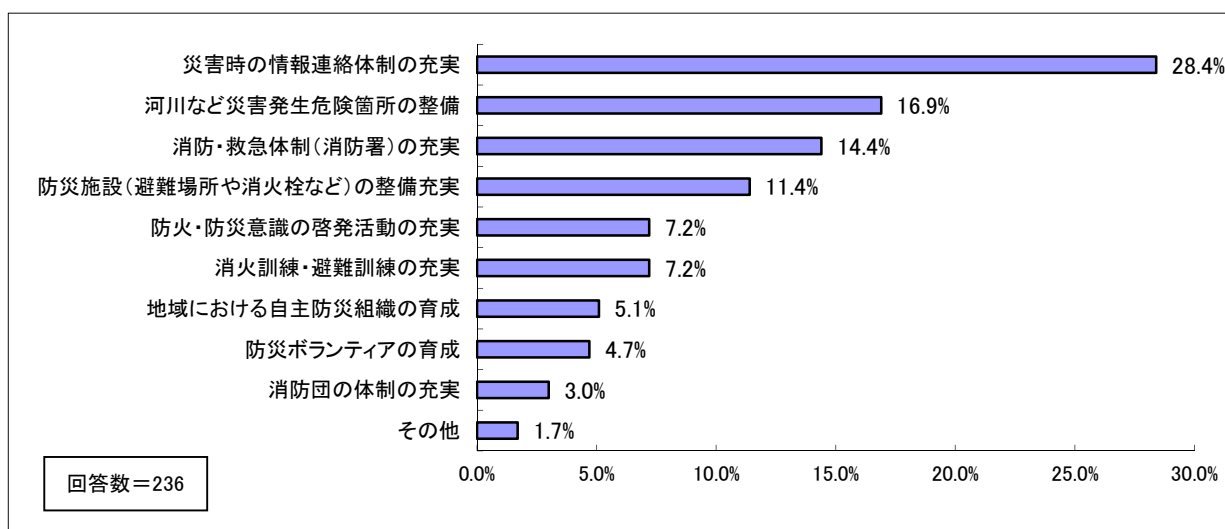


- 「災害時の情報連絡体制の充実」が第1位。次いで「河川など災害発生危険箇所の整備」、「消防・救急体制（消防署）の充実」の順。

消防・防災対策について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「災害時の情報連絡体制の充実」(28.4%)が第1位に挙げられ、次いで「河川など災害発生危険箇所の整備」(16.9%)、「消防・救急体制（消防署）の充実」(14.4%)、「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」(11.4%)などの順となっています。

年齢別の第1位は、30代以外の全ての世代において「災害時の情報連絡体制の充実」となっています。【図表31～32参照】

図表31 消防・防災対策の今後の取り組みについて（全体／複数回答）



図表32 消防・防災対策の今後の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	災害時の情報連絡体制の充実 31.6	消防・救急体制の充実 (同率1位) 31.6	同率複数のため省略 -
	30代	消防・救急体制の充実 20.7	河川など災害発生危険箇所の整備 (同率1位) 20.7	同率複数のため省略 -
	40代	災害時の情報連絡体制の充実 27.8	消防・救急体制の充実 16.7	河川など災害発生危険箇所の整備 (同率2位) 16.7
	50代	災害時の情報連絡体制の充実 29.4	河川など災害発生危険箇所の整備 17.6	同率複数のため省略 -
	60代	災害時の情報連絡体制の充実 28.2	河川など災害発生危険箇所の整備 17.9	防災施設の整備充実 15.4
	70歳以上	災害時の情報連絡体制の充実 33.9	河川など災害発生危険箇所の整備 16.9	同率複数のため省略 -
居 住 地	中標津市街	災害時の情報連絡体制の充実 28.3	河川など災害発生危険箇所の整備 17.9	消防・救急体制の充実 13.7
	中標津町農協区域	消防・救急体制の充実 37.5	防火・防災意識の啓発活動の充実 25.0	災害時の情報連絡体制の充実 (同率2位) 25.0
	計根別市街	災害時の情報連絡体制の充実 50.0	消防・救急体制の充実 25.0	防火・防災意識の啓発活動の充実 (同率2位) 25.0
	計根別農協区域	災害時の情報連絡体制の充実 25.0	防災施設の整備充実 (同率1位) 25.0	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

冬の除雪（幹線道路の）

問24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。

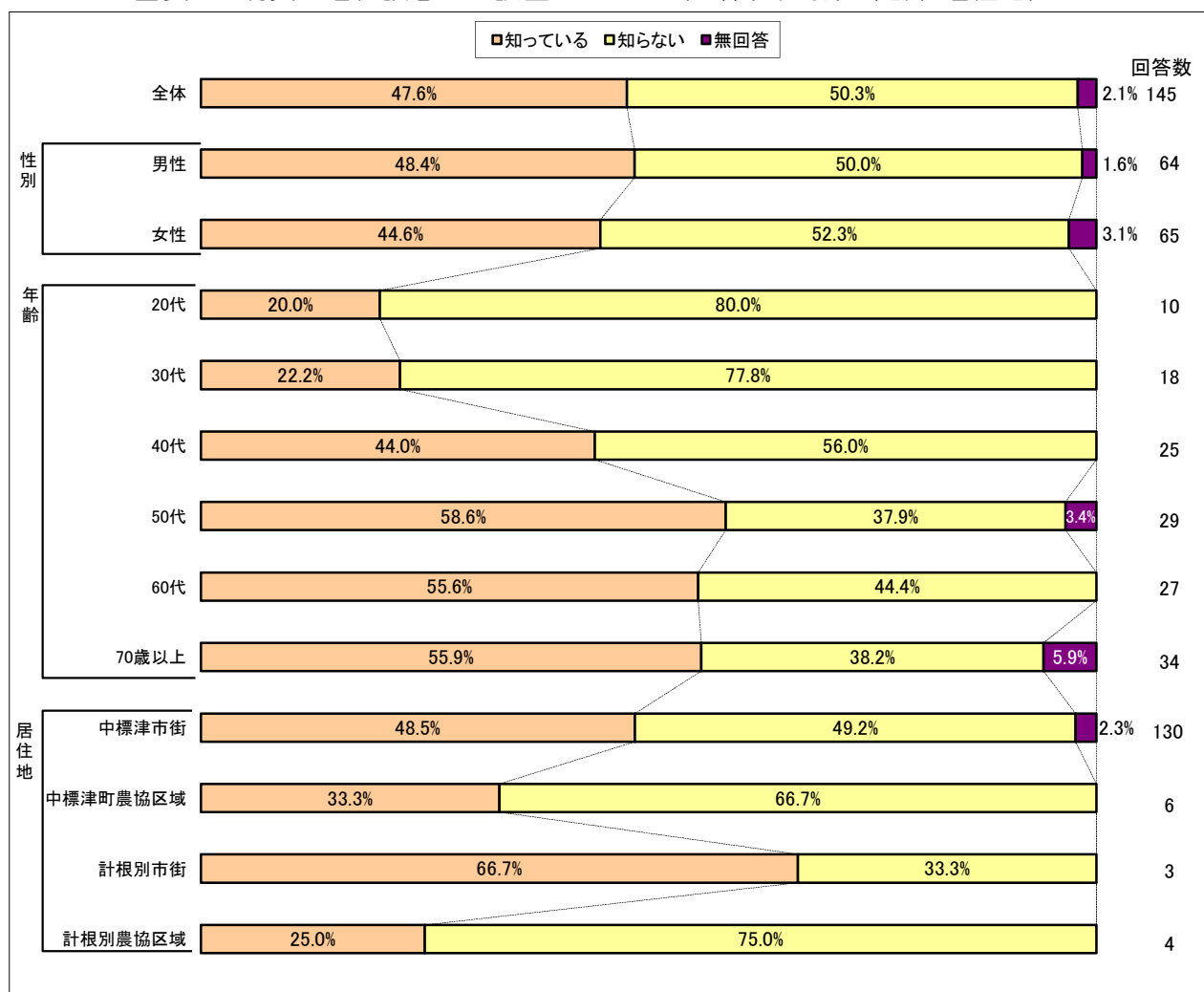
●「知っている」が47.6%。「知らない」が50.3%。

消費生活相談の窓口があることを知っているかたずねたところ、「知っている」と回答した人は47.6%となっているのに対し「知らない」と回答した人は50.3%と知らない人が上回っています。

性別で「知っている」と回答した人は男性が48.4%、女性は44.6%と男性が3.8ポイント上回っています。

年齢別では50代、60代、70歳以上では5割を超える人が知っていますが、20代では20.0%と低くなっています。[図表33参照]

図表33 消費生活相談窓口の設置について（全体、性別、年齢、居住地）



問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる” が42.8%、“そう感じない” が45.6%。

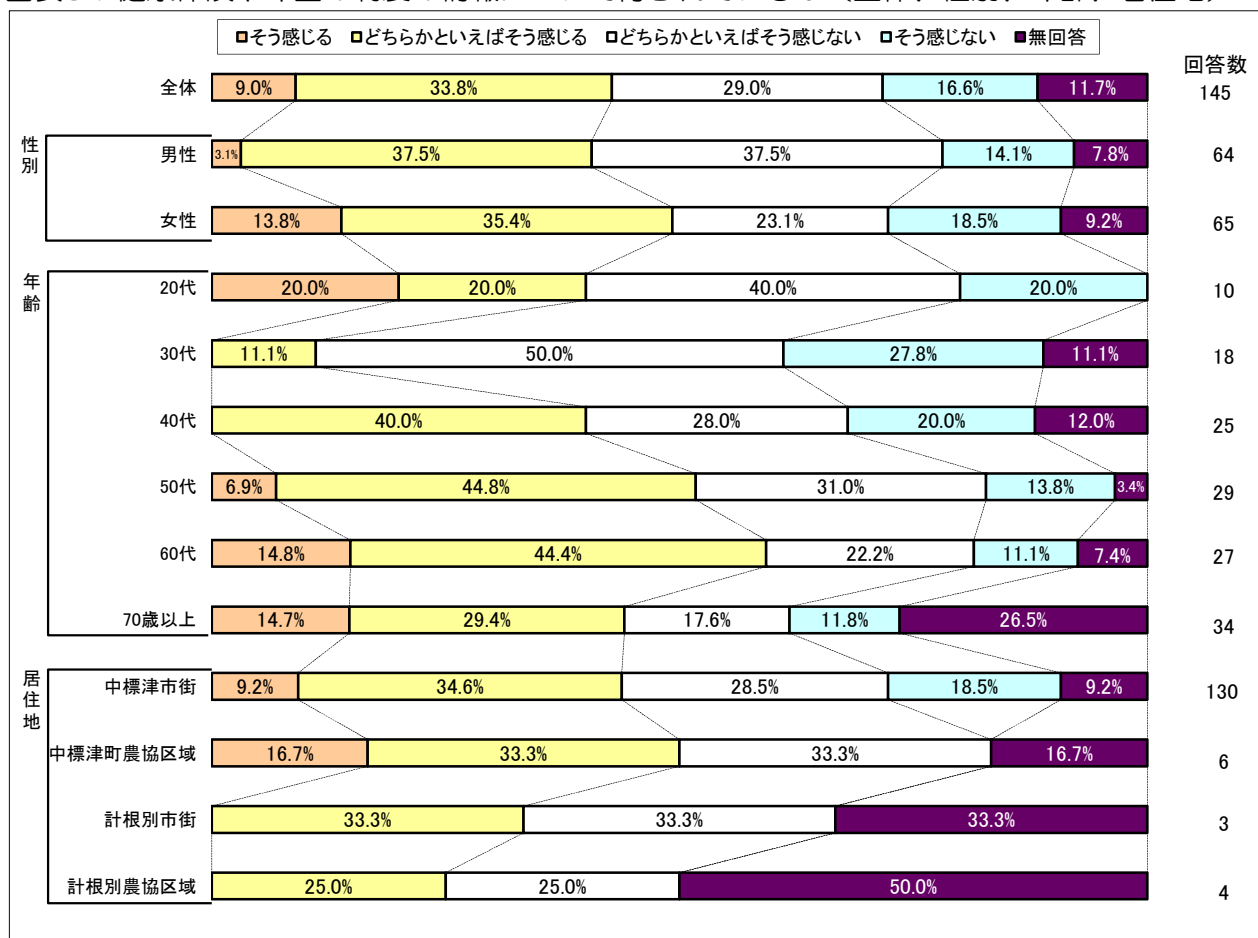
健康保険や年金の制度に関し、知りたい情報を得られているかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（33.8%）これに「そう感じる」(9.0%)をあわせた“そう感じる”という人が42.8%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(29.0%)、「そう感じない」(16.6%）の合計）は45.6%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が40.6%、女性が49.2%と女性が8.6ポイント上回っています。

年齢別で“そう感じる”人が多いのは60代で59.2%となっていますが、30代では、11.1%と低くなっています。[図表34参照]

図表34 健康保険や年金の制度の情報について得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は96ページに掲載しています。

(3) 環境問題への取り組みについて

問26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。

● “意識している” が78.7%、“意識していない” が17.2%。

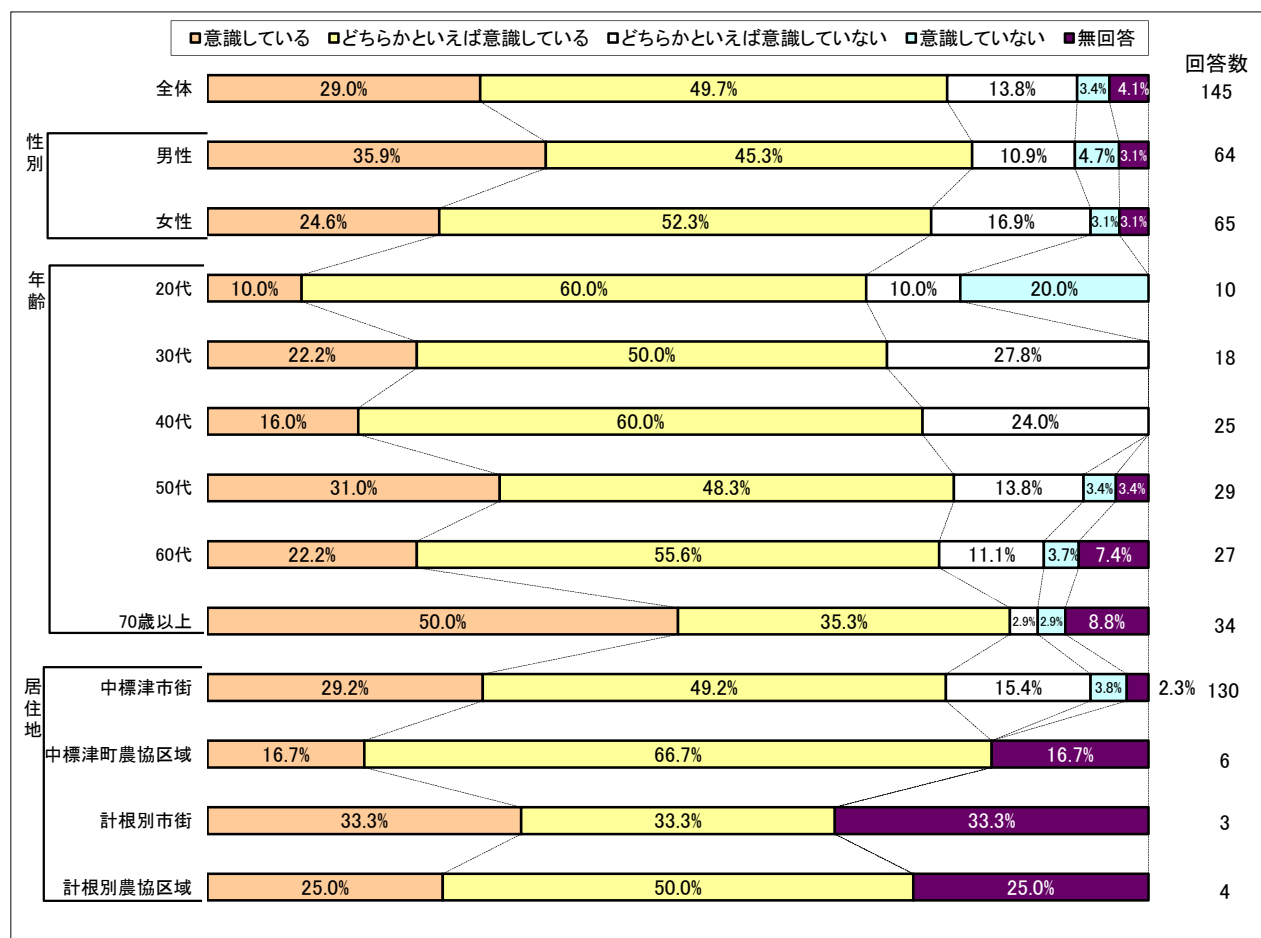
環境問題への取り組みについてたずねたところ、「どちらかといえば意識している」(49.7%)これに「意識している」(29.0%)をあわせた“意識している”という人が78.7%となっています。

一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」(13.8%)、「意識していない」(3.4%）の合計）は17.2%となっています。

性別で“意識している”人の割合をみると男性が81.2%、女性が76.9%と男性が4.3ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は70歳以上が85.3%と高くなっていますが、20代は70.0%となっています。[図表35参照]

図表35 環境問題について意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している” が66.2%、 “していない” が31.0%。

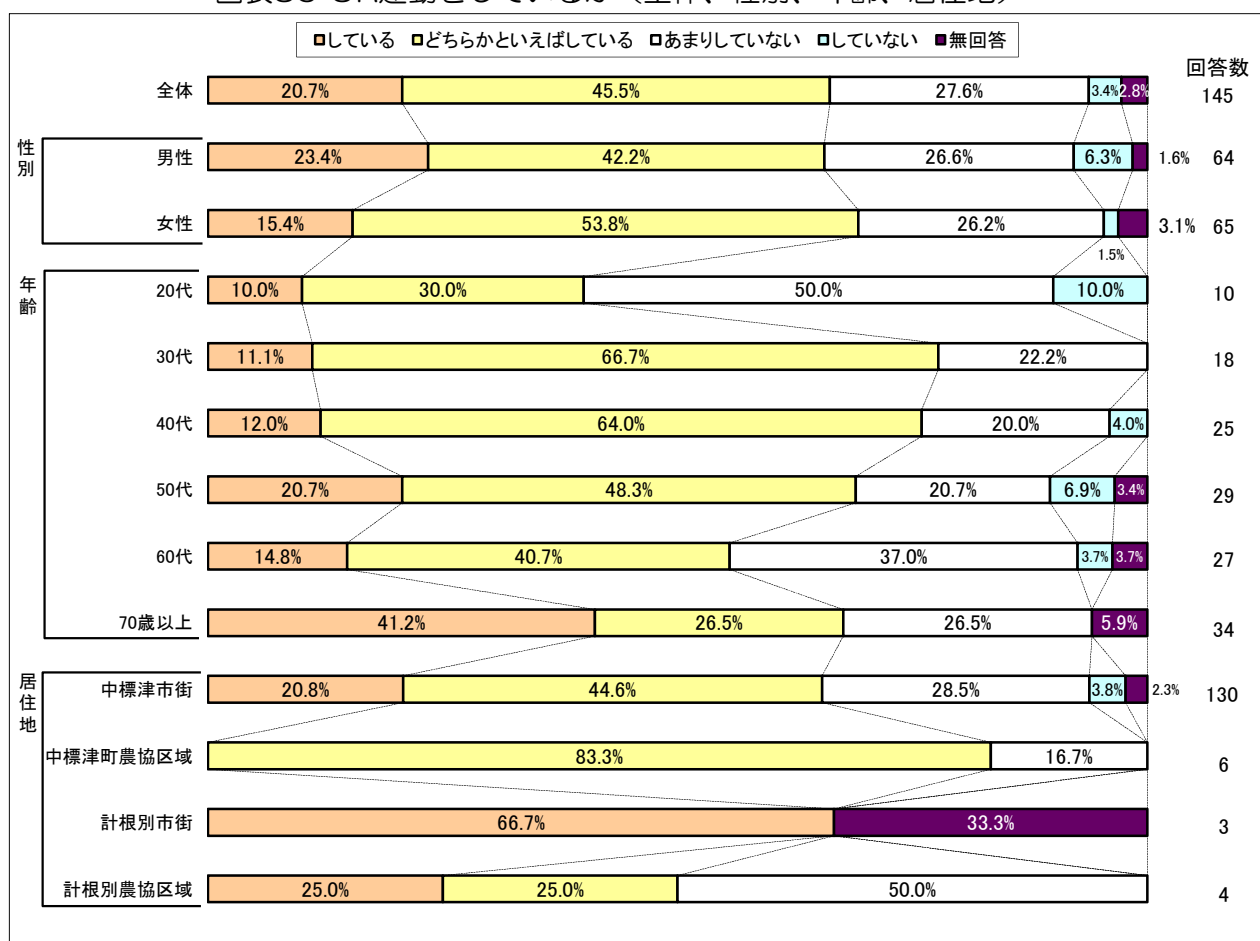
3R運動（リデュース・リユース・リサイクル）をしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」(45.5%)これに「している」（20.7%）をあわせた“している”という人は66.2%となっています。

一方、“していない”（「あまりしていない」(27.6%)、「していない」(3.4%）の合計）は31.0%となっています。

性別で“している”人の割合は男性が65.6%、女性が69.2%と女性が3.6ポイント上回っています。

年齢別の“している”人の割合は30代が77.8%と高くなっていますが、20代は40.0%と低くなっています。[図表36参照]

図表36 3R運動をしているか（全体、性別、年齢、居住地）



(4) 産業振興について

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

● “そう感じる” が73.1%、“そう感じない” が21.4%。

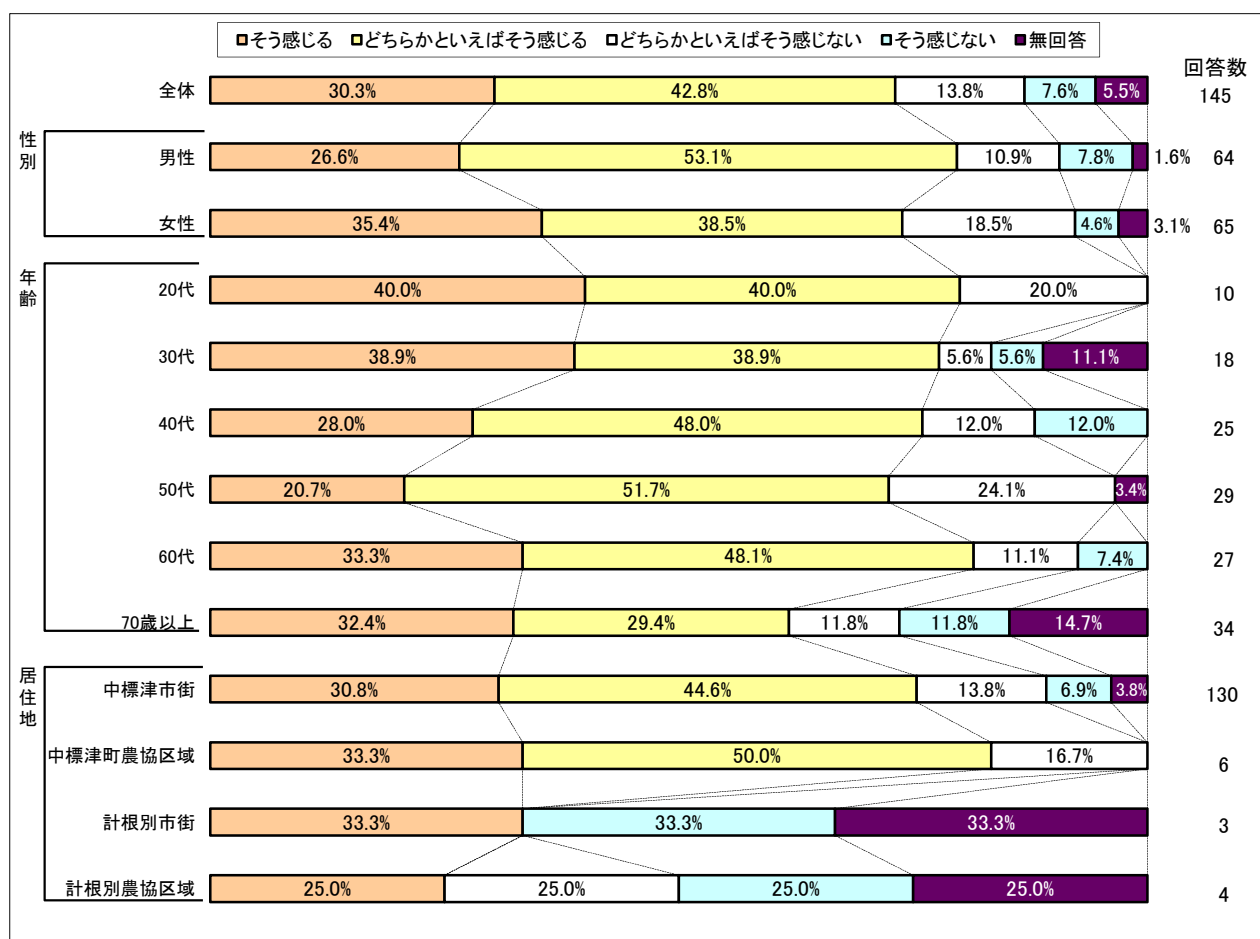
地元の農畜産物を身近に感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（42.8%）これに「そう感じる」（30.3%）をあわせた“そう感じる”人は73.1%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(13.8%)、「そう感じない」(7.6%)の合計）人は21.4%となっています。

性別で“そう感じる”人をみると男性が79.7%、女性が73.9%と男性が5.8ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合はすべての年齢層で6割を超えています、60代が一番多く81.4%となっています。[図表37参照]

図表37 地元の農産物を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は97ページに掲載しています。

問29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。

● “参加している” が4.9%、“参加していない” 93.1%。

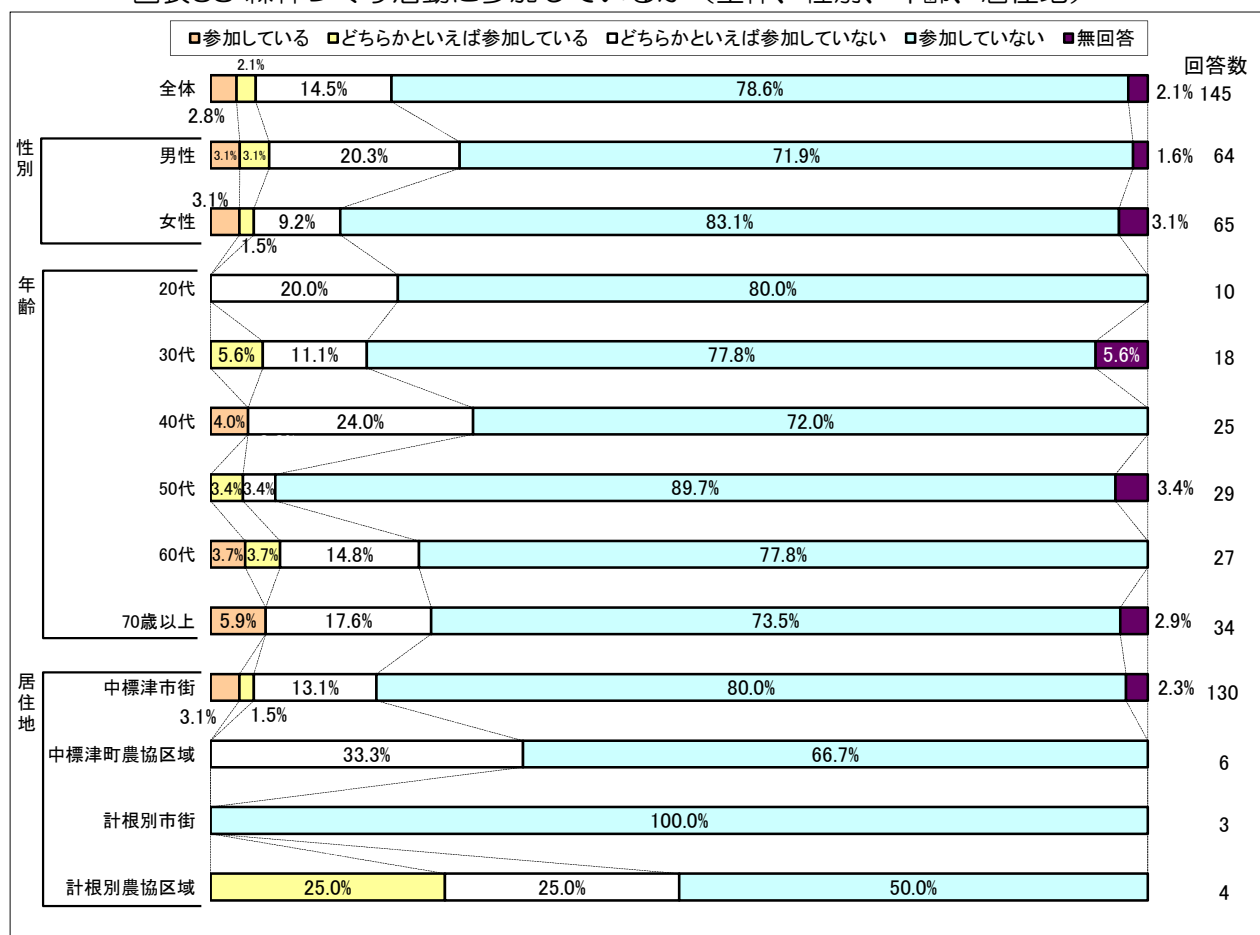
森林づくり活動に参加しているかたずねたところ、「どちらかといえば参加している」(2.1%)
これに「参加している」(2.8%)をあわせた“参加している”人は4.9%となっています。

一方、“参加していない”（「参加していない」78.6%）、「どちらかといえば参加していない」（14.5%）の合計は93.1%となっています。

性別で“参加している”人は男性が6.2%、女性が4.6%と男性が1.6ポイント上回っています。

年齢別の“参加している”人の割合は60代が7.4%となっていますが、20代では“参加している”と回答された方はいませんでした。【図表38参照】

図表38 森林づくり活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問30 地元で買い物することを意識していますか。

● “意識している” が77.2%、“意識していない” が20.7%。

地元で買い物することを意識しているかたずねたところ、「意識している」(44.1%)これに「どちらかといえば意識している」(33.1%)をあわせた“意識している”という人が77.2%となっています。

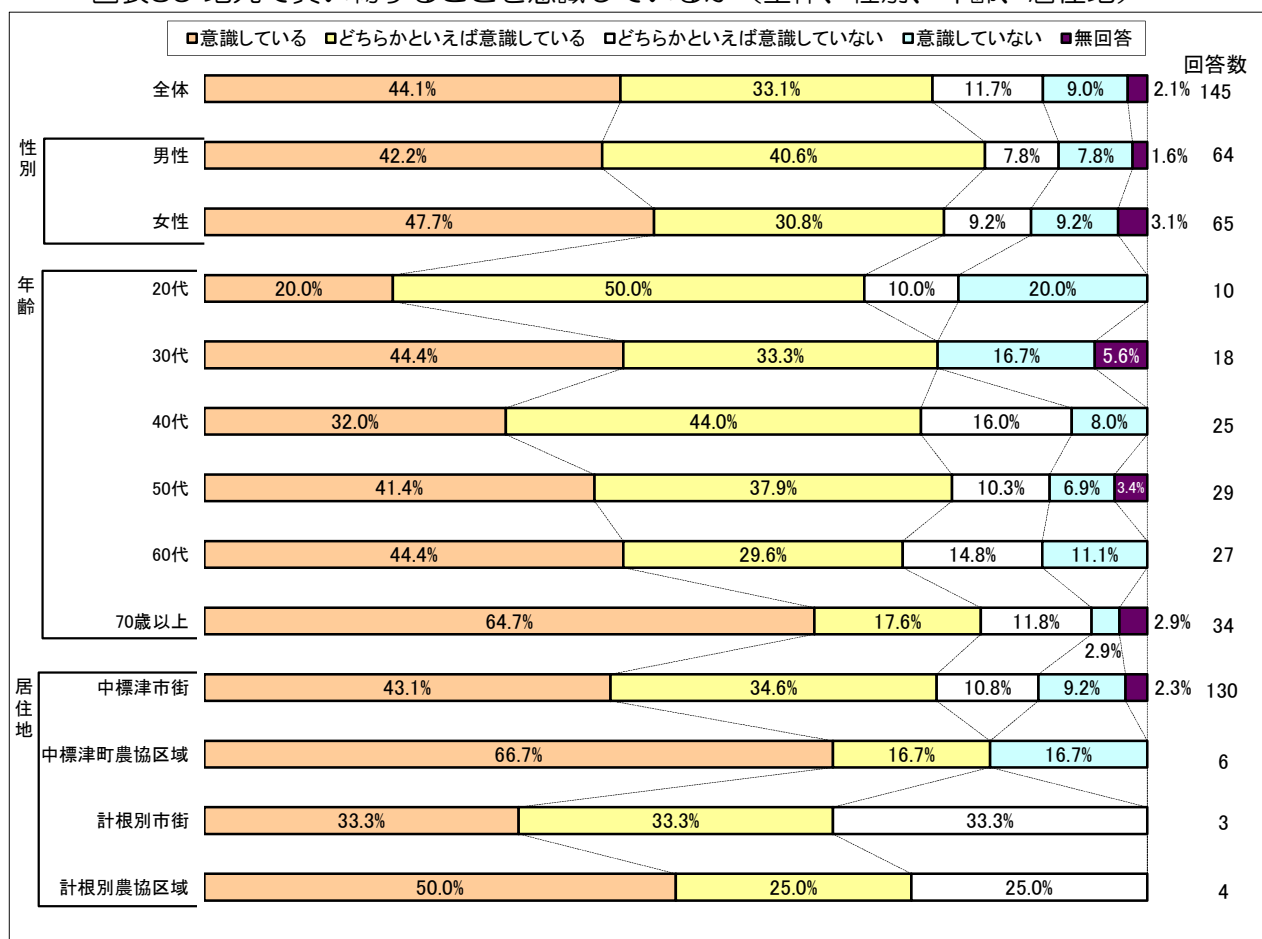
一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」(11.7%)、「意識していない」(9.0%)の合計）は20.7%となっています。

性別で“意識している”人の割合は男性が82.8%、女性が78.5%と男性が4.3ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は70歳以上では82.3%となっていますが、20代は70.0%となっています。

居住地別の“意識している”人の割合は中標津町農協区域が83.4%となっていますが、計根別市街区域の人は66.6%となっています。[図表39参照]

図表39 地元で買い物することを意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

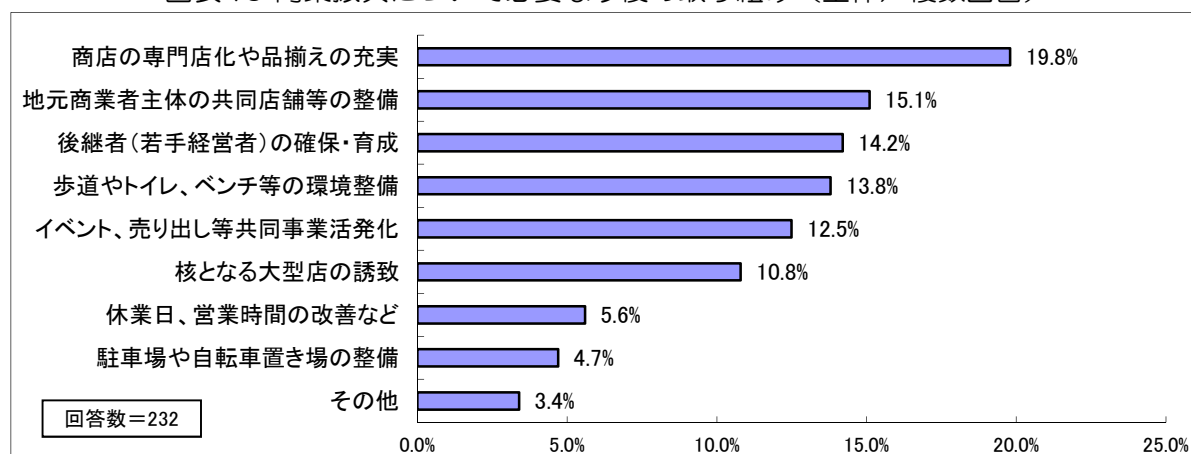
●「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位。次いで「地元商業者主体の共同店舗等の整備」、「後継者（若手経営者）の確保・育成」が続く。

町の商業振興について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「商店の専門店化や品揃えの充実」（19.8%）が第1位に挙げられ、次いで「地元商業者主体の共同店舗等の整備」（15.1%）、「後継者（若手経営者）の確保・育成」（14.2%）、「歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備」（13.8%）、「イベント、売り出し等共同事業活発化」（12.5%）などの順となっています。

年齢別では、30代、50代、70歳以上以外の年代で「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街地域、計根別市街地域ともに「商店の専門店化や品揃えの充実」となっています。【図表40～41参照】

図表40 商業振興について必要な今後の取り組み（全体／複数回答）



図表41 商業振興について必要な今後の取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	商店の専門店化や品揃えの充実 27.8	イベント、売り出し等共同事業活発化 22.2	核となる大型店の誘致 (同率2位) 22.2
	30代	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 21.9	核となる大型店の誘致 18.8	後継者の確保・育成 15.6
	40代	商店の専門店化や品揃えの充実 22.5	地元商業者主体の共同店舗等の整備 17.5	同率複数のため省略 -
	50代	後継者の確保・育成 20.0	商店の専門店化や品揃えの充実 18.0	地元商業者主体の共同店舗等の整備 (同率2位) 18.0
	60代	商店の専門店化や品揃えの充実 28.9	地元商業者主体の共同店舗等の整備 23.7	後継者の確保・育成 13.2
	70歳以上	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 21.6	地元商業者主体の共同店舗等の整備 15.7	後継者の確保・育成 (同率2位) 15.7
居 住 地	中標津市街	商店の専門店化や品揃えの充実 20.2	地元商業者主体の共同店舗等の整備 15.4	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 14.4
	中標津町農協区域	イベント、売り出し等共同事業活発化 20.0	後継者の確保・育成 (同率1位) 20.0	同率複数のため省略 -
	計根別市街	商店の専門店化や品揃えの充実 33.3	核となる大型店の誘致 (同率1位) 33.3	その他 (同率1位) 33.3
	計根別農協区域	地元商業者主体の共同店舗等の整備 28.6	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

若者が集えるような場があると良いのでは！！
個人商店を集積して景観も含めて、特徴あるゾーンにする。
高齢化が進むので、買物難民が出ないような取り組み
人材不足すぎるので、高校生にバイトさせた方が良くと思う。
中標津に行かないと購入出来ない商品とかあったら良いかと思います。

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

● “満足している” が51.7%、“満足していない” が33.1%。

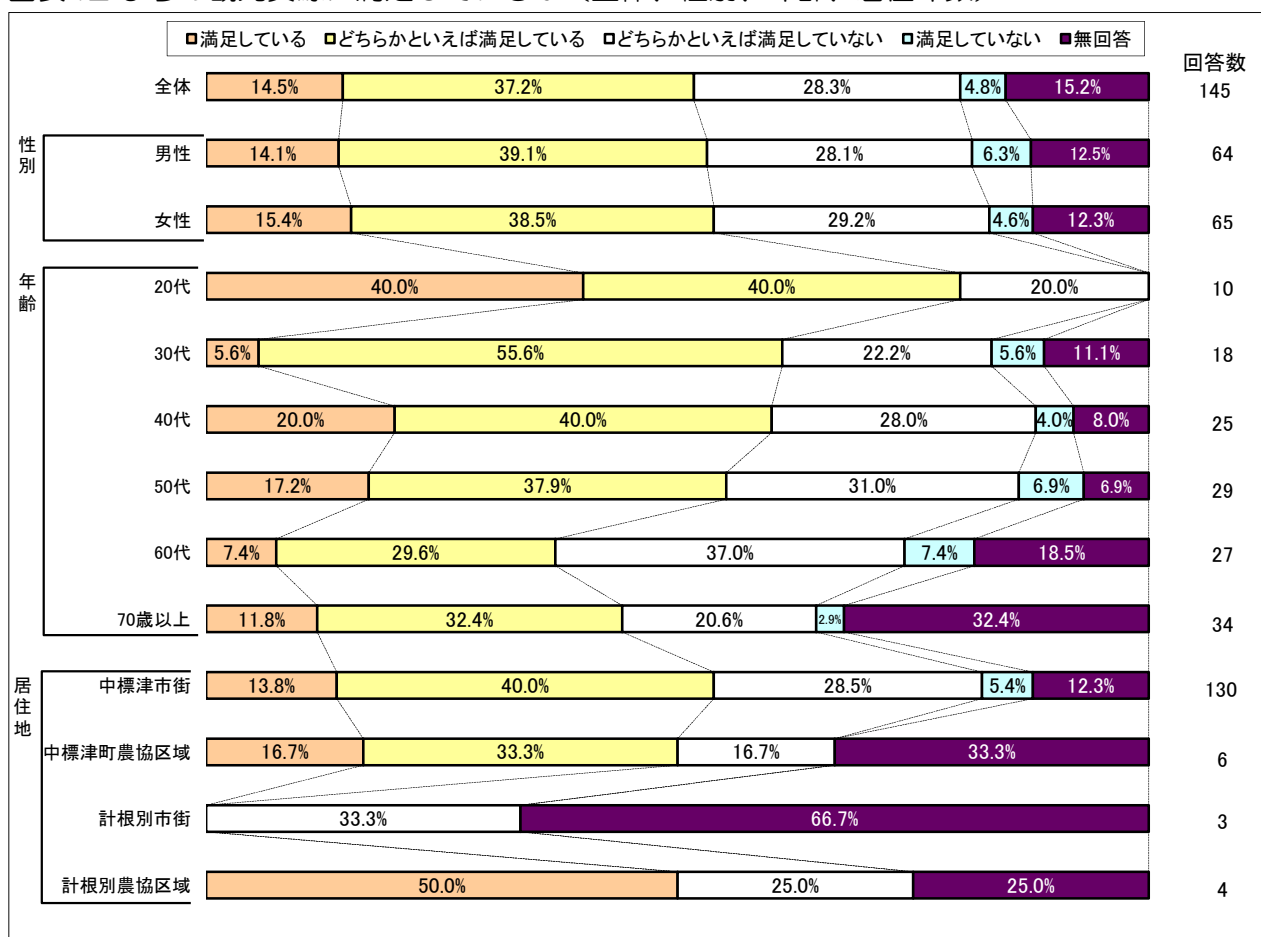
まちの観光資源に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(37.2%)
これに「満足している」(14.5%)をあわせた“満足している”人は51.7%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(28.3%)、「満足していない」(4.8%)の合計）は33.1%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が53.2%、女性が53.9%と女性の方が0.7ポイント高くなっています。

年齢別の“満足している”人の割合は20代が80.0%となっていますが、60代では37.0%となっています。[図表42参照]

図表42 まちの観光資源に満足しているか（全体、性別、年齢、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は98ページに掲載しています。

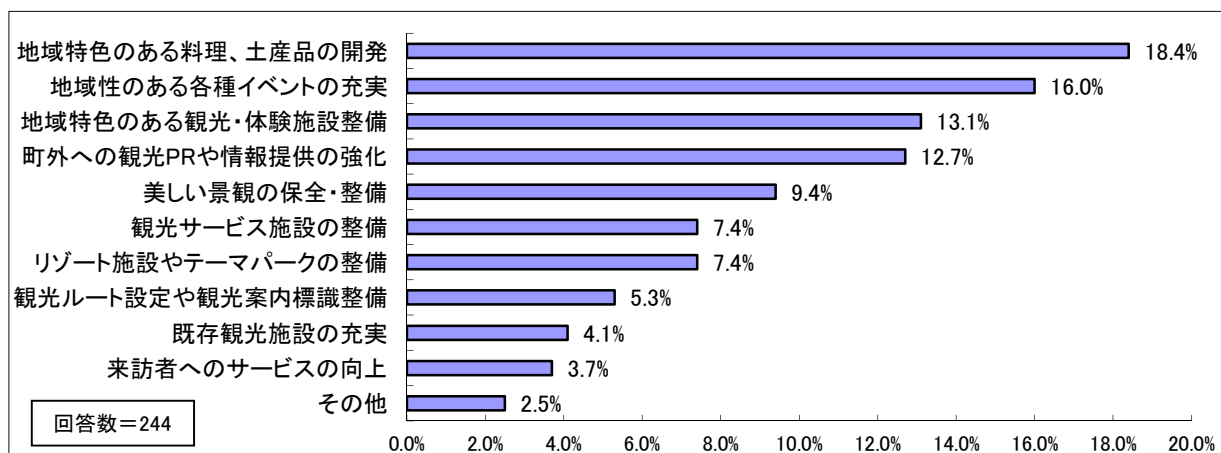
問33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

●「地域特色のある料理、土産品の開発」が第1位。次いで「地域性のある各種イベントの充実」、「地域特色のある観光・体験施設整備」の順。

町の観光振興について、今後どのようなことに力を入れるべきかたずねたところ、「地域特色のある料理、土産品の開発」（18.4%）が第1位に挙げられ、次いで「地域性のある各種イベントの充実」（16.0%）、「地域特色のある観光・体験施設整備」（13.1%）、「町外への観光PRや情報提供の強化」（12.7%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代、40代が「地域性のある各種イベントの充実」、20代、40代以外の世代は、「地域特色のある料理、土産品の開発」となっています。[図表43～44参照]

図表43 観光振興のために今後特に力を入れること（全体／複数回答）



図表44 観光振興のために今後特に力を入れること（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	地域性のある各種イベントの充実 26.3	リゾート施設やテーマパークの整備 21.1	同率複数のため省略 -
	30代	地域特色のある料理、土産品の開発 29.0	地域性のある各種イベントの充実 19.4	地域特色のある観光・体験施設整備 16.1
	40代	地域性のある各種イベントの充実 21.4	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	50代	地域特色のある料理、土産品の開発 17.3	町外への観光PRや情報提供の強化 (同率1位) 17.3	地域性のある各種イベントの充実 (同率1位) 17.3
	60代	地域特色のある料理、土産品の開発 22.7	町外への観光PRや情報提供の強化 18.2	美しい景観の保全・整備 15.9
	70歳以上	地域特色のある料理、土産品の開発 22.6	町外への観光PRや情報提供の強化 15.1	同率複数のため省略 -
居 住 地	中標津市街	地域特色のある料理、土産品の開発 19.2	地域性のある各種イベントの充実 16.4	地域特色のある観光・体験施設整備 13.7
	中標津町農協区域	地域特色のある料理、土産品の開発 20.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	計根別市街	町外への観光PRや情報提供の強化 50.0	地域特色のある料理、土産品の開発 25.0	リゾート施設やテーマパークの整備 (同率2位) 25.0
	計根別農協区域	美しい景観の保全・整備 28.6	地域性のある各種イベントの充実 (同率1位) 28.6	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

ホテルを増やす
中標津空港が本州ではマイナーすぎる。3ヶ所の国立公園に囲まれ、こんなに便利なのに。（知床空港に名称変更で解決）
先人の足跡・雄大さ・簡易登山等、観光メニューの発掘
サービス業従事者のおもてなしの心

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

● “満足している” が35.2%、“満足していない” が42.1%。

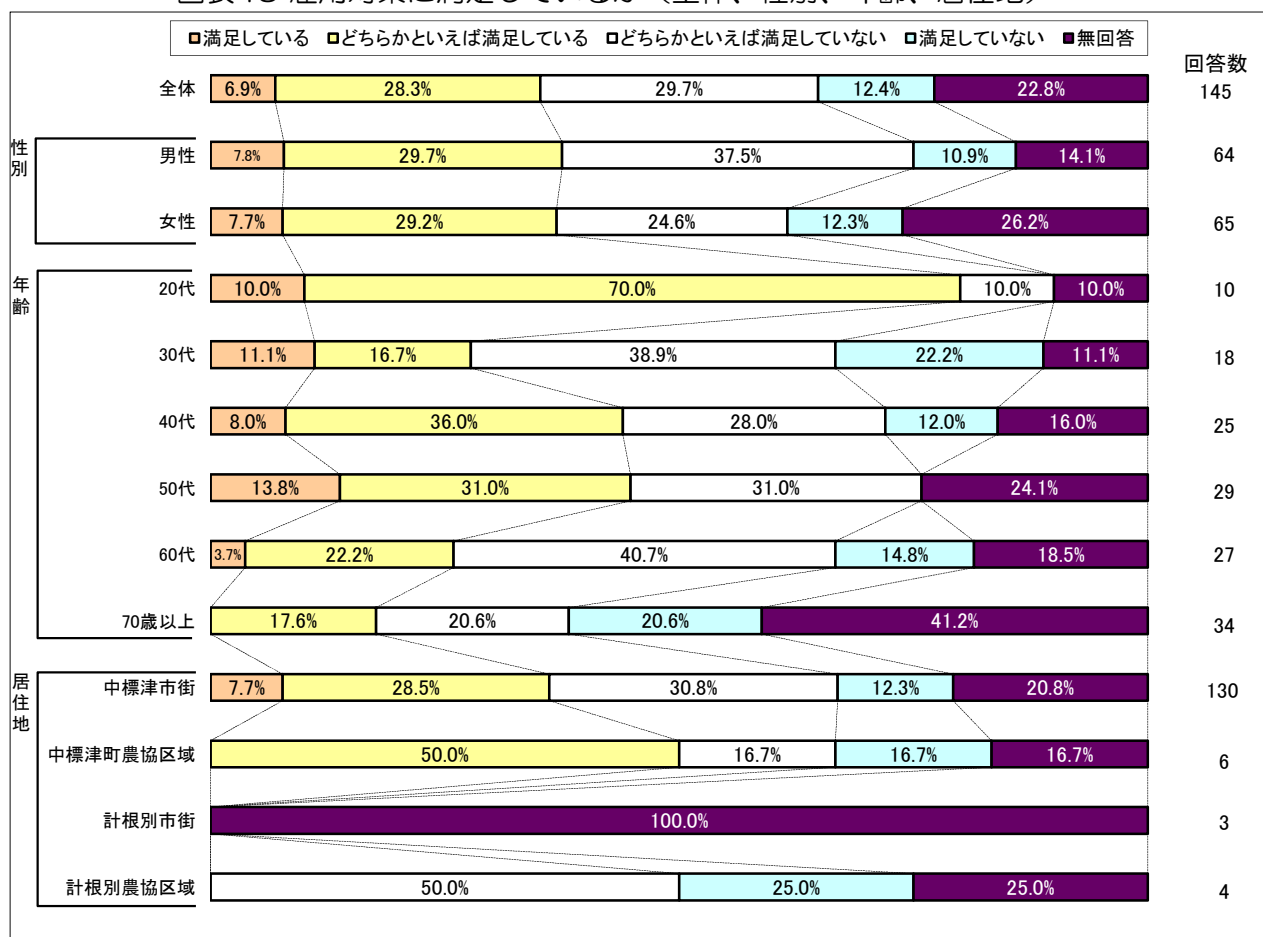
雇用対策に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(28.3%)これに「満足している」(6.9%)をあわせた“満足している”人は35.2%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(29.7%)、「満足していない」(12.4%)の合計）は42.1%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が37.5%、女性が36.9%と男性が0.6ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は20代が80.0%となっていますが、70歳以上では17.6%となっています。[図表45参照]

図表45 雇用対策に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は99ページに掲載しています。

(5) 保健・医療・福祉について

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

● “満足している” が32.4%、“満足していない” が57.3%。

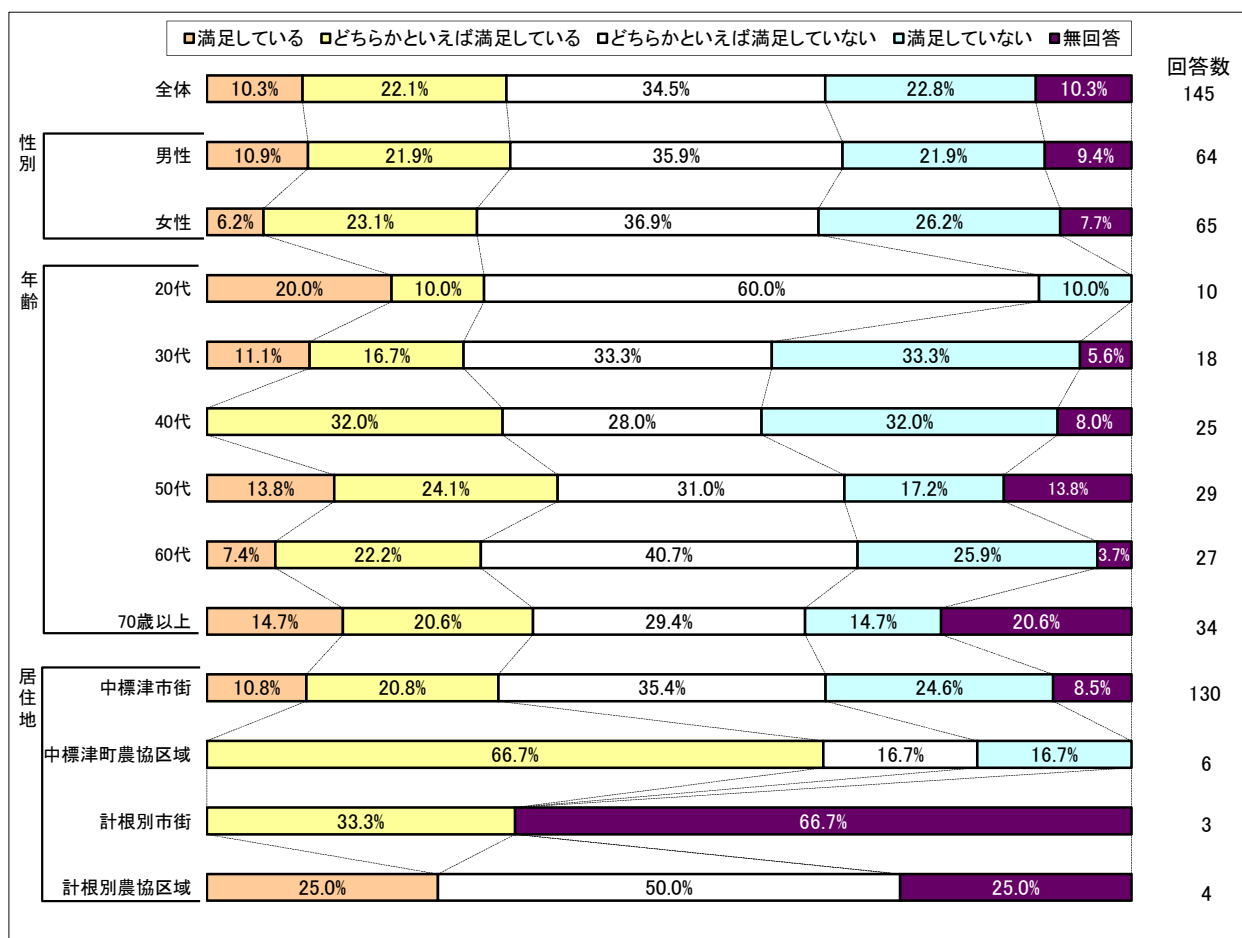
地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(22.1%)これに「満足している」(10.3%)をあわせた“満足している”人は32.4%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(34.5%)、「満足していない」(22.8%)の合計）は57.3%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が32.8%、女性が29.3%と男性が3.5ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は50代が37.9%となっていますが、30代では27.8%となっています。[図表46参照]

図表46 地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は99ページに掲載しています。

問36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

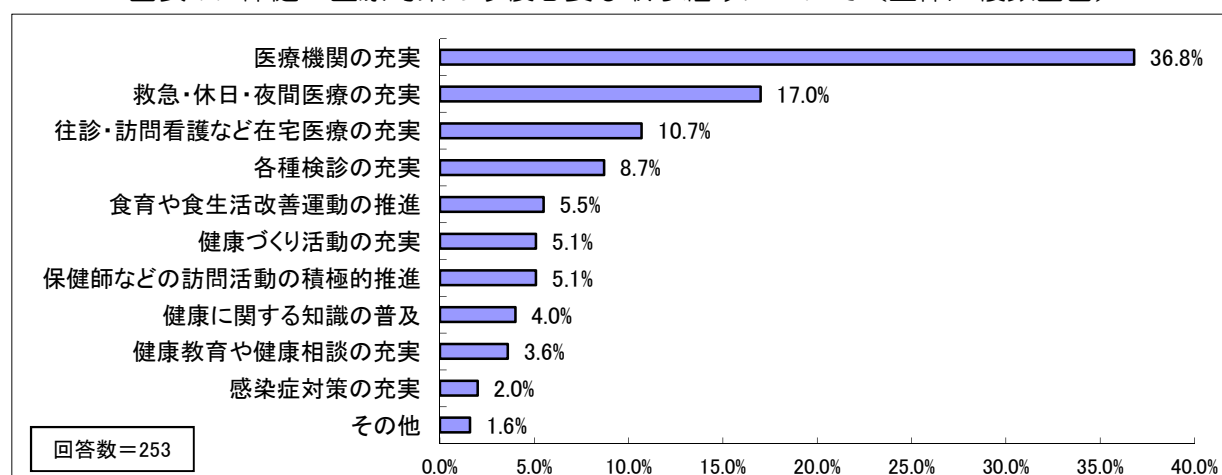
●「医療機関の充実」が第1位。次いで「救急・休日・夜間医療の充実」、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」の順。

今後必要な保健・医療対策については、「医療機関の充実」（36.8%）が第1位に挙げられ、次いで「救急・休日・夜間医療の充実」（17.0%）、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」（10.7%）、「各種検診の充実」（8.7%）「食育や食生活改善運動の推進」（5.5%）などの順となっています。

年齢別では、すべての年齢層で「医療機関の充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街（37.7%）、中標津町農協区域（33.3%）、計根別市街（25.0%）計根別農協区域（25.0%）となっています。[図表47～48参照]

図表47 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表48 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	医療機関の充実 52.6	救急・休日・夜間医療の充実 36.8	同率複数のため省略 -
	30代	医療機関の充実 39.4	救急・休日・夜間医療の充実 24.2	各種検診の充実 15.2
	40代	医療機関の充実 33.3	救急・休日・夜間医療の充実 23.8	食育や食生活改善運動の推進 11.9
	50代	医療機関の充実 35.3	救急・休日・夜間医療の充実 11.8	往診・訪問看護など在宅医療の充実 (同率2位) 11.8
	60代	医療機関の充実 38.6	救急・休日・夜間医療の充実 15.9	往診・訪問看護など在宅医療の充実 13.6
	70歳以上	医療機関の充実 35.0	往診・訪問看護など在宅医療の充実 20.0	健康づくり活動の充実 8.3
居住地	中標津市街	医療機関の充実 37.7	救急・休日・夜間医療の充実 17.5	往診・訪問看護など在宅医療の充実 10.1
	中標津町農協区域	医療機関の充実 33.3	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	計根別市街	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	医療機関の充実 25.0	救急・休日・夜間医療の充実 (同率2位) 25.0	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

長野県の取組を参考にしては。県をあげての健康に対する取組。
各種医療の充実
良い医者確保

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

● “そう感じる” が57.9%、“そう感じない” が22.1%。

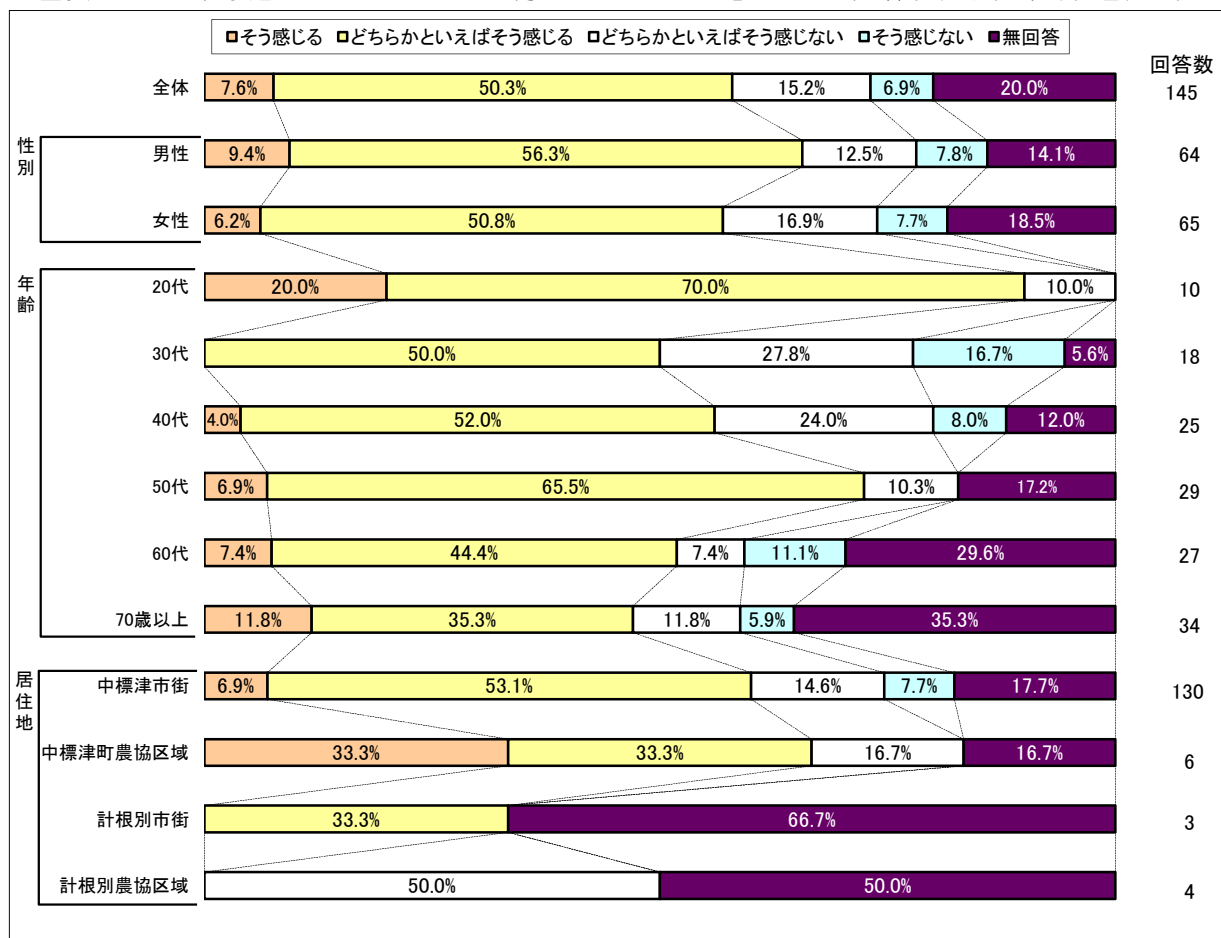
地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(50.3%)これに「そう感じる」(7.6%)をあわせた“そう感じる”人は57.9%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(15.2%)、「そう感じない」(6.9%)の合計）は22.1%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が65.7%、女性が57.0%と男性が8.7ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が90.0%となっていますが、70歳以上は47.1%となっています。[図表49参照]

図表49 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は100ページに掲載しています。

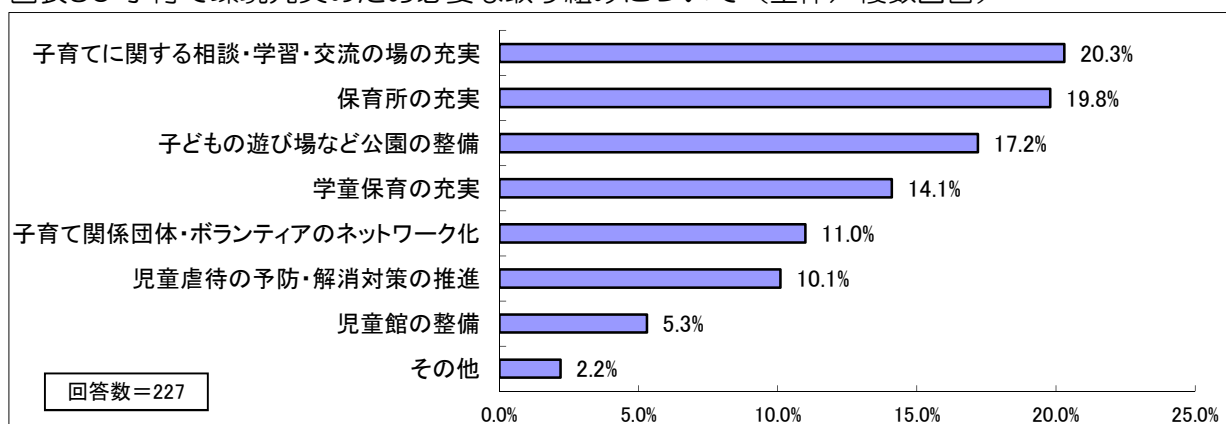
問38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」が第1位。次いで「保育所の充実」、「子どもの遊び場など公園の整備」の順。

今後必要な子育て環境については、「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」（20.3%）が第1位に挙げられ、次いで「保育所の充実」（19.8%）、「子どもの遊び場など公園の整備」（17.2%）、「学童保育の充実」（14.1%）、「子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化」（11.0%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・40代・60代・70歳以上が「保育所の充実」、30代は「子どもの遊び場など公園の整備」、50代は「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」となっています。[図表50～51参照]

図表50 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表51 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	保育所の充実 31.6	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 26.3	子どもの遊び場など公園の整備 21.1
	30代	子どもの遊び場など公園の整備 32.4	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 20.6	学童保育の充実 11.8
	40代	保育所の充実 25.6	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 23.1	子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化 15.4
	50代	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 23.4	子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化 17.0	学童保育の充実 (同率2位) 17.0
	60代	保育所の充実 18.9	学童保育の充実 (同率1位) 18.9	子どもの遊び場など公園の整備 16.2
	70歳以上	保育所の充実 25.0	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 18.8	学童保育の充実 16.7
居住地	中標津市街	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 20.8	保育所の充実 18.8	子どもの遊び場など公園の整備 18.4
	中標津町農協区域	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 28.6	学童保育の充実 (同率1位) 28.6	同率複数のため省略
	計根別市街	保育所の充実 50.0	学童保育の充実 25.0	児童虐待の予防・解消対策の推進 (同率2位) 25.0
	計根別農協区域	保育所の充実 40.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

子供がいる家庭に生活補助金がほしい。または、住宅補助を手厚くしてほしい
 予防接種の無料化
 土日や訪問などの病児保育の充実化
 経済的支援

問39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

● “そう感じる” が42.0%、“そう感じない” が44.2%。

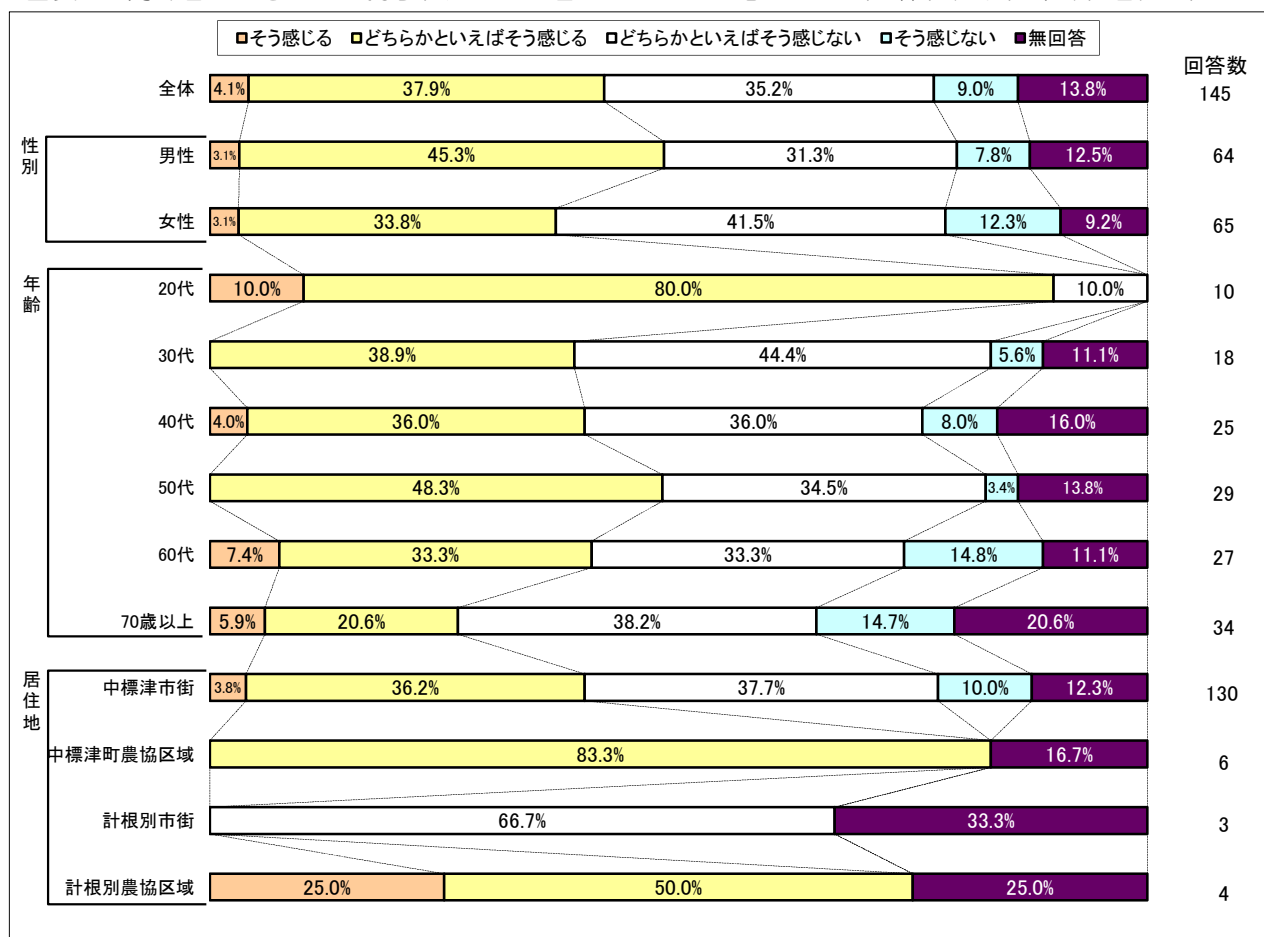
高齢者が生きがいを持ち安心して暮らしていると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（37.9%）これに「そう感じる」（4.1%）をあわせた“そう感じる”人は、42.0%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（35.2%）、「そう感じない」（9.0%）の合計）は44.2%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が48.4%、女性が36.9%と男性が11.5ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が90.0%と高くなっていますが70歳以上では26.5%と低くなっています。[図表52参照]

図表52 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は101ページに掲載しています。

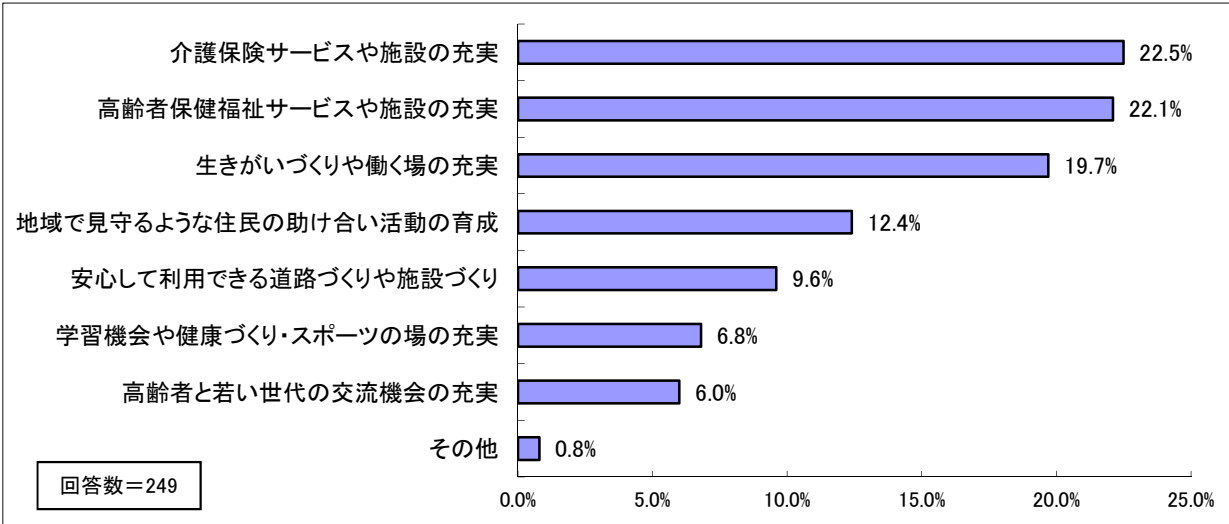
問40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●「介護保険サービスや施設の充実」が第1位、次いで「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」、「生きがいつくりや働く場の充実」の順。

今後必要な高齢者施策については、「介護保険サービスや施設の充実」(22.5%)が第1位となり、次いで、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」(22.1%)、「生きがいつくりや働く場の充実」(19.7%)、「地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」(12.4%)「安心して利用できる道路づくりや施設づくり」(9.6%)などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・40代・60代が「介護保険サービスや施設の充実」、30代が「生きがいつくりや働く場の充実」、50代・70歳以上は「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」となっています。[図表53～54参照]

図表53 高齢者施策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表54 高齢者施策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	介護保険サービスや施設の充実 26.3	生きがいつくりや働く場の充実 21.1	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 (同率2位) 21.1
	30代	生きがいつくりや働く場の充実 26.7	介護保険サービスや施設の充実 23.3	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 20.0
	40代	介護保険サービスや施設の充実 22.5	生きがいつくりや働く場の充実 20.0	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 17.5
	50代	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 24.5	生きがいつくりや働く場の充実 22.6	介護保険サービスや施設の充実 20.8
	60代	介護保険サービスや施設の充実 27.1	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 22.9	生きがいつくりや働く場の充実 16.7
	70歳以上	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 27.3	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 20.0	介護保険サービスや施設の充実 18.2
	中標津市街	介護保険サービスや施設の充実 22.5	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 21.2	生きがいつくりや働く場の充実 20.3
居住地	中標津町農協区域	生きがいつくりや働く場の充実 33.3	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 (同率1位) 33.3	安心して利用できる道路づくりや施設づくり 22.2
	計根別市街	介護保険サービスや施設の充実 33.3	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 (同率1位) 33.3	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	介護保険サービスや施設の充実 37.5	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 (同率1位) 37.5	高齢者と若い世代の交流機会の充実 25.0

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

老人のサロン作り
車がない人の送迎サービス

問41 障がい者サービスが整っていると感じますか。

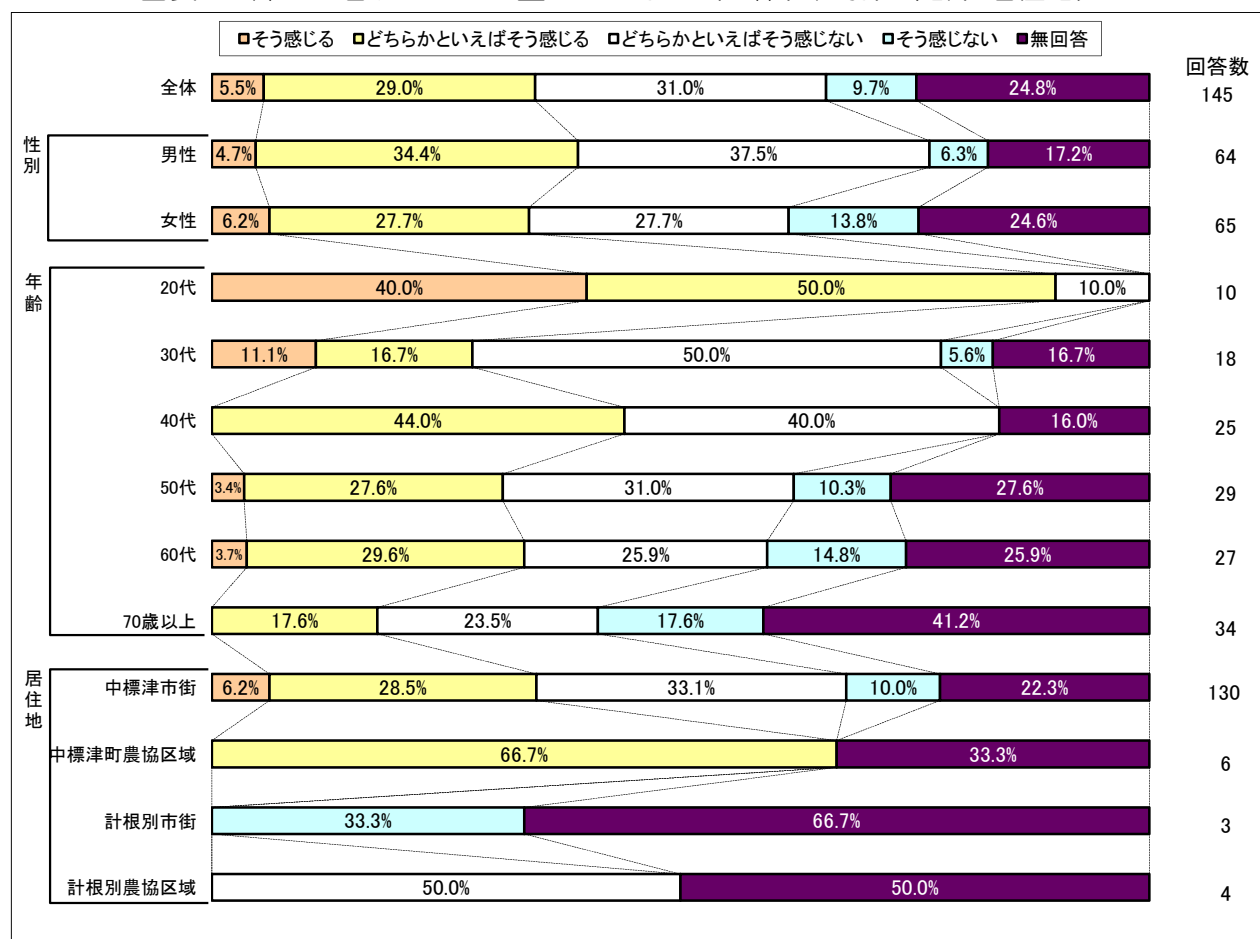
● “そう感じる” が34.5%、“そう感じない” が40.7%。

障がい者サービスが整っていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(29.0%)これに「そう感じる」(5.5%)をあわせた“そう感じる”人は、34.5%となっています。一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（31.0%）、「そう感じない」（9.7%）の合計）は40.7%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が39.1%、女性が33.9%と男性が5.2ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が90.0%となっていますが、70歳以上は17.6%と低くなっています。[図表55参照]

図表55 障がい者サービスが整っているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は102ページに掲載しています。

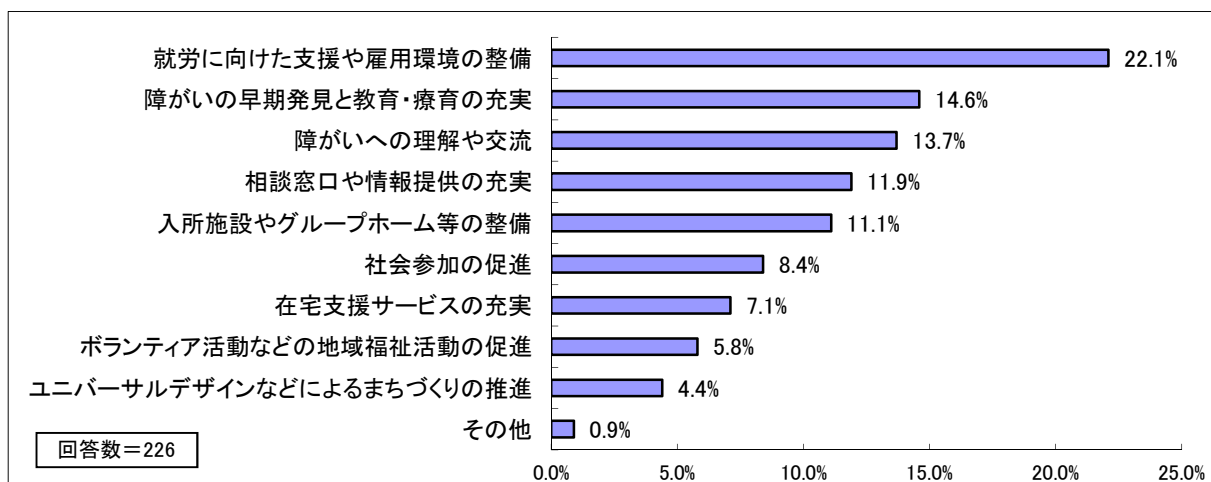
問42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が第1位。次いで「障がいの早期発見と教育・療育の充実」、「障がいへの理解や交流」の順。

今後必要な障がい者施策については、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」(22.1%)で第1位に挙げられ、次いで「障がいの早期発見と教育・療育の充実」(14.6%)、「障がいへの理解や交流」(13.7%)、「相談窓口や情報提供の充実」(11.9%)、「入所施設やグループホーム等の整備」(11.1%)の順となっています。

年齢別の第1位は70歳以上以外は「就労に向けた支援や雇用環境の整備」、70歳以上は「入所施設やグループホーム等の整備」となっています。[図表56～57参照]

図表56 障がい者施策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表57 障がい者施策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 26.3	障がいへの理解や交流 21.1	同率複数のため省略 -
	30代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 20.7	障がいの早期発見と教育・療育の充実 (同率1位) 20.7	障がいへの理解や交流 17.2
	40代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 22.2	障がいの早期発見と教育・療育の充実 19.4	障がいへの理解や交流 16.7
	50代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 27.7	障がいの早期発見と教育・療育の充実 14.9	社会参加の促進 12.8
	60代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 29.5	障がいへの理解や交流 18.2	入所施設やグループホーム等の整備 13.6
	70歳以上	入所施設やグループホーム等の整備 17.0	相談窓口や情報提供の充実 14.9	同率複数のため省略 -
	計	就労に向けた支援や雇用環境の整備 22.0	障がいへの理解や交流 15.1	障がいの早期発見と教育・療育の充実 14.6
居 住 地	中標津市街	相談窓口や情報提供の充実 28.6	障がいの早期発見と教育・療育の充実 28.6	同率複数のため省略 -
	中標津町農協区域	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	計根別市街	就労に向けた支援や雇用環境の整備 50.0	相談窓口や情報提供の充実 33.3	入所施設やグループホーム等の整備 16.7
	計根別農協区域	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

養護学校の分校ができるので、中身をしっかりとしてほしい。

問43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

● “そう感じる” が31.1%、“そう感じない” が48.9%。

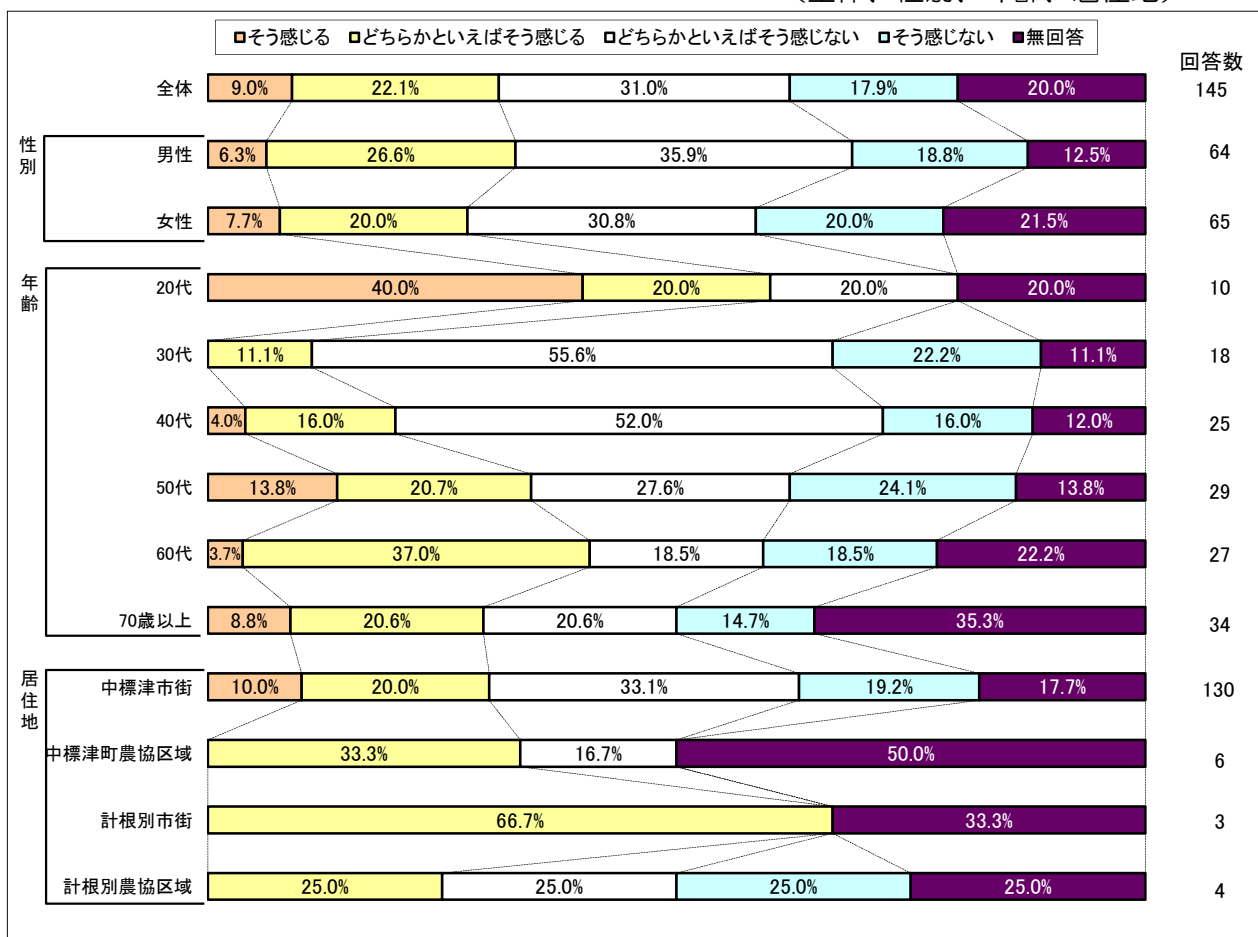
身近なところで相談でき支えてもらえる福祉の制度や活動があると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（22.1%）これに「そう感じる」（9.0%）をあわせた“そう感じる”人は、31.1%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（31.0%）、「そう感じない」（17.9%）の合計）人は48.9%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が32.9%、女性が27.7%と男性が5.2ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が60.0%となっていますが、30代では11.1%と低くなっています。[図表58参照]

図表58 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じるか
（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は103ページに掲載しています。

問44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。

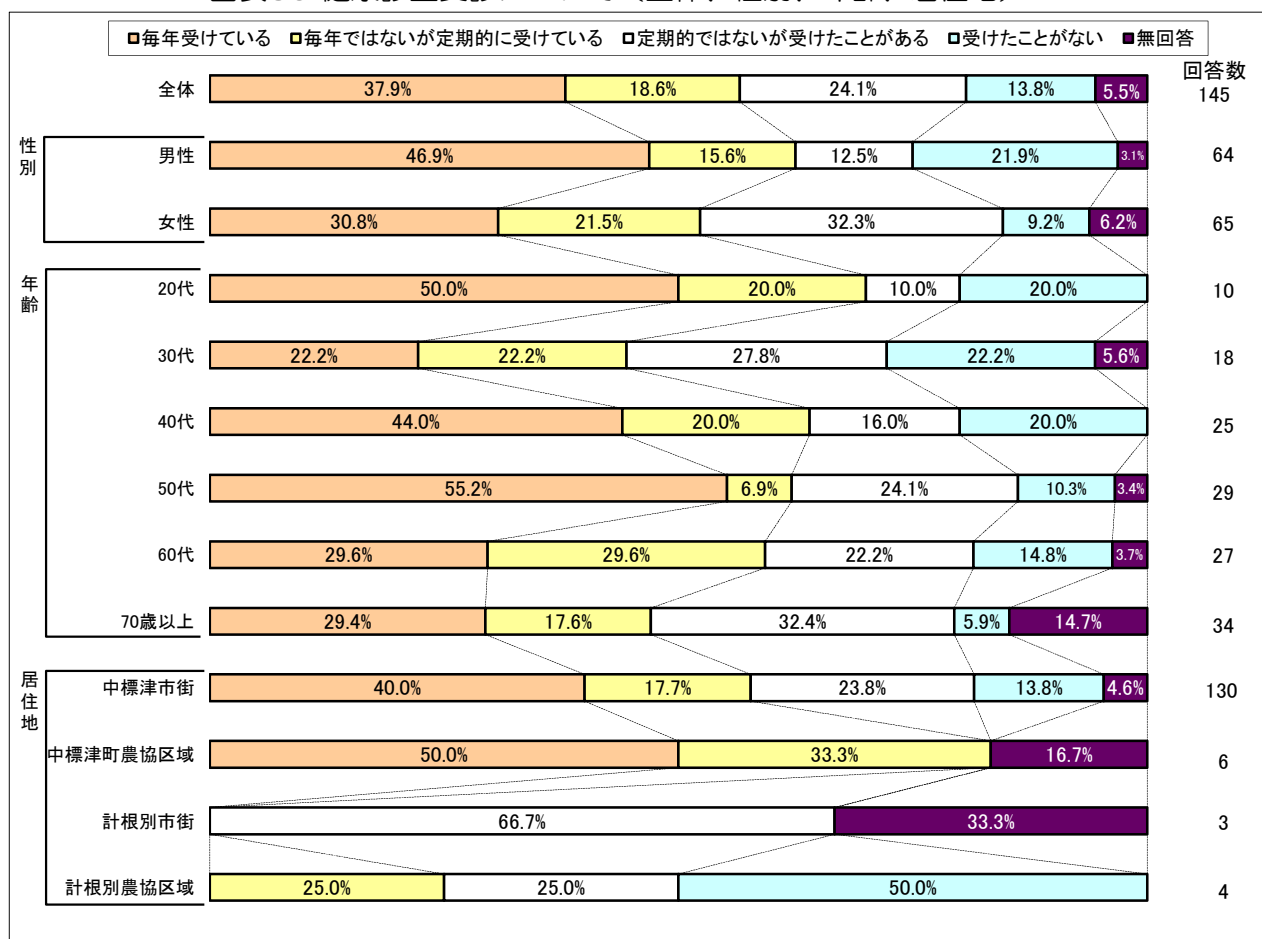
- “定期的に受けている” が56.5%、「定期的ではないが受けたことがある」が24.1%、「受けたことがない」が13.8%。

健康診査やがん検診を受けているかたずねたところ、「毎年受けている」（37.9%）と「毎年ではないが定期的に受けている」（18.6%）を合わせた56.5%の人が“定期的に受けている”と回答されていますが、一方で「受けたことがない」人は13.8%となっています。

性別の“定期的に受けている”人の割合は男性が62.5%、女性が52.3%と男性が10.2ポイント高くなっています。

年齢別の“定期的に受けている”人の割合は20代が70.0%となっていますが、30代は44.4%と低くなっています。[図表59参照]

図表59 健康診査受診について（全体、性別、年齢、居住地）



(6) 教育・文化・スポーツについて

問45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

● “そう感じる” が60.0%、 “そう感じない” が15.9%。

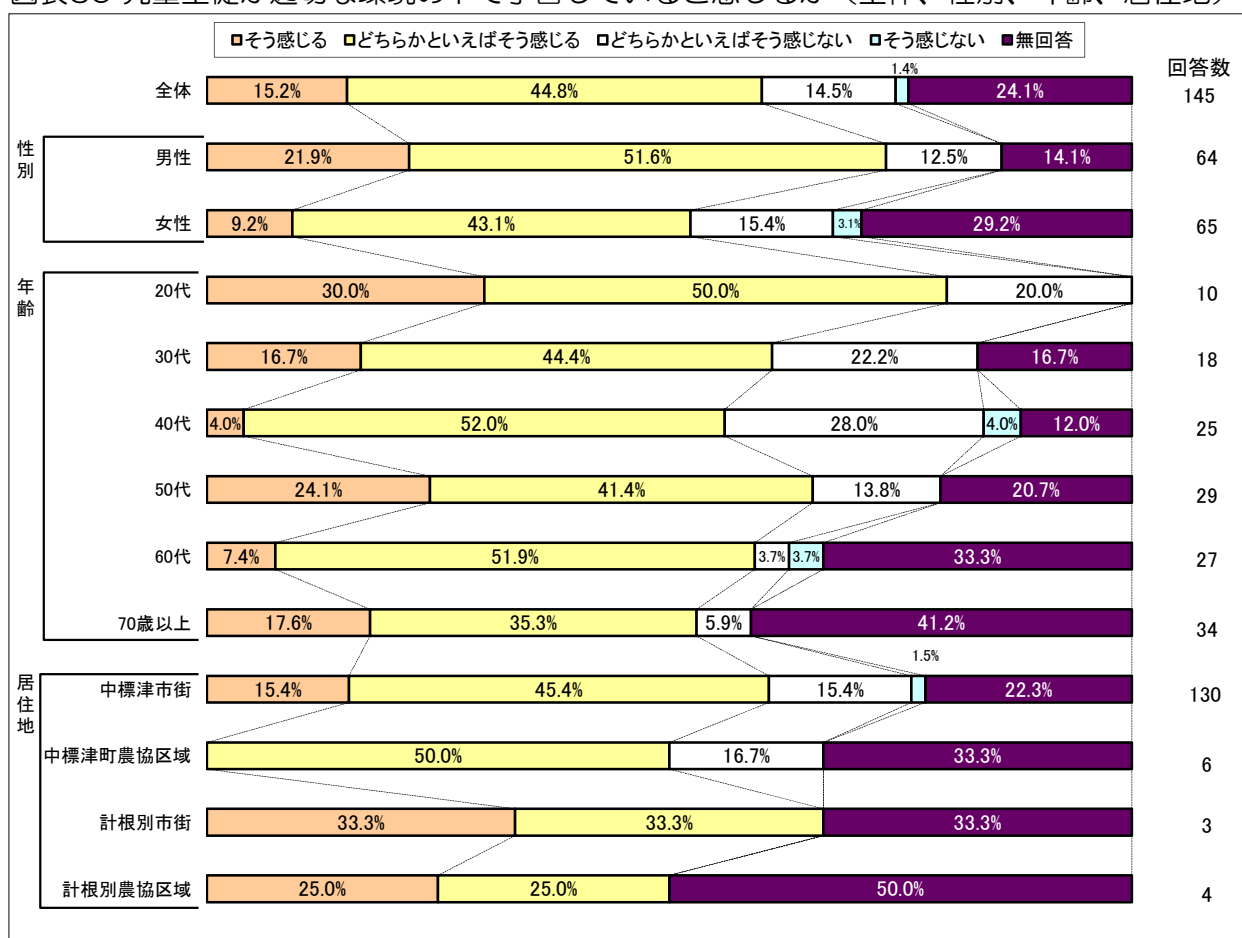
児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(44.8%) これに「そう感じる」(15.2%)をあわせた“そう感じる”人は、60.0%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（14.5%）、「そう感じない」（1.4%）の合計）は15.9%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が73.5%、女性が52.3%と男性が21.2ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、20代では80.0%となっていますが、70歳以上では52.9%と低くなっています。[図表60参照]

図表60 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は103ページに掲載しています。

問46 青少年を見守る活動に参加していますか。



- “参加している” が9.0%、 “参加していない” が75.9%。
“参加したい” が49.0%、 “参加するつもりはない” が35.9%。

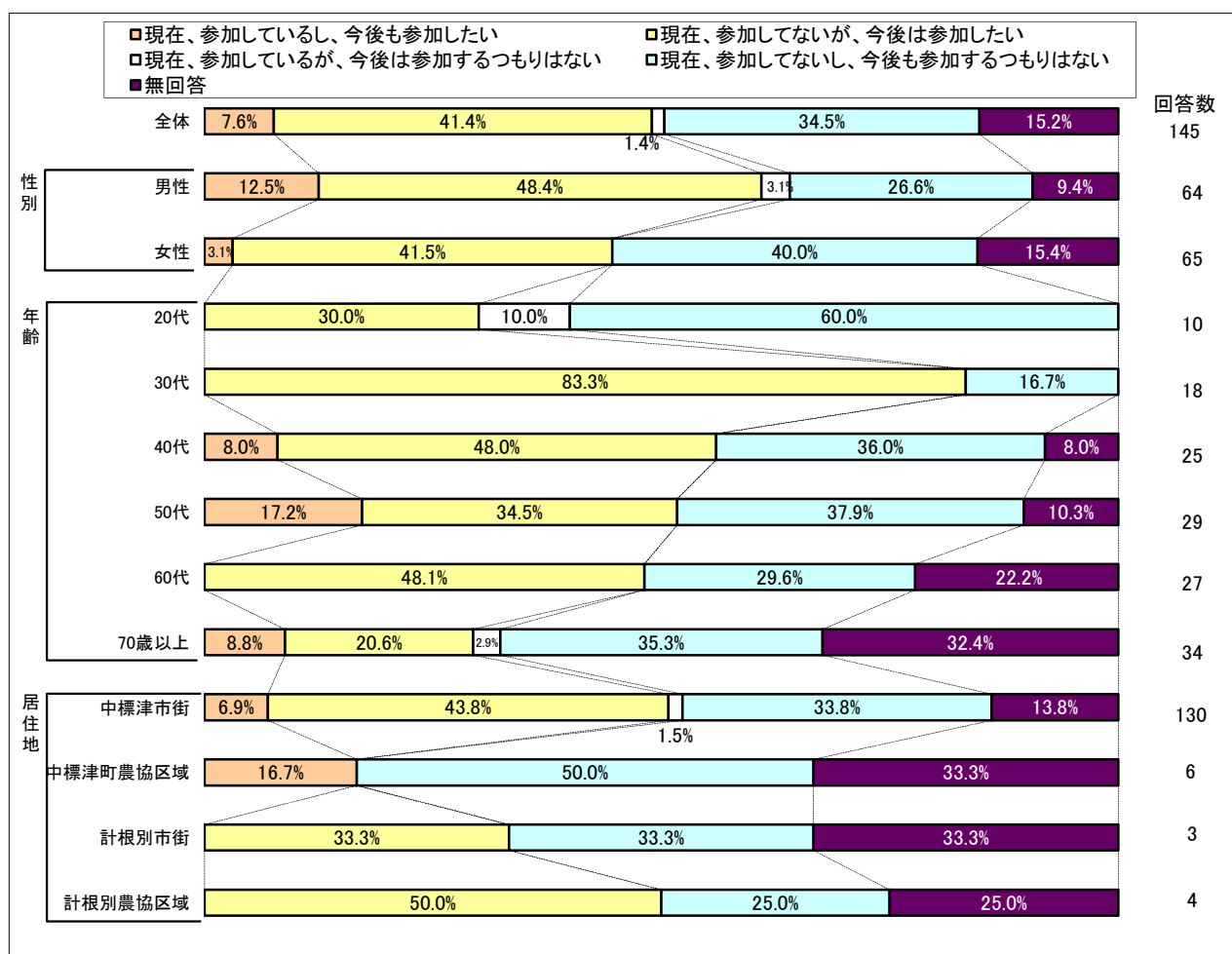
青少年を見守る活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「現在、参加していないが、今後は参加したい」（41.4%）が最も多く、次いで「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」（34.5%）、「現在、参加しているし、今後も参加したい」（7.6%）、「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」（1.4%）の順となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加しているし、今後も参加したい」（7.6%）及び「参加していないが今後は参加したい」（41.4%）の合計）が49.0%、今後“参加するつもりはない”人（「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（34.5%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（1.4%）の合計）が35.9%となっており、現在“参加している”人の9.0%から今後“参加したい”人が49.0%と大きく増加する結果となっています。

性別でみると“参加したい”人の割合は男性で60.9%、女性で44.6%となっています。

年齢別の、“参加したい”人の割合は30代が83.3%となっていますが、70歳以上は29.4%と低くなっています。[図表61参照]

図表61 青少年を見守る活動について（全体、性別、年齢、居住地）



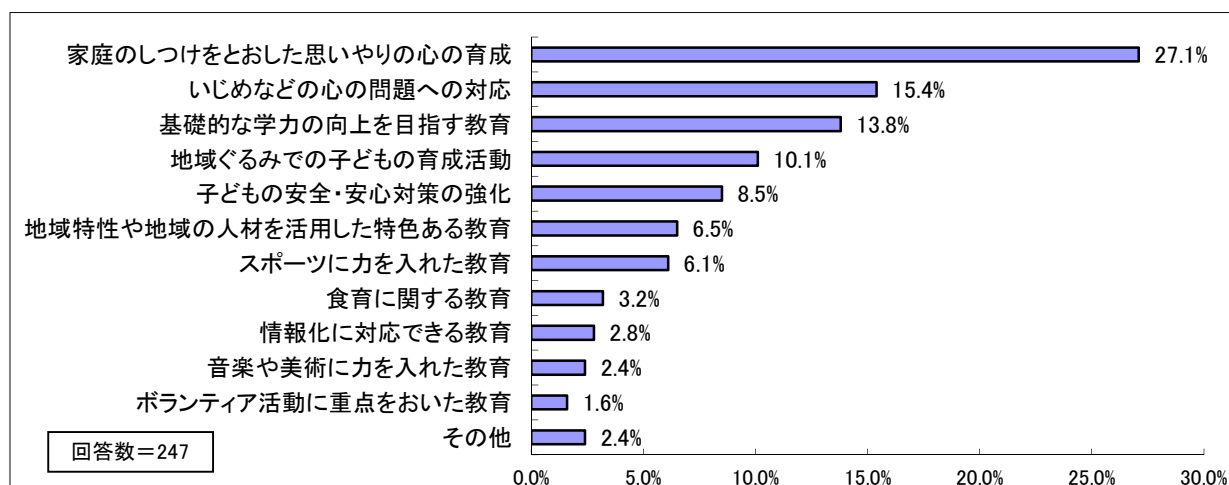
問47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。

- 「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が第1位。次いで「いじめなどの心の問題への対応」、「基礎的な学力の向上を目指す教育」、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」、「子どもの安全・安心対策の強化」の順。

子どもの豊かな人間教育に必要なことをたずねたところ、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」（27.1％）が第1位に挙げられ、次いで「いじめなどの心の問題への対応」（15.4％）、「基礎的な学力の向上を目指す教育」（13.8％）、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」（10.1％）などの順となっています。

年齢別の第1位は60代が「いじめなどの心の問題への対応」、他の年齢層では、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」となっています。〔図表62～63参照〕

図表62 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（全体／複数回答）



図表63 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 21.1	子どもの安全・安心対策の強化 (同率1位) 21.1	同率複数のため省略 -
	30代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 20.6	地域ぐるみでの子どもの育成活動 17.6	いじめなどの心の問題への対応 21.1
	40代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 30.2	基礎的な学力の向上を目指す教育 20.9	いじめなどの心の問題への対応 18.6
	50代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 30.2	基礎的な学力の向上を目指す教育 18.9	いじめなどの心の問題への対応 13.2
	60代	いじめなどの心の問題への対応 20.9	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 18.6	基礎的な学力の向上を目指す教育 14.0
	70歳以上	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 33.3	地域ぐるみでの子どもの育成活動 13.7	いじめなどの心の問題への対応 11.8
居 住 地	中標津市街	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 28.4	いじめなどの心の問題への対応 16.4	基礎的な学力の向上を目指す教育 12.4
	中標津町農協区域	情報化に対応できる教育 25.0	基礎的な学力の向上を目指す教育 (同率1位) 25.0	同率複数のため省略 -
	計根別市街	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	基礎的な学力の向上を目指す教育 33.3	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

親を教育したほうがいい
英語とパソコンの技術向上教育
別の地域との交流
常識ある子供の育成

問48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が22.0%、“取り組んでいない” が69.6%。

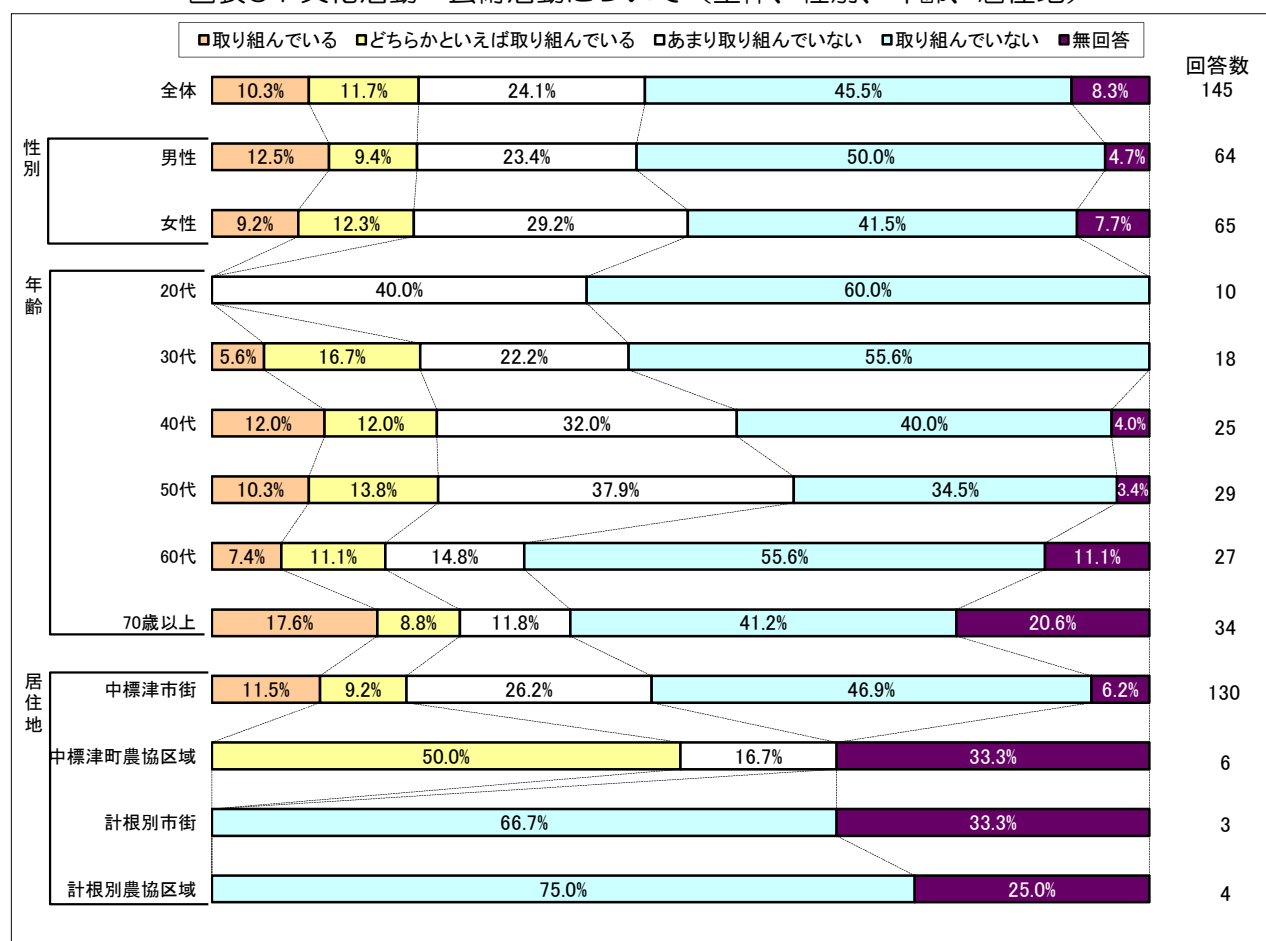
文化・芸術活動に取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」(10.3%)これに「どちらかといえば取り組んでいる」(11.7%)をあわせた“取り組んでいる”という人が22.0%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「あまり取り組んでいない」(24.1%)、「取り組んでいない」(45.5%)の合計）人は69.6%となっています。

性別の“取り組んでいる”人の割合は男性が21.9%、女性が21.5%と男性が0.4ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は70歳以上が26.4%となっていますが、20代では“取り組んでいる”と回答された方はいませんでした。[図表64参照]

図表64 文化活動・芸術活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問49 生涯学習情報誌「らいふまっぴ」から知りたい情報は得られていますか。

● “得られている” が42.0%、“得られていない” が43.4%。

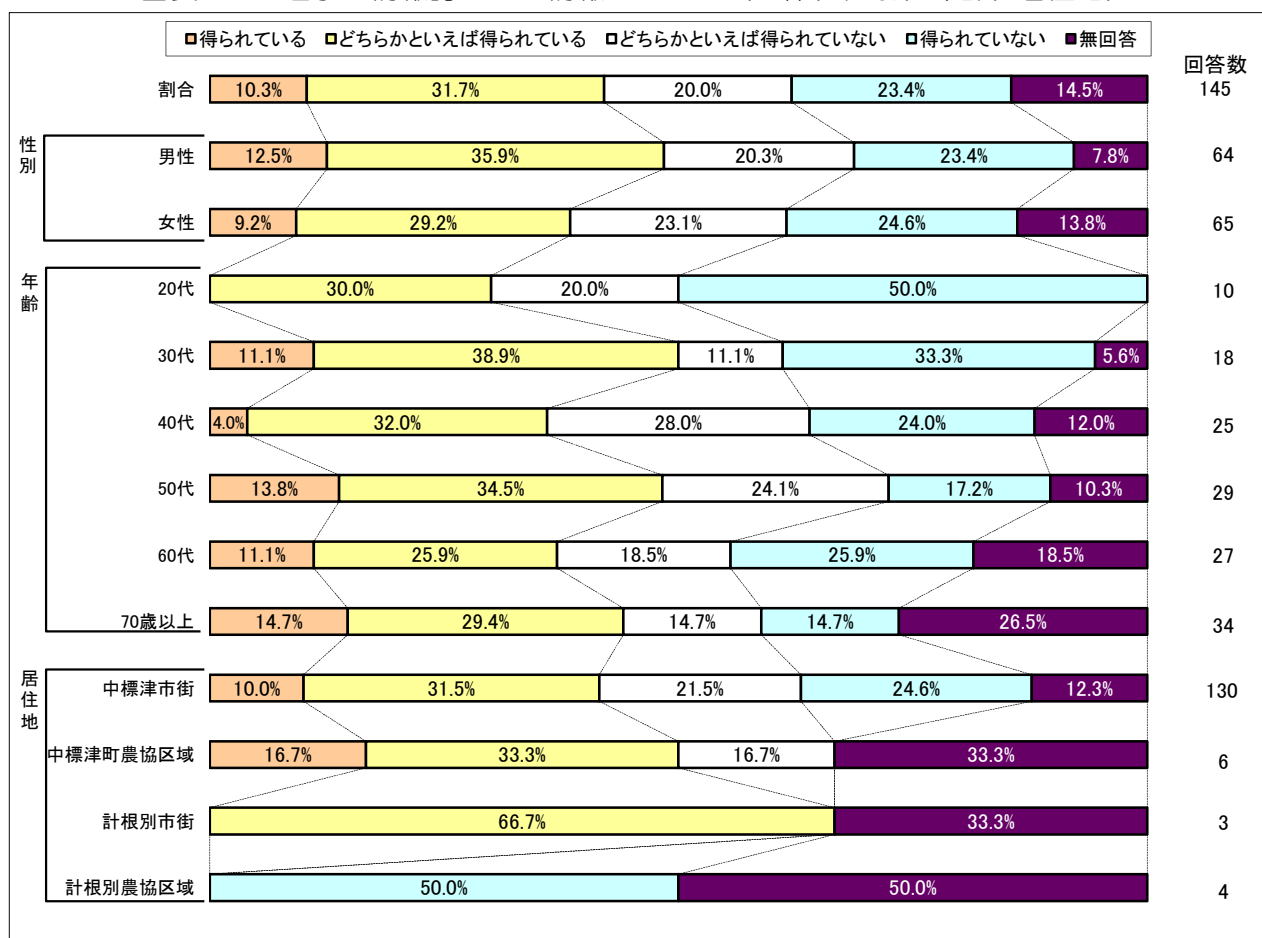
生涯学習情報誌から知りたい情報が得られているかたずねたところ、「得られている」(10.3%)これに「どちらかといえば得られている」(31.7%)をあわせた“得られている”という人が42.0%となっています。

一方、“得られていない”（「どちらかといえば得られていない」(20.0%)、「得られていない」(23.4%)の合計）人は43.4%となっています。

性別の“得られている”人の割合は男性が48.4%、女性が38.4%と男性が10.0ポイント上回っています。

年齢別の“得られている”人の割合は30代が50.0%と一番高く、20代では30.0%と低くなっています。[図表65参照]

図表65 生涯学習情報誌からの情報について（全体、性別、年齢、居住地）



問50 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じますか。

● “そう感じる” が62.0%、“そう感じない” が20.7%。

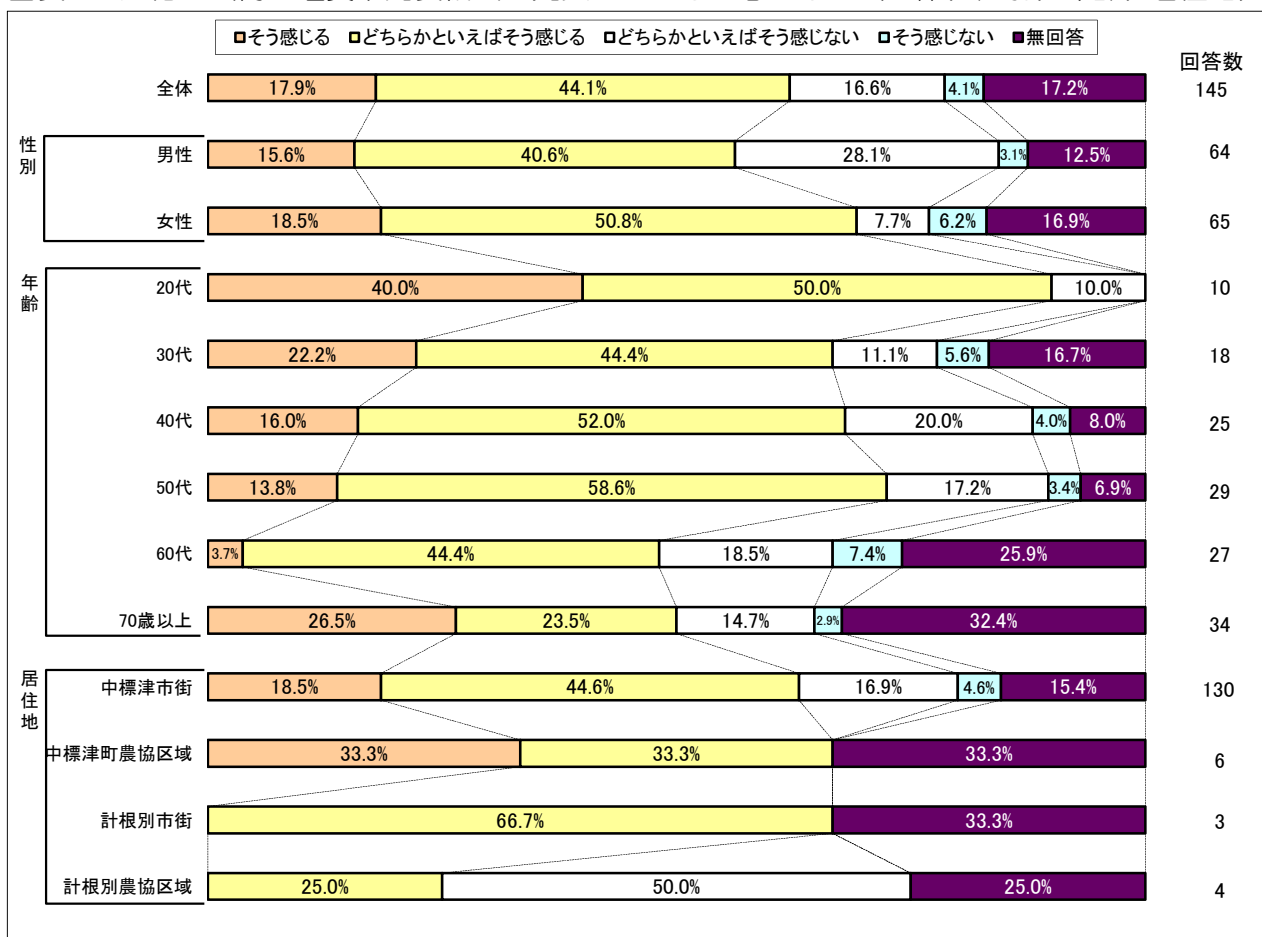
文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実しているかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（44.1%）これに「そう感じる」（17.9%）をあわせた“そう感じる”人は、62.0%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（16.6%）、「そう感じない」（4.1%）の合計）人は20.7%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が56.2%、女性が69.3%と女性が13.1ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が90.0%となっていますが、60代では48.1%と低くなっています。[図表66参照]

図表66 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は104ページに掲載しています。

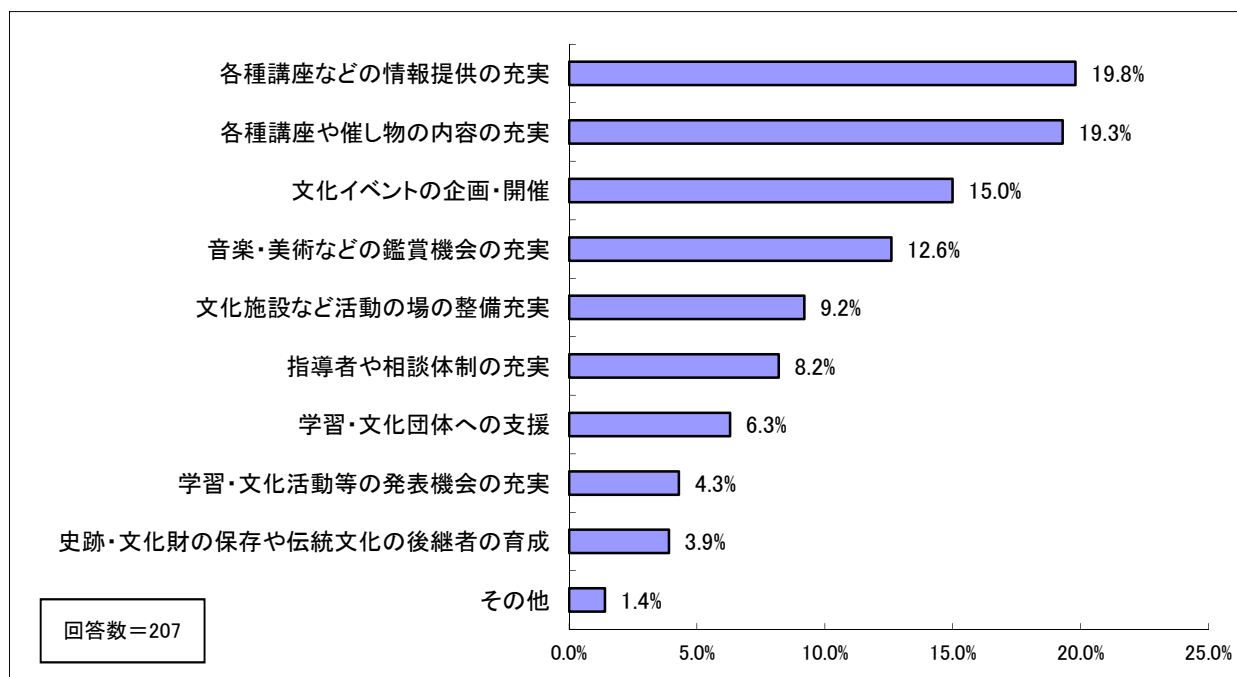
問51 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

●「各種講座などの情報提供の充実」が第1位。次いで「各種講座や催し物の内容の充実」、「文化イベントの企画・開催」の順。

生涯学習活動や文化活動を活発にするには、「各種講座などの情報提供の充実」(19.8%)が第1位に挙げられ、次いで「各種講座や催し物の内容の充実」(19.3%)、「文化イベントの企画・開催」(15.0%)、「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」(12.6%)と「文化施設など活動の場の整備充実」(9.2%)などの順となっています。

[図表67～68参照]

図表67 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと（全体／複数回答）



図表68 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと（年齢／複数回答）（上位3位％）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	各種講座などの情報提供の充実 35.0	指導者や相談体制の充実 15.0	同率複数のため省略 -
	30代	各種講座や催し物の内容の充実 28.6	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 21.4	同率複数のため省略 -
	40代	各種講座などの情報提供の充実 25.7	各種講座や催し物の内容の充実 17.1	文化イベントの企画・開催 (同率2位) 17.1
	50代	文化イベントの企画・開催 27.1	各種講座や催し物の内容の充実 22.9	各種講座などの情報提供の充実 18.8
	60代	各種講座や催し物の内容の充実 17.6	各種講座などの情報提供の充実 14.7	同率複数のため省略 -
	70歳以上	各種講座や催し物の内容の充実 20.5	各種講座などの情報提供の充実 17.9	音楽・美術など活動の場の整備充実 15.4

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

英語、PCの能力向上
学習者の希望内容の集約と分析

問52 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が31.7%、“取り組んでいない” が62.1%。

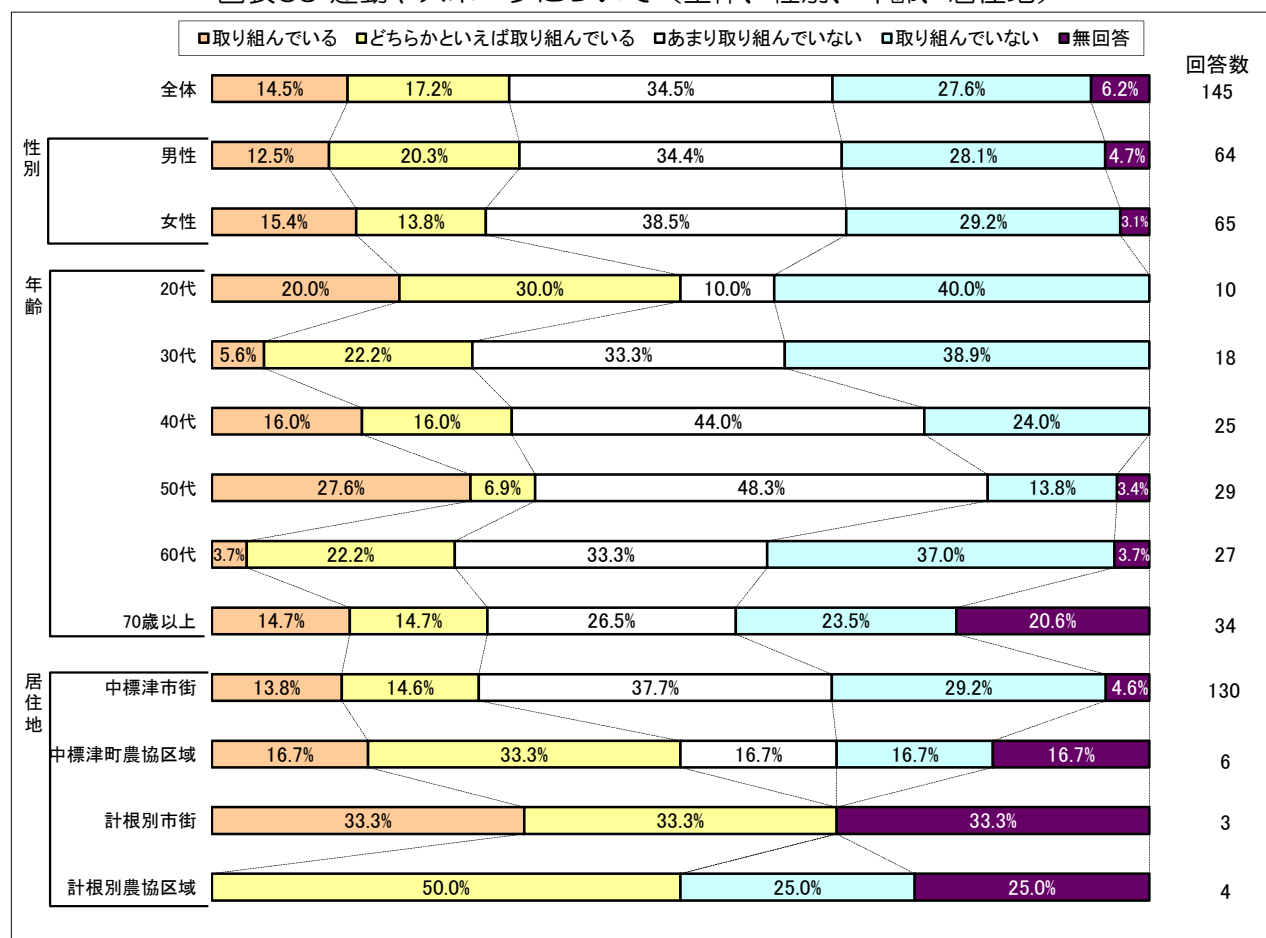
運動やスポーツに取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」(14.5%)これに「どちらかといえば取り組んでいる」(17.2%)をあわせた“取り組んでいる”という人が31.7%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「取り組んでいない」(27.6%)と「あまり取り組んでいない」(34.5%)の合計）人は62.1%となっています。

性別の“取り組んでいる”人の割合は男性が32.8%、女性が29.2%と男性が3.6ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は20代が50.0%と高くなっていますが、60代では25.9%となっています。【図表69参照】

図表69 運動やスポーツについて（全体、性別、年齢、居住地）



問53 スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

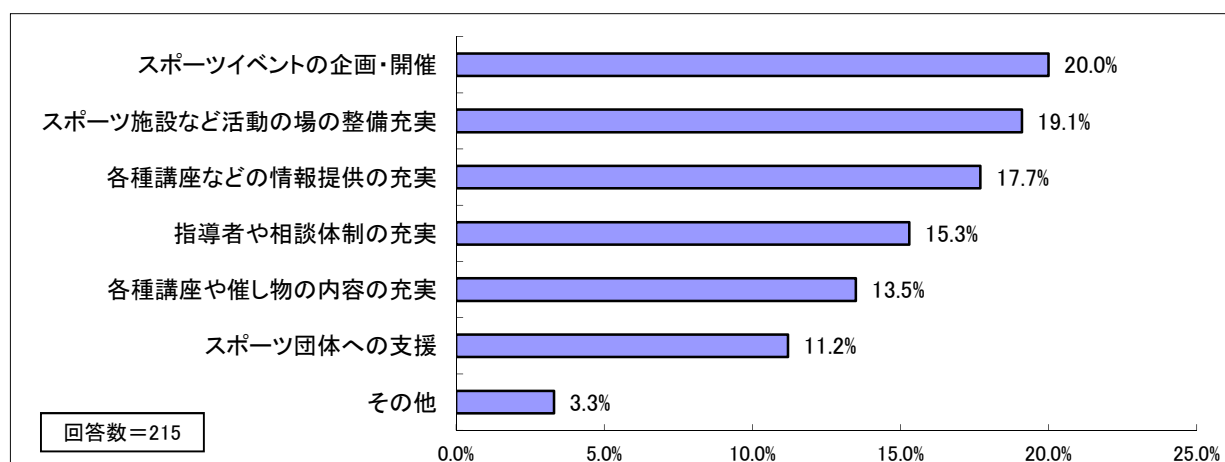


●「スポーツイベントの企画・開催」が第1位。次いで「スポーツ施設など活動の場の整備充実」、「各種講座などの情報提供の充実」の順。

スポーツ活動を活発にするには、「スポーツイベントの企画・開催」(20.0%)が第1位に挙げられ、次いで「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(19.1%)、「各種講座などの情報提供の充実」(17.7%)、「指導者や相談体制の充実」(15.3%)などの順となっています。

年齢別の第1位は50代では「スポーツ施設など活動の場の整備充実」、70歳以上では「スポーツ団体への支援」、他の年齢層では「スポーツイベントの企画・開催」となっています
[図表70～71参照]

図表70 スポーツ活動を活発にしていくために必要な取り組み（全体／複数回答）



図表71 スポーツ活動を活発にしていくために必要な取り組み(年齢、居住地/複数回答) (上位3位 %)

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	スポーツイベントの企画・開催 23.5	各種講座などの情報提供の充実 (同率1位) 23.5	指導者や相談体制の充実 (同率1位) 23.5
	30代	スポーツイベントの企画・開催 25.0	スポーツ施設など活動の場の整備充実 (同率1位) 25.0	各種講座や催し物の内容の充実 21.4
	40代	スポーツイベントの企画・開催 21.6	各種講座などの情報提供の充実 (同率1位) 21.6	指導者や相談体制の充実 18.9
	50代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 22.4	各種講座などの情報提供の充実 18.4	スポーツイベントの企画・開催 16.3
	60代	スポーツイベントの企画・開催 20.5	各種講座や催し物の内容の充実 (同率1位) 20.5	同率複数のため省略
	70歳以上	スポーツ団体への支援 23.8	スポーツ施設など活動の場の整備充実 21.4	指導者や相談体制の充実 19.0
居 住 地	中標津市街	スポーツイベントの企画・開催 21.0	スポーツ施設など活動の場の整備充実 17.9	各種講座などの情報提供の充実 17.4
	中標津町農協区域	各種講座などの情報提供の充実 42.9	スポーツ施設など活動の場の整備充実 28.6	同率複数のため省略
	計根別市街	スポーツ施設など活動の場の整備充実 50.0	指導者や相談体制の充実 25.0	スポーツ団体への支援 (同率2位) 25.0
	計根別農協区域	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

年金生活者のスポーツと温泉併せて利用を安価で
年配者でも入れる講座の充実
少年団の指導者の質向上
体育館の使用料を安くする。高すぎ！！
スポーツ施設を気軽に使える環境

(7) 人権・男女共同参画について

問54 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

● “そう感じる” が50.3%、“そう感じない” が30.3%。

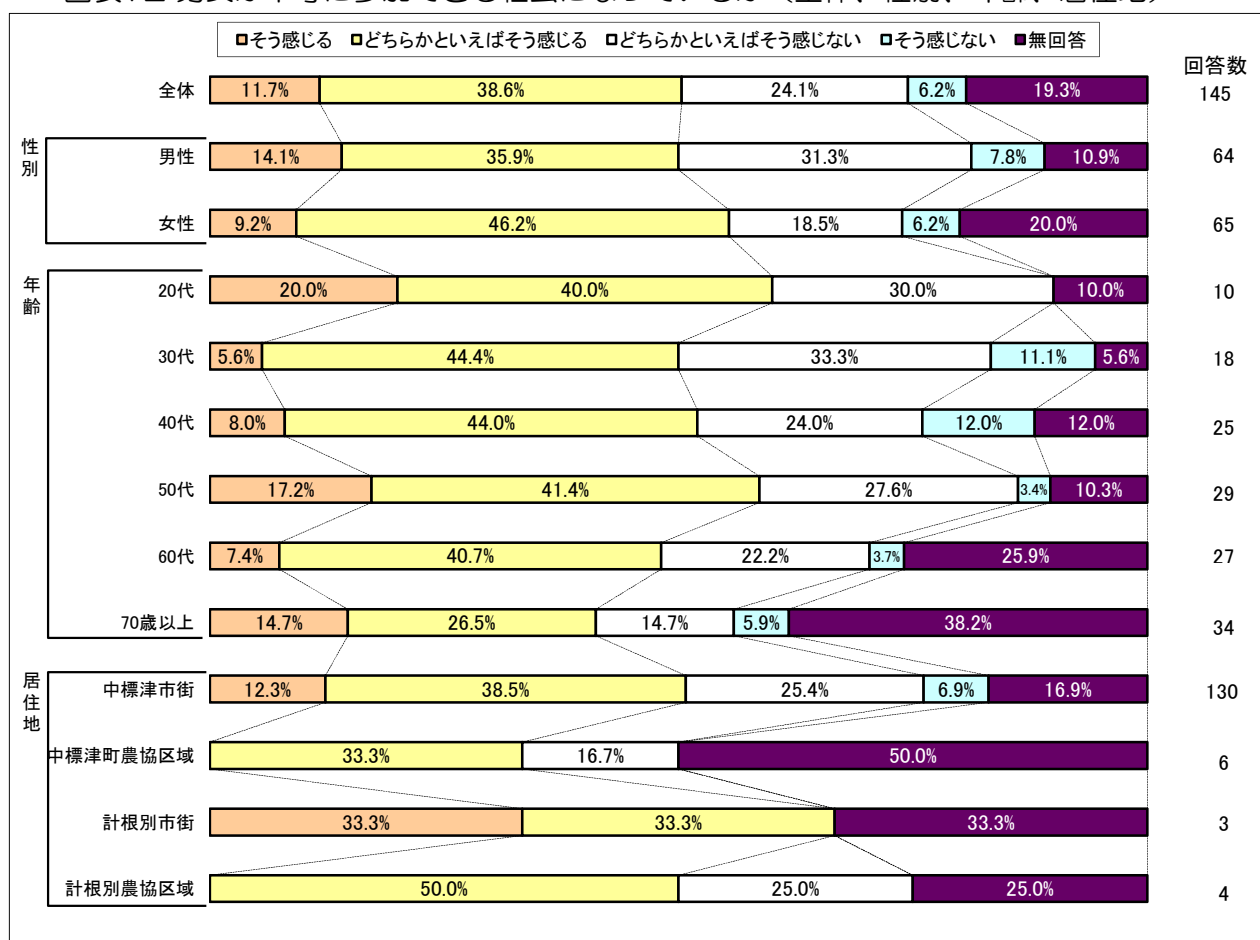
男女が平等に参加できる社会になっていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(38.6%)これに「そう感じる」(11.7%)をあわせた“そう感じる”人は、50.3%となっています。

一方、“そう感じない”人(「どちらかといえばそう感じない」(24.1%)、「そう感じない」(6.2%)の合計)は30.3%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が50.0%、女性が55.4%と女性が5.4ポイント上回っています。

年齢別の、“そう感じる”人の割合は20代では60.0%となっていますが、70歳以上では41.2%となっています。[図表72参照]

図表72 男女が平等に参加できる社会になっているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は104ページに掲載しています。

問55 男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

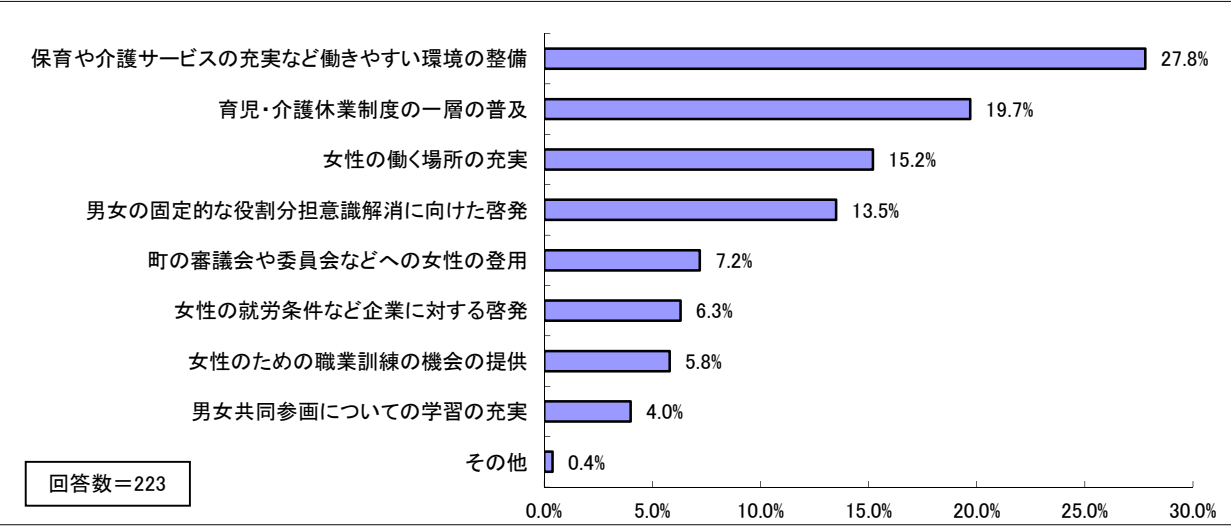


●「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が第1位。次いで「育児・介護休業制度の一層の普及」、「女性の働く場所の充実」の順。

男女平等に参加できる社会の形成に必要なことをたずねたところ、「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」（27.8%）が第1位に挙げられ、次いで「育児・介護休業制度の一層の普及」（19.7%）、「女性の働く場所の充実」（15.2%）、「男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発」（13.5%）などの順となっています。

年齢別の第1位は40代が「育児・介護休業制度の一層の普及」となっていますが、他の年齢層では「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」となっています。さらに20代では「育児・介護休業制度の一層の普及」、「女性の働く場所の充実」も同率（26.3%）で第1位に挙げられています。【図表73～74参照】

図表73 男女が平等に参加できる社会形成に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表74 男女が平等に参加できる社会形成に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 26.3	育児・介護休業制度の一層の普及 (同率1位) 26.3	女性の働く場所の充実 (同率1位) 26.3
	30代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 38.2	育児・介護休業制度の一層の普及 26.5	女性の働く場所の充実 17.6
	40代	育児・介護休業制度の一層の普及 22.9	女性の働く場所の充実 (同率1位) 22.9	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 20.0
	50代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 26.1	育児・介護休業制度の一層の普及 23.9	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 13.0
	60代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 37.1	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 25.7	育児・介護休業制度の一層の普及 22.9
	70歳以上	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 24.0	女性の働く場所の充実 16.0	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 14.0
居住地	中標津市街	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 28.6	育児・介護休業制度の一層の普及 20.7	女性の働く場所の充実 16.3
	中標津町農協区域	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 28.6	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	計根別市街	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	計根別農協区域	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略

問56 女性が抱える様々な悩みに対応する相談窓口があることを知っていますか。

●「知っている」が13.8%。「知らない」が74.5%。

女性が抱える様々な悩みに対応する相談の窓口があることを知っているかたずねたところ、「知っている」と回答した人は13.8%となっているのに対し「知らない」と回答した人は74.5%と知らない人が上回っています。

性別で「知っている」と回答した人は男性が14.1%、女性は13.8%と男性が0.3ポイント上回っています。

年齢別では40代では28.0%が知っていますが、30代では5.6%と低くなっています。

[図表75参照]

図表75 女性の相談窓口の設置について（全体、性別、年齢、居住地）



(8) 地域間交流について

問57 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。

● “そう思う” が35.1%、“そう思わない” が53.1%。

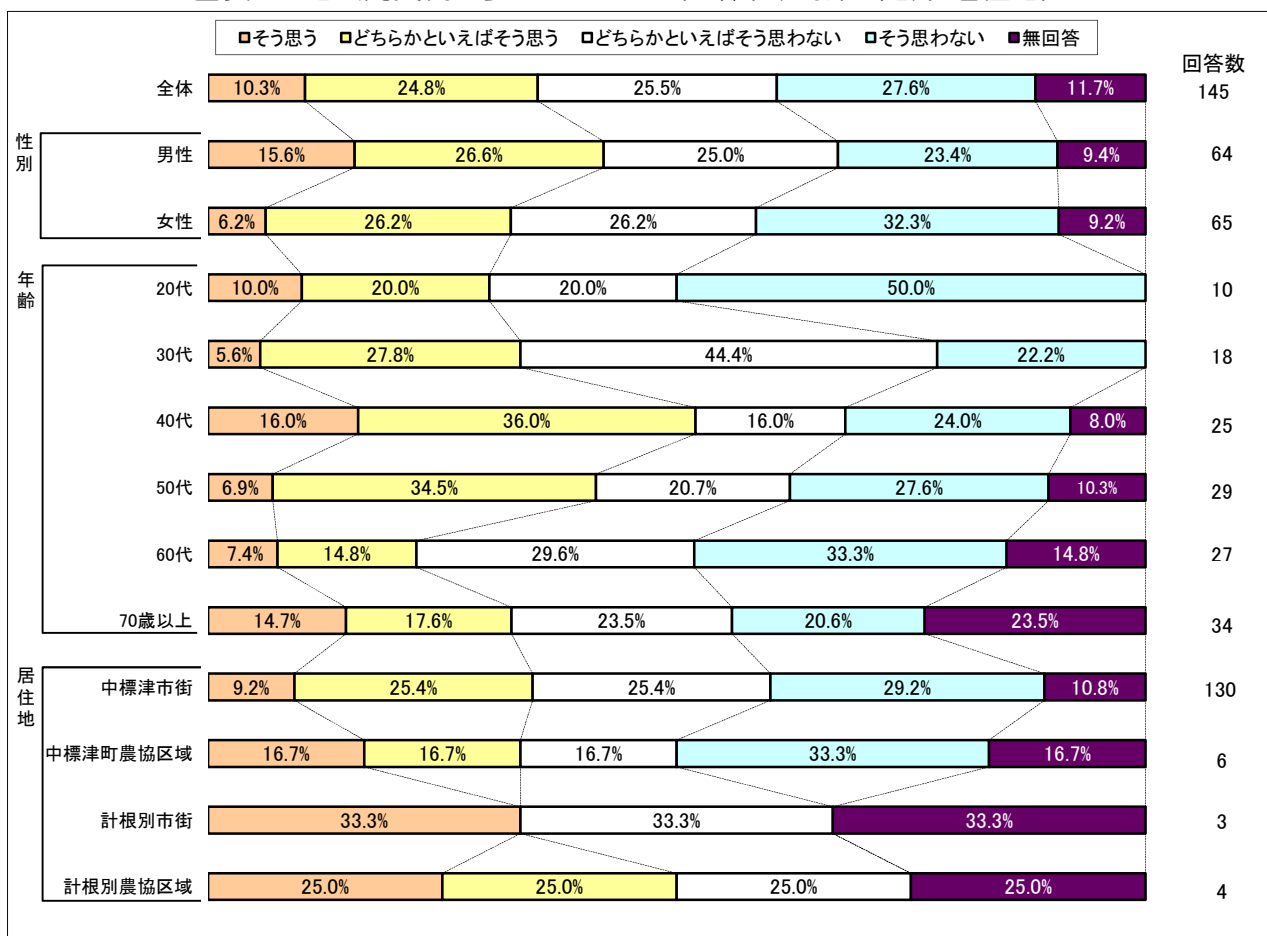
国際交流や他地域との交流に参加したいかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」（24.8%）これに「そう思う」（10.3%）をあわせた“そう思う”という人が35.1%となっています。

一方、“そう思わない”（「どちらかといえばそう思わない」（25.5%）、「そう思わない」（27.6%）の合計）は53.1%となっています。

性別の“そう思う”人の割合は男性が42.2%、女性が32.4%となり男性が9.8ポイント上回っています。

年齢別の“そう思う”人の割合は40代が52.0%となっていますが、60代では22.2%となっています。[図表76参照]

図表76 地域間交流に参加したいか（全体、性別、年齢、居住地）



問58 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

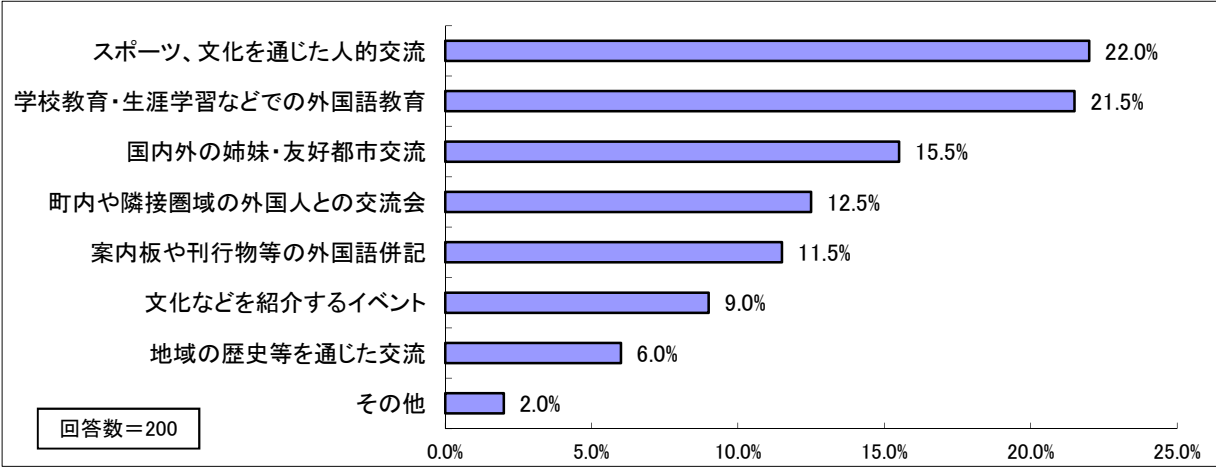
●「スポーツ、文化を通じた人的交流」が第1位。次いで「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、「国内外の姉妹・友好都市交流」の順。

国内外との交流活動について今後の取り組みは何か必要かたずねたところ、「スポーツ、文化を通じた人的交流」（22.0%）が第1位に挙げられ、次いで「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」（21.5%）、「国内外の姉妹・友好都市交流」（15.5%）、「町内や隣接圏域の外国人との交流会」（12.5%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・30代・40代では「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、50代・60代・70歳以上では「スポーツ、文化を通じた人的交流」となっています。

[図表77～78参照]

図表77 国内外との交流活動に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表78 国内外との交流活動に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 26.3	国内外の姉妹・友好都市交流 (同率1位) 26.3	スポーツ、文化を通じた人的交流 21.1
	30代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 31.0	国内外の姉妹・友好都市交流 17.2	町内や隣接圏域の外国人との交流会 (同率2位) 17.2
	40代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 29.4	町内や隣接圏域の外国人との交流会 20.6	国内外の姉妹・友好都市交流 14.7
	50代	スポーツ、文化を通じた人的交流 28.9	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 22.2	国内外の姉妹・友好都市交流 15.6
	60代	スポーツ、文化を通じた人的交流 25.0	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 15.6	国内外の姉妹・友好都市交流 (同率2位) 15.6
	70歳以上	スポーツ、文化を通じた人的交流 28.2	町内や隣接圏域の外国人との交流会 20.5	案内板や刊行物等の外国語併記 17.9
居住地	中標津市街	スポーツ、文化を通じた人的交流 21.7	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 21.1	国内外の姉妹・友好都市交流 15.6
	中標津町農協区域	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 42.9	国内外の姉妹・友好都市交流 28.6	同率複数のため省略
	計根別市街	スポーツ、文化を通じた人的交流 50.0	町内や隣接圏域の外国人との交流会 25.0	案内板や刊行物等の外国語併記 (同率2位) 25.0
	計根別農協区域	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 40.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

姉妹・友好都市以外へもホームステイなど学生がするべき
自分の意識の問題

(9) 北方領土問題について

問59 北方領土問題を身近な問題と感じますか。

● “そう感じる” が53.8%、“そう感じない” が31.7%。

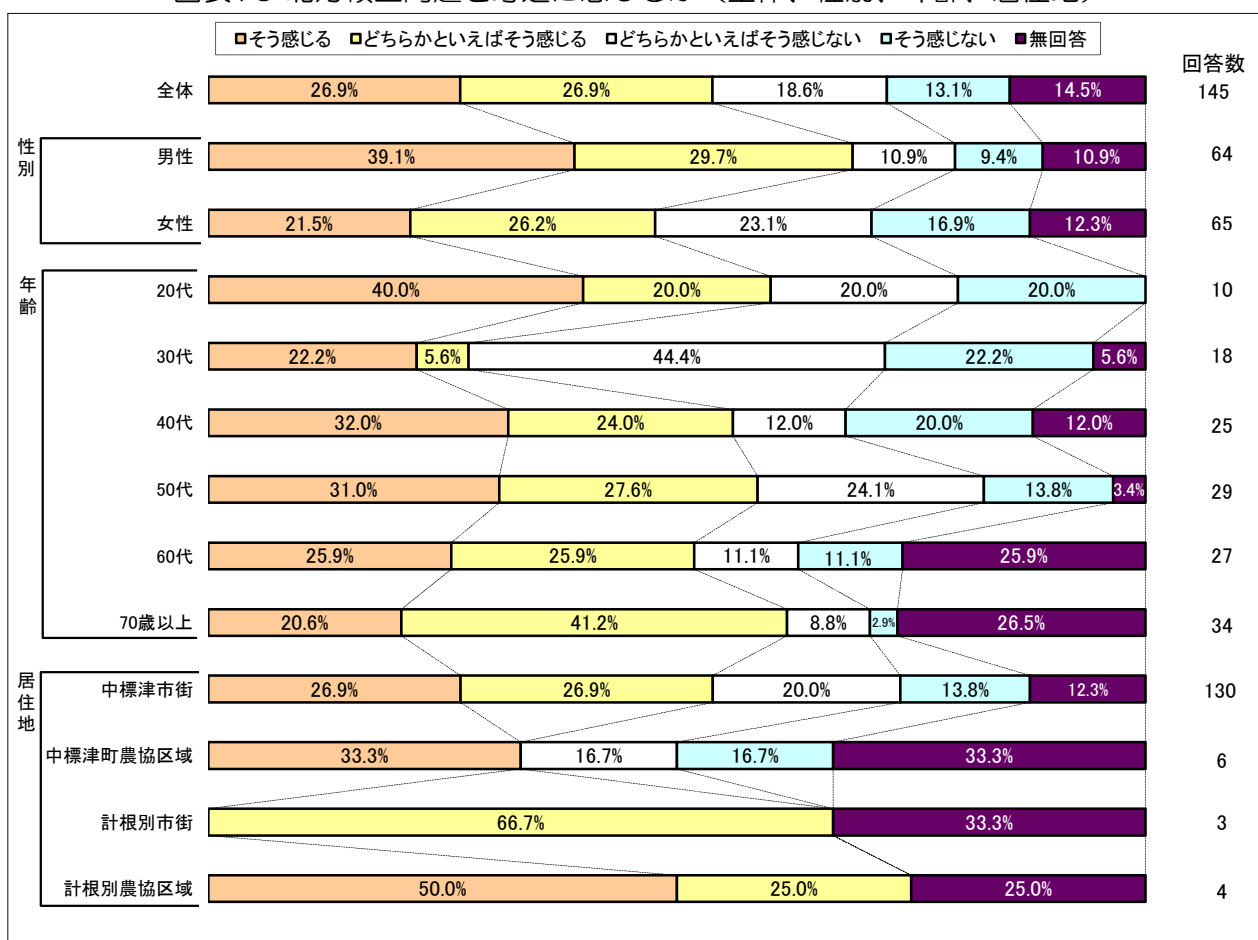
北方領土問題を身近な問題と感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（26.9%）これに「そう感じる」（26.9%）をあわせた“そう感じる”人は、53.8%となっています。

一方、“そう感じない”人（「どちらかといえばそう感じない」（18.6%）、「そう感じない」（13.1%）の合計）は31.7%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が68.8%、女性が47.7%と男性が21.1ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、70歳以上が61.8%と一番高くなっていますが、30代では27.8%と低くなっています。【図表79参照】

図表79 北方領土問題を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は105ページに掲載しています。

3 費用負担について

(1) 取り組みに対する費用負担の可否について

問60 これまでの設問4から設問59において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。

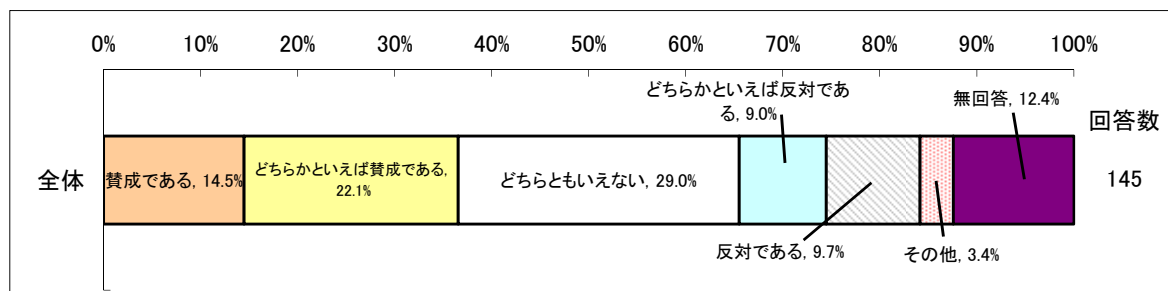
- “賛成である” が36.6%、“反対である” が18.7%、「どちらともいえない」が29.0%、「その他」が3.4%。

取り組みに対する費用負担の可否についてたずねたところ、「賛成である」（14.5%）これに「どちらかといえば賛成である」（22.1%）をあわせた“賛成である”という人が36.6%となっています。

一方、“反対である”（「どちらかといえば反対である」（9.0%）及び「反対である」（9.7%）の合計）は18.7%となっています。

なお、「どちらともいえない」の回答は29.0%ありました。[図表80参照]

図表80 取り組みに対する費用負担の可否（全体）



性別で“賛成である”人の割合は、男性（40.6%）と女性（33.8%）と男性が6.8ポイント上回っています。

年齢別にみると30代の“賛成である”人の割合は50.0%と高い割合となりましたが、60代では18.5%と2割に満たない結果となっています。

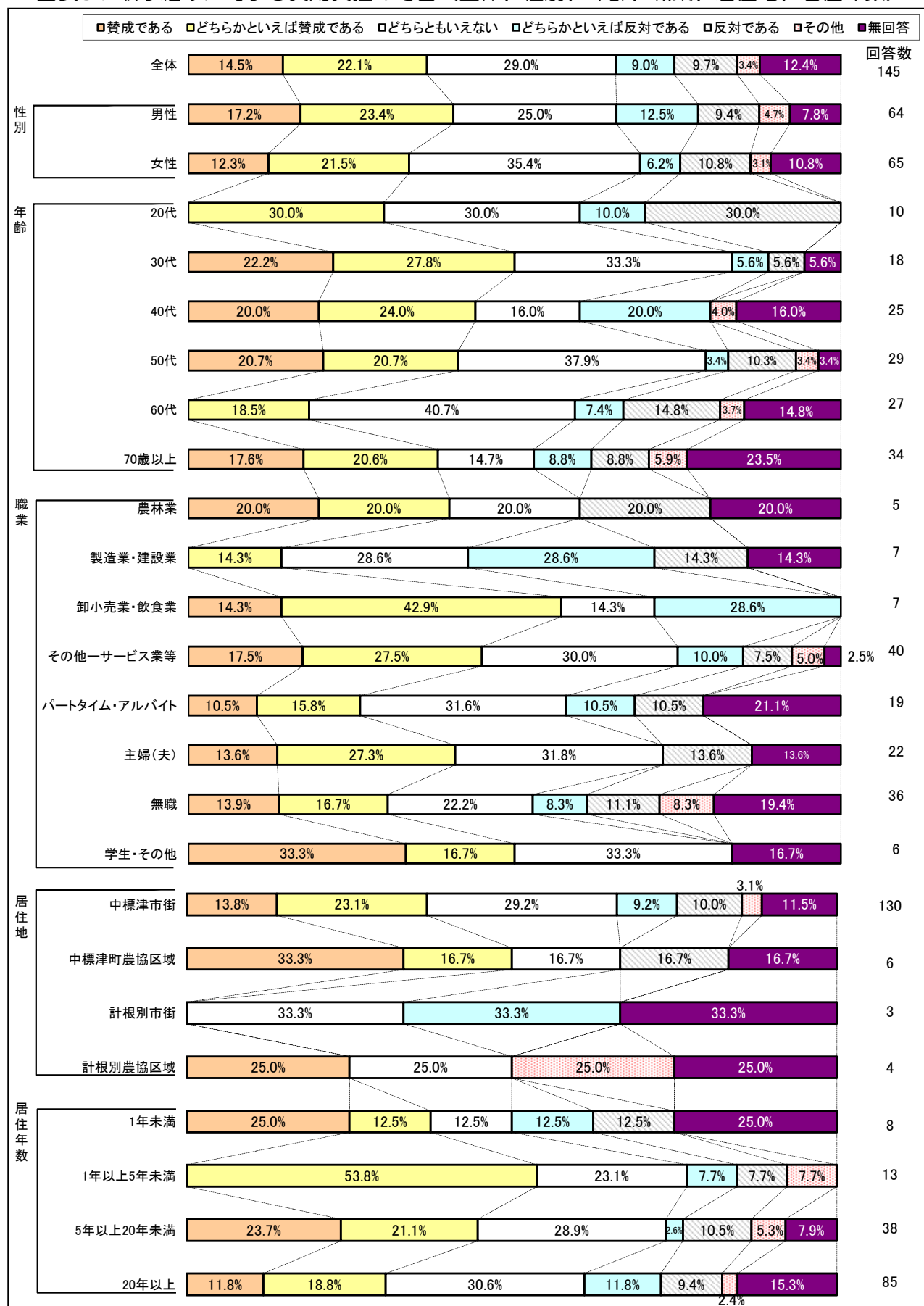
職業別で“賛成である”人の割合の高い層をみると、卸小売業・飲食業（57.2%）となっていますが、製造業・建設業においては、14.3%と低くなっています。

[図表81参照]

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

施策を説明し納得させる
町民が安心安全に生活できるなら、それなりの負担は必要と思うが、高齢者、弱者への対策も必要と思う
年金生活で余裕がない
必要な物であれば、負担もするが、どのような順で決めていくのかはしっかり伝えてほしい。
ふるさと納税

図表81 取り組みに対する費用負担の可否（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



4 町民活動・協働について

(1) 地域活動・ボランティア活動について

問61① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。



- “参加している” が33.8%、“参加していない” が55.2%。
“参加したい” が51.7%、“参加したくない” が37.3%。

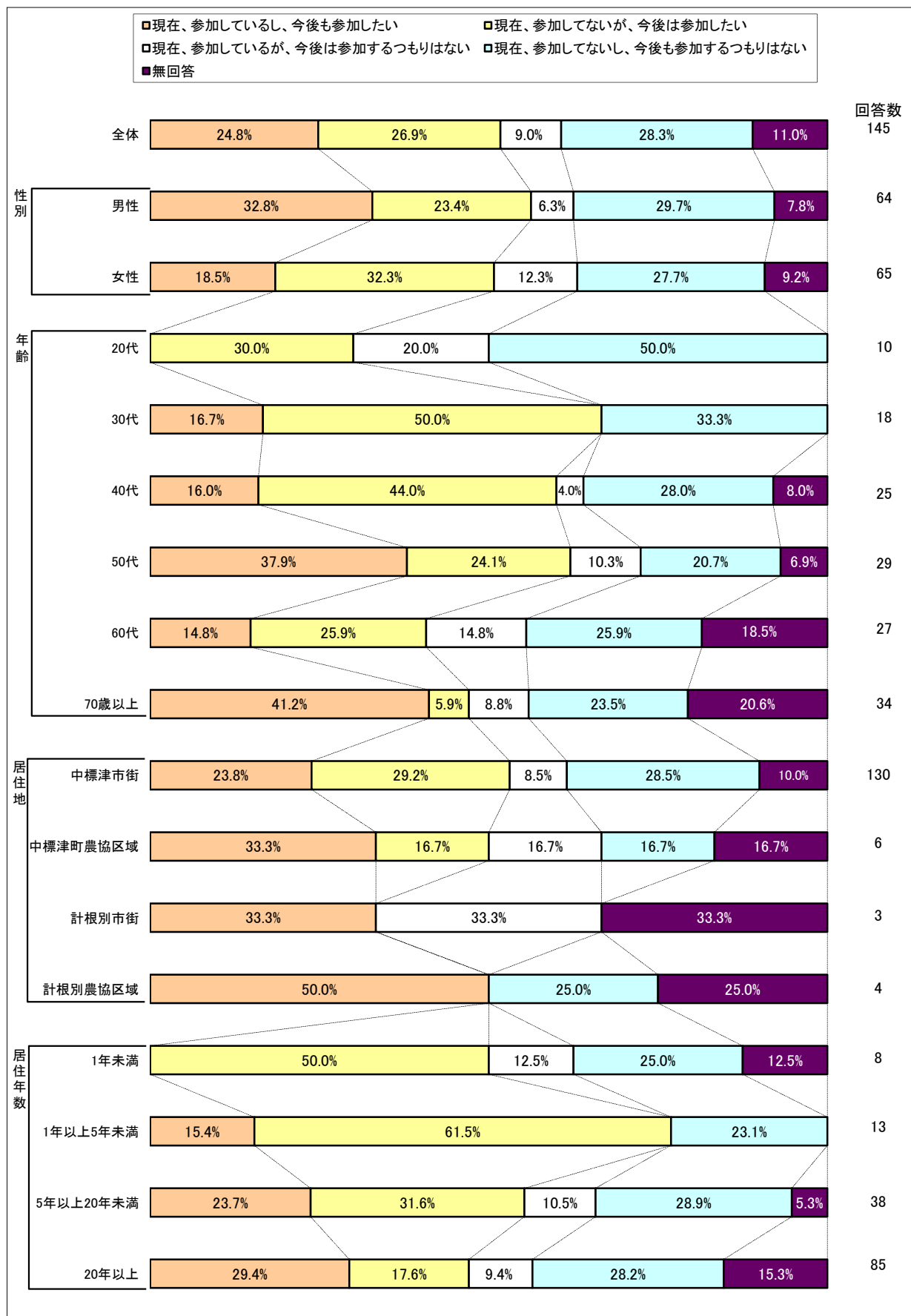
地域活動・ボランティア活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「参加していないし、今後も参加するつもりはない」(28.3%)が最も多く、次いで「参加していないが、今後は参加したい」(26.9%)、「参加しているし、今後は参加したい」(24.8%)、「参加しているが、今後は参加するつもりはない」(9.0%)の順となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人(「参加しているし、今後は参加したい」(24.8%)及び「参加していないが、今後は参加したい」(26.9%)の合計)が51.7%、今後“参加したくない”人(「参加していないし、今後も参加するつもりはない」(28.3%)及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」(9.0%)の合計)が37.3%となっており、現在“参加している”人の33.8%から今後“参加したい”人が51.7%に増加する結果となっています。

性別で“参加したい”人の割合は男性で56.2%、女性で50.8%と男性が5.4ポイント上回っています。

年齢別でみると、“参加したい”人の割合は30代が66.7%と高いですが、20代では30.0%と低くなっています。[図表82参照]

図表82 地域活動・ボランティア活動について（全体、性別、年齢、居住地、居住年数）



(2) 参加したい地域活動について

問61② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。
（問61①で“参加したい”と回答した人のみ）【複数回答】

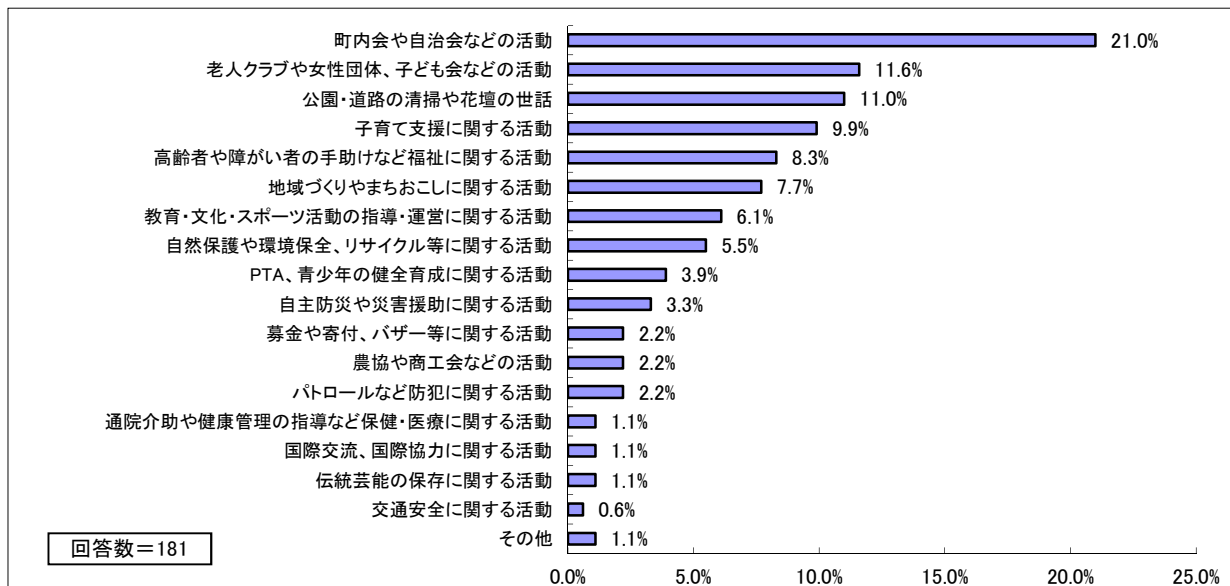


●「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「老人クラブや女性団体、子ども会などの活動」の順。

問61①で今後“参加したい”（51.7%）と回答した人に、参加したい活動をたずねたところ、「町内会や自治会などの活動」（21.0%）が第1位に挙げられ、次いで「老人クラブや女性団体、子ども会などの活動」（11.6%）、「公園・道路の清掃や花壇の世話」（11.0%）、「子育て支援に関する活動」（9.9%）などの順となっています。

[図表83～84参照]

図表83 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表84 参加したい地域活動等について（性別、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	町内会や自治会などの活動 25.9	地域づくりやまちおこしに関する活動 9.4	公園・道路の清掃や花壇の世話 8.2
	女性	町内会や自治会などの活動 14.6	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 (同率1位) 14.6	子育て支援に関する活動 (同率1位) 14.6
年齢	20代	公園・道路の清掃や花壇の世話 33.3	子育て支援に関する活動 22.2	同率複数のため省略
	30代	子育て支援に関する活動 23.3	町内会や自治会などの活動 16.7	同率複数のため省略
	40代	子育て支援に関する活動 13.9	町内会や自治会などの活動 11.1	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 (同率2位) 11.1
	50代	町内会や自治会などの活動 27.3	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 11.4	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 (同率2位) 11.4
	60代	町内会や自治会などの活動 28.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	70歳以上	町内会や自治会などの活動 24.3	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 18.9	公園・道路の清掃や花壇の世話 13.5
居住地	中標津市街	町内会や自治会などの活動 20.2	公園・道路の清掃や花壇の世話 11.9	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 11.3
	中標津町農協区域	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	計根別市街	町内会や自治会などの活動 50.0	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 (同率1位) 50.0	—
	計根別農協区域	町内会や自治会などの活動 40.0	農協や商工会などの活動 (同率1位) 40.0	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 20.0

5 中標津町役場について

(1) 情報共有について

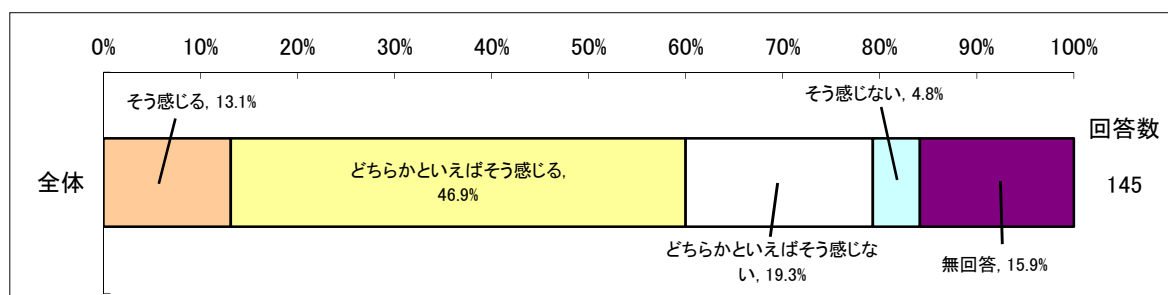
問62 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる” が60.0%、“そう感じない” が24.1%。

町の情報について知りたい情報が得られているかたずねたところ、「そう感じる」(13.1%)これに「どちらかといえばそう感じる」(46.9%)をあわせた“そう感じる”人は60.0%となっています。

一方、“そう感じない”「どちらかといえばそう感じない」(19.3%)及び「そう感じない」(4.8%)の合計)人は24.1%となっています。【図表85参照】

図表85 知りたい情報が得られているか（全体）

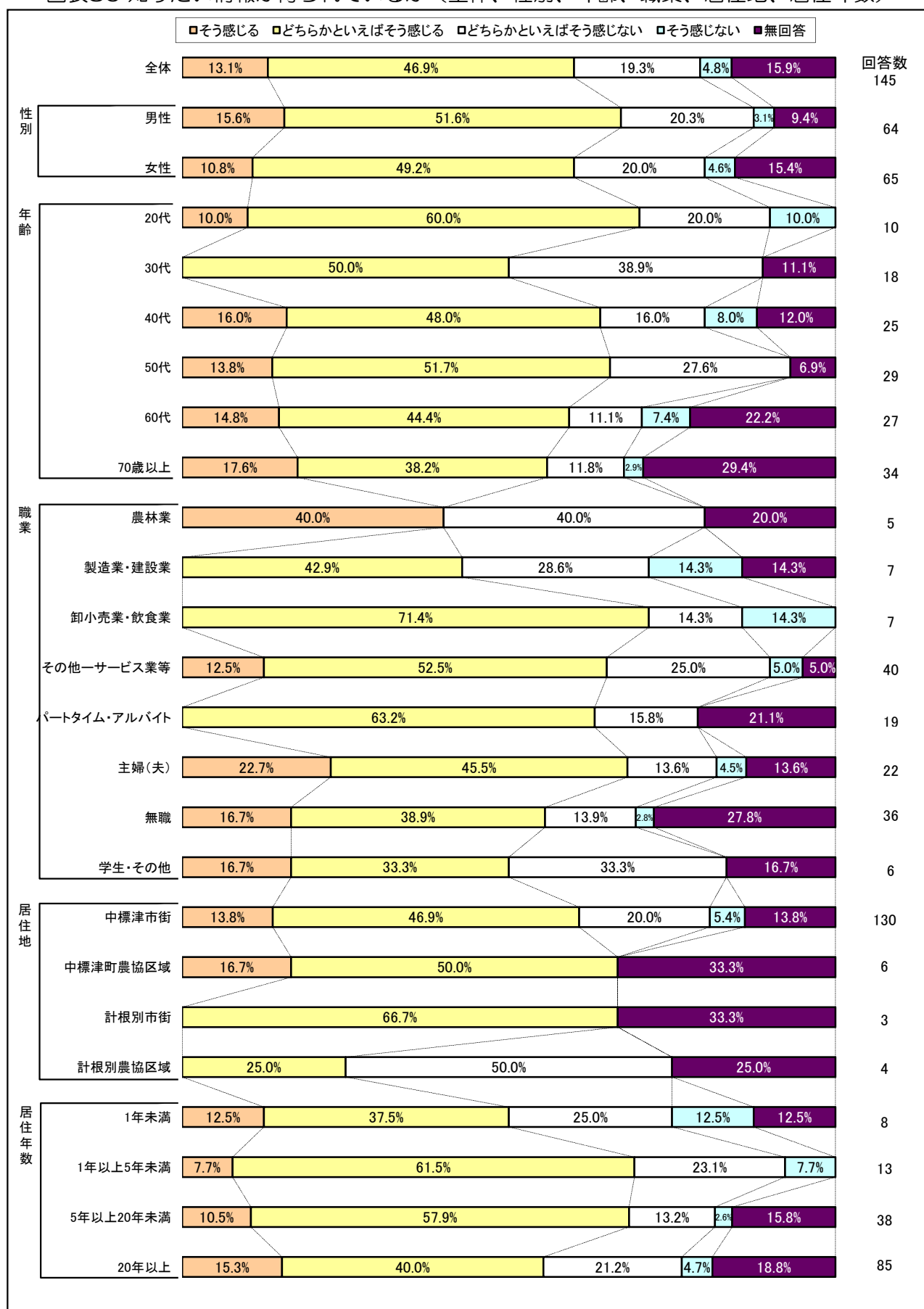


性別で“そう感じる”人をみると、男性（67.2%）が女性（60.0%）を7.2ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は20代の年齢層が70.0%と一番高く、30代では50.0%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では卸小売業・飲食業（71.4%）、居住地では同率で中標津町農協区域、計根別市街（66.7%）、居住年数では1年以上5年未満（69.2%）などとなっています。【図表86参照】

図表86 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は106ページに掲載しています。

(2) 役場の窓口について

問63 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

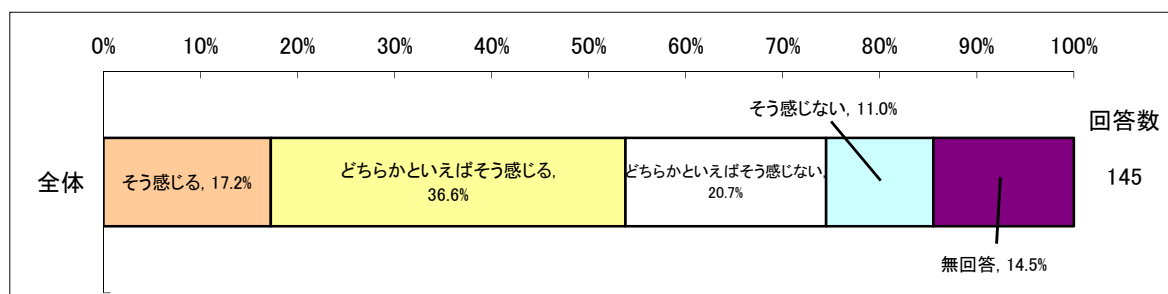


● “そう感じる” が53.8%、“そう感じない” が31.7%。

役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じるかたすねたところ、「そう感じる」(17.2%)これに「どちらかといえばそう感じる」(36.6%)をあわせた“そう感じる”人は53.8%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(20.7%)及び「そう感じない」(11.0%)の合計）は31.7%となっています。[図表87参照]

図表87 役場窓口を利用しやすいと感じるか（全体）

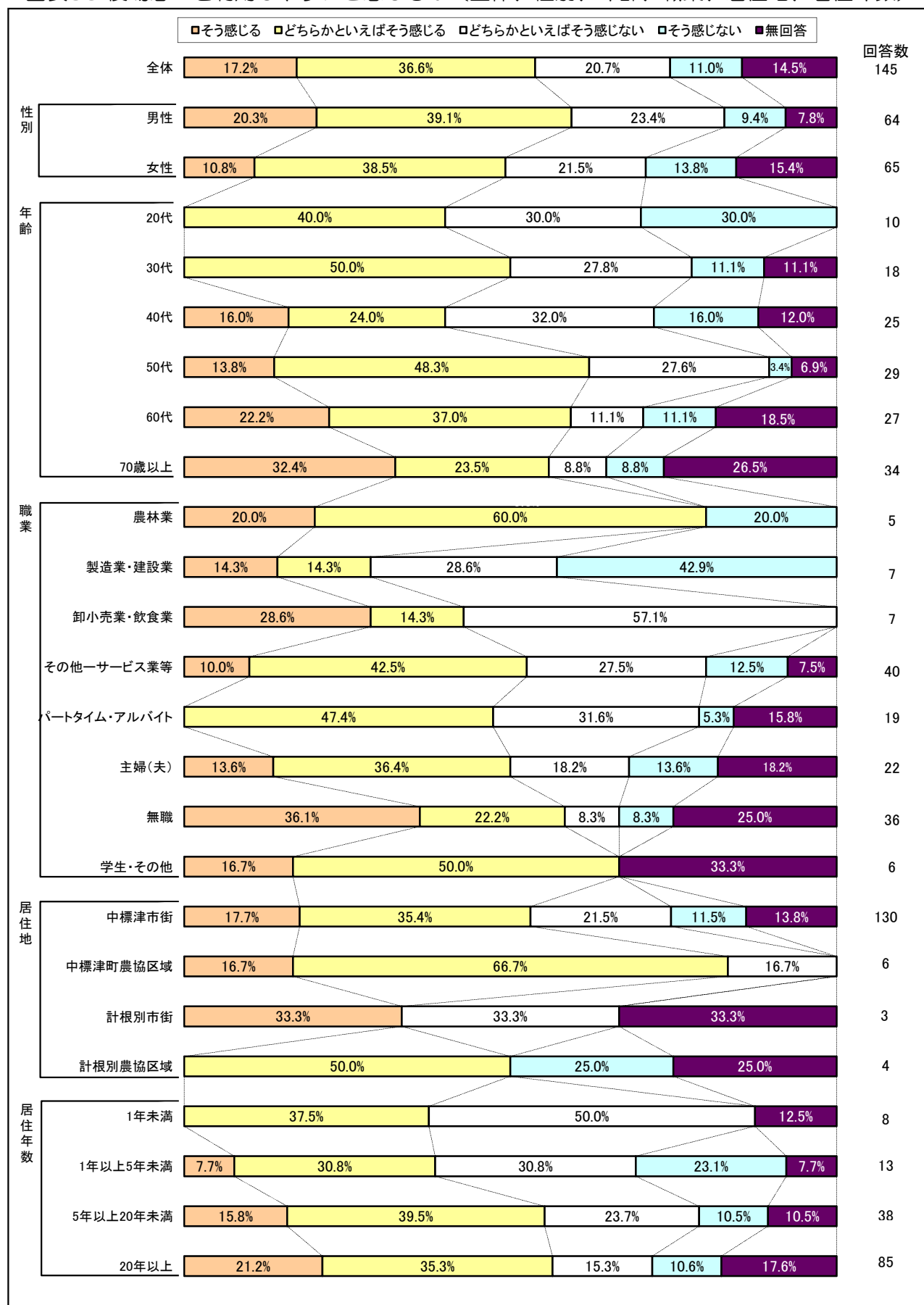


性別で“そう感じる”人をみると、男性（59.4%）が女性（49.3%）を10.1ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は50代が62.1%と一番高く、20代・40代では40.0%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では農林業（80.0%）居住地では中標津町農協区域(83.4%)、居住年数では20年以上（56.5%）などとなっています。[図表88参照]

図表88 役場窓口を利用しやすいと感じるか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は106ページに掲載しています。

6 将来人口目標について

(1) 目標の達成に必要なこと

問64 第6期中標津町総合発展計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）では、平成32年度の将来人口を25,000人（平成29年3月末現在23,582人）と設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●回答者58人、記入率40.0%、意見90件（記述式での回答）

目標達成に必要な取り組みについて、意見等を記入した人は58人で、回答者（145人）に対する記入率は40.0%でした。これらの記述された意見等を集約すると記入された意見は90件となっています。[図表89参照]

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表90～91参照]

図表89 目標達成に必要な取り組みについての記入状況（全体、年齢別）

	全体	年齢						
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
回答者数	145	10	18	25	29	27	34	2
意見記入者数	58	4	11	9	14	8	11	1
記入率（%）	40.0%	40.0%	61.1%	36.0%	48.3%	29.6%	32.4%	50.0%
意見件数	90	7	15	12	25	11	19	1

※年齢不詳は問1（2）年齢が無回答のもの

図表90 目標達成に必要な取り組みについての分野別意見（全体、年齢別）

	全	体	年 齢						
			20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
全体	90	7	15	12	25	11	19	1	
	100%	7.8%	16.7%	13.3%	27.8%	12.2%	21.1%	1.1%	
分 野 別	まちづくり・ 行財政分野	5	0	0	0	2	1	2	0
		5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	9.1%	10.5%	0.0%
	健康・福祉・ 医療分野	34	3	10	5	8	5	3	0
		37.8%	42.9%	66.7%	41.7%	32.0%	45.5%	15.8%	0.0%
	経済・ 産業分野	33	2	3	4	7	4	12	1
		36.7%	28.6%	20.0%	33.3%	28.0%	36.4%	63.2%	0.0%
	生活基盤分野	18	2	2	3	8	1	2	0
		20.0%	28.6%	13.3%	25.0%	32.0%	9.1%	10.5%	0.0%
分 野 別	生活環境分野	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
分 野 別	教育・ 文化分野	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表91 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	項目	意見集約	件数
まちづくり・ 行財政分野	計画的な 行政経営の推進	周辺町村の現況から町の人口流出は大きく変わらないと思う。数年は現在のまま進行し将来的には増加するものと思われる。町の周辺の環境整備して編入態勢を整えるべき	1
		高校出て大学行ってももどってこない。魅力のある何かがあれば...	1
		人材が管外に流出させないための手立てを考えるのが役場の務め。まず方針ありき。町の方針を町民に知らせず、漠然と聞くのはいかがなものか。あまりにも他力すぎる。	1
		ライフラインの低料金化など生活しやすい環境をつくる。	1
		中標津の基幹産業は酪農(農業)。役場新卒者の現場研修(職員が地元の知識不足である)中標津農業高校の学業を見習いなさい。	1
健康・福祉・ 医療分野	子育て支援の充実	夫婦共働きが安心してできるということが大前提である。その為に保育所、幼稚園の充実が絶対必要と思う。人口減を押さえ込むには、このことは欠かすことができない。行政はこのことを肝に命じて取り組むべき。	1
		中標津町は緑豊かな美しい町だと思います。この自然を保全しながら、将来を担う子供たちを健康に(身、心、共に)育てていける環境の人的、物的充実が必要と思う。	1
		子育て支援の充実(支援金など)	7
		中標津町に住んでいたいと思う人が増えるような取り組みが必要だと思います	2
		子育て支援で子供を産み育てやすくする環境。	7
		子供は医療費無料	1
		子育て支援(保育園等親が働ける環境づくり、子ども医療の充実。最低でも中学生までの医療費無償化)。	2
		子育て世代の支援。子育てしながら働ける環境のよい会社。	3
	高齢者施策の充実	高齢になっても安心して生活できる設備、制度の確立が必要だと思う	1
	健康づくりの推進	医療の充実が大切だと思います。高度な医療とかではなく、予防に力を入れる。この規模の地域だからこそ出来る医療対策のようなものがあるのでは...。積極的な健康作り。	1
	地域医療の充実	産婦人科の充実。	1
		医療機関の充実	3
		通院(町外)の助成や方法(町立病院から釧路に回されても通院できない人も多くいる)。	2
		病院の充実(常勤医の確保、自宅で安心して過ごせる環境の確保。往診等看取り体制の充実)	1
		町立病院の変革(基幹病院として責任が全く無い)。	1
経済・ 産業分野	農業の振興	酪農就農者の募集。	1
	商工業の振興	専門学校、大学を誘致できれば、転入者(学生)が増える	3
		林業大学などと大企業の工場などの誘致の促進を図る努力をする	7
		娯楽施設を増やす	3
		少子化対策、優秀な高校や大学の設置、	1
		若い人が地元に残ったり、Uターンして働く魅力ある町づくり。工場、施設、遊び場の充実化	1
		プロ野球が試合できる球場の設立。	1
	観光の振興	中標津町は地域町おこし隊など外部へ呼びかけ、内地からも中標津の素晴らしさのPRしてくださってますし共感しています。これからも活気のある町として若い人が増えてほしいと思います。私の文化活動の先生(埼玉在住)は今年2度目の来中になります。8月初旬12日間滞在されます。ゆっくり絵を描いたり、観光もされます。ちなみに宿泊場所は俄橋マルエー温泉です。一時的でも遠くから来て頂く方に対して、あまり出過ぎずに出来る限りのおもてなしをできればと楽しみに町民と共に迎えたいと存じております。	1
		道外からの移住希望者への町のPR強化	1
		「仕事」ということも聞くが、新しい血が新しい仕事を生む。田舎で不便はウソ。首都圏から旅行などで来町した人は、みな口を揃えて「素敵な町」と言う。空港の知名度を上げる。羽田直行便があることを知らない人が多い。発信が必要。	1
	雇用対策の推進	若年層の流出を減少させるべきで、雇用の創出が不可欠。	2
		首都圏の人口分散、誘致、担い手、職場環境の健全化など	1
		若い人の就労の充実	5
		安定した収入のある仕事があること。	1
		現状維持をしていくために転出者の抑制と死亡者の補充が必要。そのために公的住宅の充足と雇用の確保がある町づくりが重要と考える。	1
		働く場所の確保	2

図表91 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	項目	意見集約	件数
生活基盤分野	コミュニティの育成	子どもを産んだ後のフォローやお嫁さんが町に来てもらうように街コンを企画する！	1
		若者が集まれる所であったり、子どもを産みそだてられる環境！その以前の出会いの場を作るなどなど。	1
		道内外からの移住の促進。	1
		転勤族が多くを占めるので、今いる人を大切に。	1
		北方領土返還による流動人口、移り住む人。	1
		転住者の応募（標津町のように土地提供等）。	1
		住みやすい環境をつくり移住者を増やす。	1
		もっと有名な町にするために飲み屋にものまねをしにい	1
	計画的な土地利用と市街地整備の推進	人口に合わせ公共施設の大型化	1
		土地の無料譲渡など	1
		仕事に就くための学校（専門、訓練等）若者が離れないよう、又他地域から来るよう、そして職場、空き地と条件等考え、大手会社等に無料提供、社員呼び込み、大きなこと、今までと同じことをやっているようでは駄目だと思う。行ってしまった者はなかなか戻ってこないと思う。空き地をもっと何かうまく使うこと	1
	道路・交通網の充実	公共の乗り物の充実（バス等）	1
		高齢者の生活移動の見直し。（交通整備）。	1
		中標津空港の航路の充実。	1
		飛行場は維持してほしい。	1
	住宅施策の推進	マンション・アパートなどの家賃をもう少し安くする	1
		中標津に住みたいと思う都会からの移住者を受け入れ、住宅などの支援をする	1
	上・下水道の再整備	水道料金の負担が大きいのに対応してほしい。	1

7 行政との関わりについて

(1) 協働の推進に向け町民が行政に望むもの

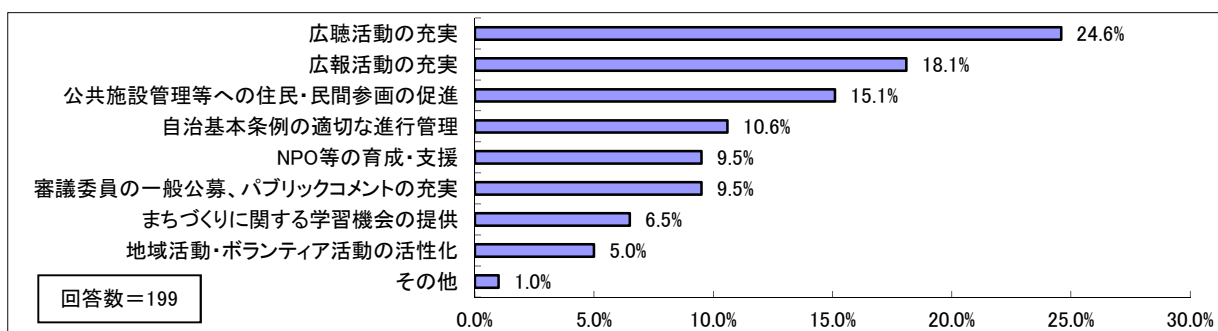
問65 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。

●「広聴活動の充実」が第1位。次いで「広報活動の充実」、「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」の順。

協働の推進について今後の取り組みは何が必要かたずねたところ、「広聴活動の充実」(24.6%)が第1位に挙げられ、次いで「広報活動の充実」(18.1%)、「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」(15.1%)、「自治基本条例の適切な進捗管理」(10.6%)、「NPO等の育成・支援」(9.5%)、などの順となっています。

年齢別では、20代・30代は「広聴活動の充実」、他の年齢層では「広報活動の充実」が第1位となっています。[図表92～93参照]

図表92 協働の推進に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表93 協働の推進に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	広聴活動の充実 37.5	広報活動の充実 31.3	同率複数のため省略 -
	30代	広聴活動の充実 34.5	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	40代	広報活動の充実 19.4	自治基本条例の適切な進捗管理 16.7	同率複数のため省略 -
	50代	広報活動の充実 35.7	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 16.7	広聴活動の充実 11.9
	60代	広報活動の充実 25.0	広聴活動の充実 18.8	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 15.6
	70歳以上	広報活動の充実 22.0	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 (同率1位) 22.0	同率複数のため省略 -
居 住 地	中標津市街	広報活動の充実 24.4	広聴活動の充実 18.3	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 15.0
	中標津町農協区域	広報活動の充実 42.9	広聴活動の充実 28.6	同率複数のため省略 -
	計根別市街	広報活動の充実 33.3	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 (同率1位) 33.3	その他 (同率1位) 33.3
	計根別農協区域	NPO等の育成・支援 40.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

8 防災対策（情報収集）について

（１） 情報収集について

問66 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか？

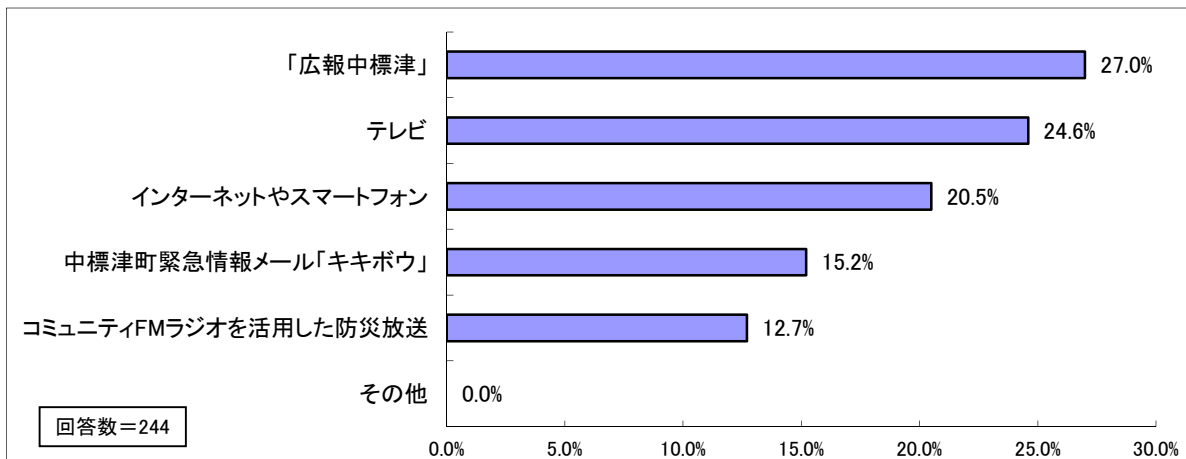
- 「広報中標津」が第1位。次いで「テレビ」、「インターネットやスマートフォン」の順。

防災のための情報をどこから得ているかたずねたところ、「広報中標津」（27.0%）が第1位に挙げられ、次いで「テレビ」（24.6%）、「インターネットやスマートフォン」（20.5%）、「中標津町緊急情報メール「キキボウ」」（15.2%）などの順となっています。

年齢別の第1位は60代・70歳以上では「広報中標津」、他の年齢層では「インターネットやスマートフォン」となっています。

[図表94～95参照]

図表94 防災のための情報をどこから得ているか（全体／複数回答）



図表95 防災のための情報をどこから得ているか（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	インターネットやスマートフォン 41.2	テレビ 23.5	広報中標津 17.6
	30代	インターネットやスマートフォン 37.5	テレビ 31.3	広報中標津 18.8
	40代	インターネットやスマートフォン 28.3	広報中標津 (同率1位) 28.3	テレビ 17.4
	50代	インターネットやスマートフォン 23.4	テレビ (同率1位) 23.4	同率複数のため省略 -
	60代	広報中標津 31.0	中標津町緊急情報メール「キキボウ」 21.4	テレビ (同率1位) 21.4
	70歳以上	広報中標津 36.4	テレビ 30.9	同率複数のため省略 -
居 住 地	中標津市街	広報中標津 27.7	テレビ 23.7	インターネットやスマートフォン 20.5
	中標津町農協区域	広報中標津 33.3	中標津町緊急情報メール「キキボウ」 (同率1位) 33.3	同率複数のため省略 -
	計根別市街	テレビ 66.7	広報中標津 33.3	-
	計根別農協区域	テレビ 50.0	インターネットやスマートフォン 33.3	コミュニティFMラジオを活用した防災放送 16.7

問67 あなたは、コミュニティFMラジオを活用した防災放送を聞いたことがありますか？



●「聴いている」が42.8%。「聴いたことがない」が48.9%。

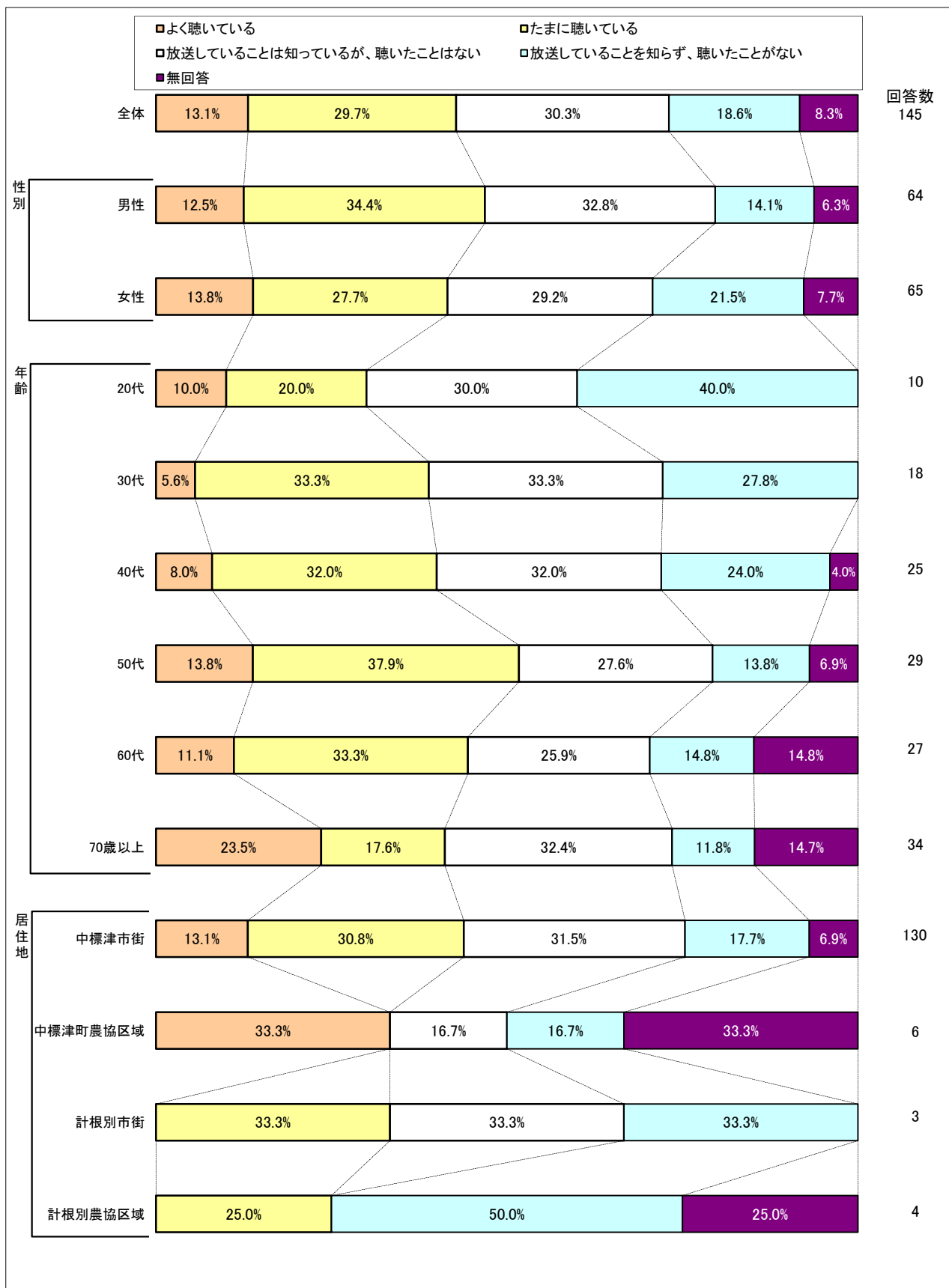
コミュニティFMラジオを活用した防災放送を聞いたことがあるかたずねたところ、「たまに聴いている」（29.7%）これに「よく聴いている」（13.1%）をあわせた“聴いている”人は、42.8%となっています。

一方、“聴いたことがない”人（「放送していることは知っているが、聴いたことはない」（30.3%）、「放送していることを知らず、聴いたことがない」（18.6%）の合計）は48.9%となっています。

性別の“聴いている”人の割合は男性が46.9%、女性が41.5%と男性が5.4ポイント上回っています。

年齢別の“聴いている”人の割合は、50代が51.7%と一番高くなっていますが、20代では30.0%と低くなっています。【図表96参照】

図表96 コミュニティFMラジオを活用した防災放送について（全体、性別、年齢、居住地）



Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見

(1) 自由意見の記入状況

自由意見欄に意見等を記入した人は、44人で、回答者（145人）に対する記入率は、30.3%でありました。これらの自由記述された意見は62件となっています。

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表97～99参照]

図表97 自由意見の記入状況（全体、年齢別）

	全 体	年 齢						
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
回答数	145	10	18	25	29	27	34	2
意見記入者	44	2	9	8	9	2	12	2
記入率（%）	30.3%	20.0%	50.0%	32.0%	31.0%	7.4%	35.3%	100.0%
意見件数	62	2	20	9	14	2	13	2

※年齢不詳は問1（2）年齢が無回答のもの

図表98 自由意見の分野別意見数（全体、年齢別）

		全 体	年 齢						
			20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
全体		62	2	20	9	14	2	13	2
		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3.2%
分 野 別	まちづくり・ 行財政分野	21	0	3	4	4	1	8	1
		33.9%	0.0%	15.0%	44.4%	28.6%	50.0%	61.5%	4.8%
	健康・福祉・ 医療分野	14	1	10	1	0	0	2	0
		22.6%	50.0%	50.0%	11.1%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%
	経済・ 産業分野	11	0	5	1	5	0	0	0
		17.7%	0.0%	25.0%	11.1%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	生活基盤分野	9	1	1	0	3	1	2	1
		14.5%	50.0%	5.0%	0.0%	21.4%	50.0%	15.4%	11.1%
	生活環境分野	5	0	1	1	2	0	1	0
		8.1%	0.0%	5.0%	11.1%	14.3%	0.0%	7.7%	0.0%
	教育・ 文化分野	2	0	0	2	0	0	0	0
		3.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表99 自由意見一覧

分野	項目	意見集約	件数
まちづくり・ 行財政分野	協働のまちづくりの推進	町内会に加入しない町民が多いので、町内会費寄付金等との金額を町づくり資金として徴収してほしい。	1
		ゴミ収集を自宅前で収集するのは、これから人口増えると大変じゃないかなと思います。町内会の管理もいいんじゃないかなと思います。	1
		町議員は町民意見の交流をして行政に活動してほしい。	1
	コミュニティの育成	私は卓球を体育館で楽しみ、健康を心がけています。できれば生涯現役で同窓会も実現できるようイベントを設けていただけませんか？	1
		FMラジオ局をもっと増やしてほしい。	1
	計画的な行政経営の推進	忙しいのでアンケート送ってこないでほしいです。	1
		身体の調子悪く満足に返答できず申し訳ありません。	2
		個人宅で生活弱者へのサービス(除雪作業や買い物代行など)ふるさと納税の特典。	1
		理由欄記入なしですみません	1
		休日のイベントにボランティアでスタッフとして参加することがあるのですが、役場職員は休日出勤手当が支払われるとのこと。同じことをするので、職員も年に1.2度はボランティアで参加してはどうですか？	1
		もう少し若い方にアンケート出した方がよいのではないのでしょうか	1
		今後このようなアンケート実施の際には「どちらともいえない、わからない」が必要と思う	1
		優秀な人材を採用して、人員が足りない部署には増員し、丁寧な仕事ができるようにしてほしい。また、不正のないようにしっかりチェックしてほしい。町民が安心して住み続けることが出来る町、人に優しく活気のある町。頑張ります！！	2
		ライフライン(水道・電気・ガス)料金を安くしてほしいです。	1
		町役場の窓口の方は、町の顔になるので、笑顔が多くなると町民の満足度も上がるのではないのでしょうか。人を育てる、人材育成がこれからは必要なのか？	1
		町政と町民に“情報の非対称性”があるように見える。町政の「見える化」の強化、他町との比較によって自分たちの難点が明瞭になり、改善にもつながるのでは。	1
		このアンケートを有効に利用してほしい。	1
		中標津ばんざい	1
健康・福祉・ 医療分野	子育て支援の充実	子どもの医療費への助成が少ない。人口増加を目指すならそこも重要視すべき問題だと思う。	2
		個人的には町税をもっと町民から徴収し、子供がいる世帯や高齢者の負担を減らすべきだと思っています。安心して子供を育てられる環境であれば、永住したいと思います。	1
		固定資産税を新たに値上げするのはもうやめてほしい。安くしてほしい。子育て世帯への補助などもっと充実してほしい。	1
		子供を育てながら仕事をしている現状で思うことは、平日の子供の預け先はあっても土日祝は困ることが多々ある。土日祝が働けないと、雇ってもらえない。小学生は児童館があっても時間が合わない。	1
		子育てにはハード面は充実していても、結果、お金がとてもおかかる不便な町という感じがします。	1
		子育ての充実	1
	高齢者施策の充実	今後は高齢者が増えることは、確実なことから、高齢者に対する生活環境が絶対必要と思う。(高齢者生活施設など)	1
		福祉、介護の充実	1
		これから先、5年10年先のことが心配です。今のところ、車の運転もできるし、体の調子も良く、心配はないのですが。	1
	地域医療の充実	町立病院小児科で流しているビデオについて、幼児(1〜3才くらい)が静かに待っていられず苦労している保護者をよく見かけるので、ビデオを幼児向けのものにしたらいのではと感じる	1
		医療の充実。整形外科的疾患になると釧路までいかなければならない	2
経済・ 産業分野	農業の振興	中標津はとても良い町だと思います。色々なものがコンパクトにまとまっていて。しかし、空港に降りて糞尿臭いのは、イメージダウンですね。町の環境はとてもキレイに整備されていると思います。	1
	商工業の振興	カジノを作る。リゾート地のような街づくり。	1
		大学や専門学校の開設。	1
		中標津の食品を一つの場所で買える場所があると便利です。	1
		色々なジャンルの職人さん達の移住を促進し、職人さんを育てる町など。	1
	観光の振興	町のイベントは活気があっていいと思います。	1
		夏の花火の打ち上げについて。例年ほとんど雲にかくれ、花火がきれいに見えずもったいない気がしています。時期を見直すか天候に合わせるかできませんか。	1
		このあたりの紅葉がとても美しいので、観光として紅葉ロードみたいなものがあればいいなと思っています。ミルクロードの所に紅葉を植え、紅葉ロードにするとか。	1
		観光資源の充実による産業の振興。	1
	雇用対策の推進	若い労働力をしっかり確保できる町になってほしいです。	1
		雇用を増加させる為、企業誘致に力を入れる	1

図表99 自由意見一覧

分野	項目	意見集約	件数
生活基盤分野	計画的な土地利用と市街地整備の推進	綺麗な街並み推進。道路の補修、改良、空き家の処分	1
	道路・交通網の充実	積雪量の多い年など交差点などでは、四方が雪の山になって殆ど見通しのきかない所が大変多く見られる。行政として工夫があって良いのではないか。たとえば町内会組織を動かし、人海戦術にて除排雪体制を取らせるなど	1
		冬期の通学路の除雪作業が通学時と重なっていることが多く見受けられ、不安を感じます。	1
		買物に行くのにすごく不便なので、バスの割引券とかハイヤーの割引券があるとすごく助かります。	1
	住宅施策の推進	新築住宅に対し、水道管の工事費の補助。町が全額負担。	1
		古い空き家を低価格で売買するような空家バンクはないのでしょうか。移住促進用の住宅も家賃が高すぎて現実的ではありません	1
		道、町の住宅を増やし、たくさんの家族が入れるようにしてもらいたい	1
	公園・緑地の充実	丸山公園付近は、整備しているが、もっと東橋くらいまで延長してほしい。花火会場ももっと整備を。	1
生活環境分野	防犯・交通安全の充実	不審者が出没し、追いかけられた、連れて行かれそうになった等町内でも起きています。小、中、高校のPTAに、事件の経過、人物像まで知らせてほしい。	1
	環境保全の推進	環境整備と自然破壊のどちらを重視するのでしょうか。重機に山菜が踏み荒らされて今後の収穫が出来なくなりました。小さな川が整備(コンクリートで固められ)クレソンが消えました。	1
		近所迷惑な暴走車などの取り締まり強化！(夜間も)	1
		町立中標津病院の芝生にコウリンタンポポ(外来植物)が急成長し、一面に広がっています。近くの民家にうつり早急な対策が必要と思います	1
		何十年後も緑あふれるきれいな町であってほしいです。色々な店が増えるのもうれしいですが、逆に治安が悪くなってしまうとかなしいです。便利なのもいいけど、田舎の良さもなくなさないでほしいです。	1
教育・文化分野	学校教育の充実	教育の充実。中学校を卒業させると他の地域へ子どもを進学させないといけけないのは、町として最悪の対応である。	1
	スポーツの振興	お金はかかるが、球場を早く作ってほしい。町全体がうるおうと思う。	1

IV 設問別記述

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

満足している理由
不満なし
物価が少し高いが、住みやすいかなと思った
人口少ないながらまとまり感がある
自然と共存しているから
利便性が高い
住みやすい
環境整備が徐々に進んでいるので、日常の生活が便利になってきていること
舗装路が汚い
満足しているが、老後のことを考えると(もう老後だが)この町で良いのか不安だ。
買い物しやすい町になってきてる。もう少し子どもが遊べるお店を増やしてほしいかも。...
欲を言えばキリがないし、自然環境がよいし、空港もあるし買い物しやすいので
公住などの古い住宅が新しくなり、みらいるなどの子どもが安心できる施設が出来た。景観が良くなったこと
市街地がコンパクトに集積していて、郊外とのバランスが良い
商業施設が充実している
子どもを育てやすい環境。託児施設や児童館がある
買い物に便利
生活する環境が良い
バスに乗ってすぐ用達が出来るから
「自然」と「利便性」のバランスがちょうど良い
私は西町に住んでいますが、昔に比べてきれいになったように感じます。
冬は寒くて大変ですが、5月に入り、こぶし、桜、チューリップと咲き、町の景観に満足しています。
明るく活気がある。若い女性が多い。
公共施設、大型商業施設もあり、安心して暮らせる
よくわからないが、頑張ってくれていると思う。
東武など一企業としてだけでなく、町のことを考えて営んでいる気がする。商工会の活動も若い方が取り組み、町の活性化に貢献されていると思う。
色々な施設が整っている。イベントも。今のところ自分で車の運転していけるから。
町の中はきれいに整備されていると思う。
必要最低限のものは全て揃っていると思う。
住み慣れた街であり、何でも揃う(買い物)街であるから
生活に支障ない立地だから
空港が近い

満足していない理由
活性化が見えてきていない
冬の除雪、医療、福祉
大学・専門学校がなく、若者がいなくなる
街の中に憩いの場所が少ない
私の住む町内会を通じてまちづくりに参加している
医療分野が不十分
JRがない
病院に予約で通っているが、待ち時間が長い。
魅力ある「まちづくり」に欠けている(特色のないまちである)
夏季における生活については不満なし、冬期の除雪については、他町と比べれば雑である。
外部に対してアピール度が少ないように思う
自然が壊されていくのが残念
ライフライン(災害時)に不安を感じる
娯楽施設が少ない
子どもの医療費負担が弱い。
住宅を建てるに対して、水道管をひっぱる工事費用を町が負担してくれない
若い人がしかるべき給料で働ける職場が少ないこと
しっかりした医師が少ない
公共の乗り物(バス)の運営が少ない
子育てに関する助成が少ないから
土地代、固定資産税が高い。
教育に関する補助が足りない。
公共施設がバラバラすぎる、車での移動なのに駐車場のスペースが小さすぎる
道が悪い、環境整備して
何をしているか見えません
住宅地の道路が未舗装
子どもの預かり先などあるが、料金が高くて頼めない、仕事を休むしかないのです。保育所ではなく幼稚園へ行かせたいので検討してほしい
子育て対策が充実していない
医療、福祉分野のサービスに満足していない。特に医者が不足している印象。
子ども医療等充実していない
旧態依然
全体的に不満が多い
歩道が整備されていない。俣落交差点までの歩道を整えてほしい
活気が無い
具体的なまちづくりが感じられない。中標津町は何をアピールポイントにしているかわからない。観光スポットがない。つまらない町だと思う。

買物するところが少ない。どの店も求人広告が出ていて、なぜ高校生のバイトを禁止するのか不思議です。社会勉強になると思います。
近年、町の活動(お祭り)など、町民の協力が少なくなっている。
医療、福祉が心配
本町中心的なところがあって、地方(郡部)の対策が不備に感じる
高齢者が外出するための公共の交通機関充実している。車椅子で動けるための道路整備が出来ていない。公共施設にしても車椅子、また、杖を必要としている方々が安心して利用できるようになっていない。(和式トイレが多い。スロープではなく階段が多い)
少子高齢化に対する対策が不足している。人口減に対する具体的対策不足
税金が高い
便利な町に見えているが、不便な町に感じます。
まとまりがない
中標津病院先生の不足
商業施設が衰退している
観光資源が少ない
道路の整備が悪い

問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

そう感じる理由	
まちづくり町民アンケート	
協力していない根拠がないが、本来そうあるべきことだから	
町内会を通じてまちづくりに参加している	
体育館の建設	
町長と住民との対話がある	
町の行事に参加している事が多い。	
町内会の任務は多くなっていると思うが、高齢者が多くなった現在はやむを得ないと思う。これからも進めてもらいたい。	
町民と行政の方があなあな感じで、都会では通用しないと思う	
町民の意見を聞き入れて活動していると知人から聞くから	
施設の充実	
町議さんが身近にいて、いろいろ質問もでき、町の様子が外に出なくてもわかる。野の花の会とても良いと思う。	
町長自ら町内会や地域へと足を運び耳を傾けに来ているから。町議さんなどが身近にいるのもそう感じさせる	
安心して生活出来るように町内会の1人暮らしの人などの見守りをしている	
行政が町民の意見を、出来るだけ吸い取る努力を感じる	
住みやすいです	
孫たちの時代になってどのように変わっているか	
町民も行政もその方向に向かって歩みだしているから	
町内会、経済団体等と協働している。	
広報など見てそう感じる	
各種行事に老若男女の積極的な参加が見られる。	
今まで、公共施設等も町民との話し合い、協力して実現していると思う。	
アンケート用紙が送られてきたり、施政方針、教育行政方針、みんなのなかしべつプロジェクト、他にも色々と報告書が各家庭に届く。	
サロンなど	
緑が豊かどこの家でも花がみられる。	
コンビニがあらゆる所でオープンしているから	

そう感じない理由	
町民の意見が反映されている様に思えない	
冬期間、町道の除雪が不十分で車での通行には極めて危険を感じる。予算が十分でないことは良く解るが、そのことに対する町民への説明が全くないように思える。要は町民の納得ずくでの経費節減が必要ではないか	
変わったような感じがしない	
町民の意識がまちづくりについては、まだまだ一部の方たちのみしかないのでは？	
バス乗り場を増やしてほしい	
町民目線に沿ったまちづくりが進められていない。(行政サイドの自己満足によるまちづくり)	
良い老人ホームがない、良い病院がない(町立病院はあてにならない)子どもを育ていくために協力的とは全く思わない	
除雪が悪い	
町単位では難しい部分もあると考える	
協力して町づくりをしているという話をあまり聞かない	
町民と行政の差を感じる	
町民と行政の関わる機会がない。(特に子育て世代の人と)	
予算ありきで進められているので、中途半端なものになっている	
町民の希望していることにあまり耳を傾けていないと思う。	
何をもち協力としているかわかりません	
何をしているのかわからない。	
議会活動が目に見えない	
まちづくりに関していろいろと取り組みをしているのはわかるが、あまり実感として何がどうなってるのかっていうのは感じない	
協力している場面を見たことがないため	
町民の声を吸い上げる。機会や手段が浸透している。	
気軽に意見を交換できる場所や方法が思いつかない	
若い人の取組が少ないと思う(町内の活動も)	
一部の町民参加で行われている感じです。	
目に見えた限りでの住みやすさを感じられない。	
各々が忙しすぎて、コミュニケーションがとれていないのではないかと？	

行政が行っていることが町民に伝わっていないことも多いと思います。もっと広報活動をしてほしいです。
町内会の加入減対策(公住・道住・マンション)の加入が悪い。
表の町の様子と裏の町の様子が違います。
周囲の知人に中標津町に良い印象を持っている人がいない
自身に知ろうという気持ちがなかったから？
一部の行政人しか協力してないように感じる
行政の広報が不十分に感じる。
回覧板がない
行政との対話が少ない

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますが。

そう感じる理由
車さえあれば
車がなくても利用できる
私の住んでいる地域からは文化施設、小中学校、買い物と子育ての時期とても便利でした
病院、役場、商店街が近くにある。
生活する上でコンパクトにまとまっている
買い物でも集中している
いろいろあるが、買い物ではバイパス道路沿いの大型スーパーがあるので便利に感じる
他業種の色々なお店がたくさんある
スーパー等が充実している
買い物する所がたくさんあって便利
全てがまとまっていること、駐車場が充実していること
高望みはしない性格
自家用車がある分にはとても買い物しやすいし便利だと思う
商店街と金融機関が近くにあって徒歩で移動できることがいい
スーパーやドラッグストアも充実しているので
最低限生活できるので
買い物もしやすいし、病院もあるから
飛行場があるので便利
スーパーやコンビニが増え、便利になったと思う
この規模の町としては便利
道路一本ですべての用事を済ませることができるため
半径2km以内で必要な物、用事を済ませることが出来る。店舗、施設の駐車場も広く、渋滞もない。※車さえあればいい。
歩いて動ける範囲なので
温泉が良い
量販店があり、商品や価格の比較が出来る
日常生活に不便を感じることがない
中心市街地に銀行やスーパーやしるべつなどがあるから利用しやすい
すぐにバスに乗るから
中心市街地は閉めるお店がある中、バイパス道路沿いの周りにお店ができて、二分されており、町外からお客も多くなりいいと思います。
大型スーパーやコンビニの存在。但し、住宅街の高齢者には不便もある。
日常生活には便利である
少子高齢化進む中、買い物の利便
空港が近い
徒歩で十分な範囲にまとまっている
不便を感じないから
飲食店があるから
物価が安く、スーパー等が集中している。
普通に買い物には困らないので

そう感じない理由
駐車場が少なく、路上駐車となるため
市街地に試験場園場がある
交通の便が少し悪い(例えばバス)
道路が狭い
車がないと不便なため
中心部へはあまり足を運ばない
中心部は昔のような賑わいがない
バイパス道路沿いだけ発展しているイメージ
大型スーパー関係が郊外にある
バイパス道路沿いで買い物が済む
比較してはいけませんが、関西に30年ほど住んでいたもので、不便なことが多い
中心地が便利じゃない。郊外がショッピングセンター等使用になった
バス利用ができてく、中心から外れている
除雪が汚い
公共交通が整備されていない
中心市街地に行くとしても、すべての用事が済むかといわれるとそうでもない為。
空き店舗、空き地目立ち、利用しづらいから
立地条件の関係から分散型になっている。

車通りは多くないので、運転はしやすいが、マナーが悪い。どこに行くのも車でないと行きにくい。
市街中心に出るにも年寄りには難しいと思う
どこが中心市街地なのか分かりにくい
買い物など中心市街地ではないので、ほとんど利用しないから。
中心部の中央通りが歩いていても、活気が無く、利用しやすいとは思わない。
お店が遠い。
高齢者に不便だ。
役場などが中心市街地にあれば、その他の施設やお店も増え、便利で賑やかになると思う。
活気がない。お店が少ない
中心市街地が空洞化してきた。バイパス道路沿いの方へ広がった。用事をたすのに範囲が広がった。
商店が集中していない
買い物にしても2〜3店回らないと買えない物もあり、町の端から端まで行かなくてはならないからです
店舗がない
1ヶ所で用が足りないの
市街地空洞化に感じる
国道が中心に無い
バイパス道路沿いと中心部で分散しているから
空き地空き店舗があり、連続性に欠ける

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

そう感じる理由
草刈りの時期はよく草刈りをしているのを見るため
草刈等維持に努めていると感じます
道路の維持管理は良いと思います。
清潔感があるため
道路清掃等維持管理が行き届いている
定期的にきちんとしている
特に不満はない！！緊急の場合は対応してくれている
町で行っているかはわからないが、道路脇に花を植えたりしているのを見かける。ゴミ拾い等（町内会？）
きれいではあるが、車で道路に出る時に道路側に小さな木たちがあるのが見づらい
みっともないと感じることがない、雪どけの後の歩道脇のゴミはどこから来るのだろうと不思議
道路は広いが、凹凸がある。車道と歩道の段差がある。
公園付近の草原等綺麗に保たれている
日々の生活の中できれいになっているのが感じられる。しかし、車社会なのに町道でありながら舗装していない道路がある。舗装してほしい
川辺をウォーキングしていても草もキレイに管理されていると思う
比較的きれいかと
除雪がよく対応している
特に汚かったり荒れている感じはしない
町内会や老人会の人々が草取り、花植えもしてるの見かける
最近では郊外道路わきの除草回数は減っているようだが、予算もあるだろうから仕方がない。
道路の草刈は少し気になる場所もありますが、概ね管理されていると思う
全体的には良いと思うが、先日、しるべつと近くの歩道で自転車で乗った小学生がマンホールの凸の所で転んでました。少し危ないなと思った
定期的に側溝清掃、草刈りなどされていると思います。
そんなに不便を感じない。道路の穴はもっと直してほしい。
先日、側溝など掃除しているのを見たから。
天気に左右され雑草を取ってくれて。花もきれいだし、草刈りしてくれる人材センターの皆さんにありがとうございます。
ミルクロードの整備はされていますが、観光用としては未熟を感じる
道路などはゴミが落ちていない。
今年は川岸の木が剪定してあった。見晴らしが良くなった。
最近では川が氾濫しそうで心配ですが、道路は綺麗だと思います。
除雪がとても早い
定期的に道路清掃しているみたい
街路樹など整っている
草、ゴミをあまりみない
清掃、草刈りをやっているのを見かけた
最低限のことは行っていると思う

そう感じない理由
住人が整備しているので、公的に管理されているように思えない
道路に亀裂が多い
場所による
河川敷等では不法投棄物が目立つ。不法投棄規制が厳しくなるほど、不法投棄が多くなるという。行政はこれに向き合い、適正な施策を模索すべき。
国道〜町道全般に舗装の劣化が著しく補修がなかなか出ていない。スピードが抑制されている？
草がいつばいあるから
夏になると、町の道路でも植え込みの木の枝や葉が伸びすぎて往來の時対向車が確認しにくい所があります。
私の住んでいる町内会の道路の草刈が出来ていないから。
町中を散歩するが、草が伸び放題だったり、歩道に車が止まっている
歩道の草刈していないから
河川敷の周りは草木が多すぎる
橋の下にはゴミが散乱したまま、捨てる人が悪いのはもちろんですが、汚れていて管理されていないように思う

標津川河川敷でサッカーなどやっているのを見ると危なくて心配になる
道路の穴が多い気が...
道路整備が悪い
維持活動が目立たない、見かけない
草刈など十分と言えない
舗装化してほしい
親水公園の川の草(最初は花)が見苦しい
道路の整備が悪く、大雨で水溜りができている。
道路わきの草がぼうぼう生えていたりするので、もう少し力を入れてほしい。お花も少ないと思う。道路が穴あきボコボコで最悪
道路脇の草刈の回数を増やしてほしい
ゴミが多い
清掃、草刈りはされているが、フェンスで囲んだ公園用地本当に必要なのか疑問！
せつかくの歩道でも草がすぐくて子どもと歩きにくい
大きな道路は整っていると思うが、住宅路など道は直してほしい所が多々ある。
側溝掃除や草刈りをしているところを見たことがない
水資源確保のための施策が見られない
草刈りはほとんどされてないように感じる。河川も汚い。
大きな道路などは管理されているが、1本ずれると管理されていない。
道路脇の草が伸び放題(特に郊外地域)
護岸の不整備などところもある
街外れの歩道を通る時、縁石の周りの雑草等が、また、犬のフンが目につく。
低い桜を植えているのが、見通しが悪く運転しづらい
行う時期が遅く、汚く感じる。
草が伸びすぎていることがある(道路脇など)
予算の関係があると思うが、河川ウォーキング道、防犯上悪い。(草刈り回数増が必要)
町の中心部はそうだと思いますが、少しでも外れれば、そうは見えないと思います。
あちこちの街路樹の草が目立ちます。
歩道に雑草が生えていたり、歩道と車道の間の植栽の背が高すぎて見にくい
歩道の雑草とか穴、マンホールの周りなど
刈ってはいるが、伸びている時の方が多い。
住宅地に砂利道が多く、整備されていない。
家の側溝周りはいつも草が伸びているので、一緒に刈っています。

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

満足している理由
手入れしている
子どもが遊べる芝生の公園がある
緑が多くエゾリスが来る
適当なバランスを保っている
道路沿いの植込みなど手入れしていると思います。
緑地帯や公園がある
釧路市、根室市に比べ、大きな緑の木や道路のそばの花の植込みが多いと感じる
緑豊かな景観が確保されている
町名や番地がはっきりしている
公園が多く感じる
ゆめの森公園は中標津の象徴とっていいぐらい最高の公園だと思う。
きれいではあるが、車で道路に出る時に道路側に小さな木たちがあるのが見づらい
自然の部分と管理されている部分のバランスがいいと思う
特に散らかっていないように見えるから
比較的郊外に住んでいる
空気がきれいだし、爽快感が高い
町の規模からしたら緑地が多いと思う
町外れなので緑は多い方、公園は余り使用されていない
子どもと遊びやすい(ゆめの森公園が)
公園もキレイに管理されていると思う
我が家の庭は雑草だらけだが、他はきれい
公園などはすばらしい整備
公園が多い
そういえば「これどうにかしたらよいのに...」みたいに思うところがない。環境整備ありがとうございます！
ゆめの森など公園があるから
近所では皆きれいにできてゴミがない
町内の公園はどこも美しい
町内会の公園とか家の周りとかキレイです
公園や花壇の整備が行き届いている
もともと存在している
緑の多い町だと感じている
特に汚れていると思うことはない
公園はきれいだし、道路脇の緑も良いと思う
町内1つだけでも、現在の丸山公園のようにすべての生物のための公園(各種動植物)という姿を保ち続けてほしいと願っている。
時期的に満足している

多すぎて人工的なものはいらないと思う。
力を入れている町内会は公園がきれいだ
草、木がある。
どの町もこれくらいだと思います。
酪農なので、家周辺をきれいと花も取り入れています、雑草に苦戦しながら皆頑張っています。
自分の住むところは緑が多く満足している。しかし、ソーラーパネルの設置が景観を壊して見苦しい。
街路樹を通して、四季折々を楽しめる。
近場の公園の緑が活力減となっています。(利用者全員で管理を)※ポイ捨ての条例化
町内会の人達は、花野菜を作る人が多いので。
緑の多い町ですから、街路樹はいらないと思います。草がぼうぼうで汚いです。
公園などの草刈りしているみたい
個々の家のまわりがきれい
空気がおいしい
朝から鳥の声が聞こえたり、リスがいたり緑が多くあると思う

満足していない理由
歩道に花を植えるのは良いが、差が大きすぎる
公園は少ないと思う
1軒1軒の周りに植樹がほしい、日照権がなくなることある
街から遠い所に公園などがあってあまり利用されていないと思います。(特定の人以外)
私の住んでいる町内会の整備が出来ていないことです
子どもが遊べる公園が少ない
河川敷の木が伐採されたり、森林を切り開いてソーラーパネル設置することが本当に環境に良いのか？
家の周辺に(空き地)雑木林がある
バイパス沿いの歩道を歩くとフキなど大きな草がありひどいと思う。お花を増やしてほしい。
緑が少ない
不要な駐車場、税金を使って整備ほぼ使用していいない
緑は多くあるが、管理されているように見えず汚い感じ
木は植えても、以後の整備が不十分
個人まかせであって、酪農地業としてのイメージづくりがされていない。
手入れをしていない。
近所には公園はありません。
家の周辺の道路沿いのハイマツが大きくなりすぎて右、左折する時見えづらい。
身体が不自由な方も利用しやすいようにバリアフリーやトイレ完備
遊歩道の使えない状態
街路樹が少ない、小さい

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことが出来ると感じますか。

そう感じる理由
バス利用していない
循環バスなど見受けられるが、利用したことはありません。
これから高齢者が多くなり乗り物にも乗れなくなるので、バスの利用は大変良いと思います。
バスで買い物や通院が出来るから
普段利用しないが、車がなくても暮らせそうな感じがする
今は車で買い物に行けるが、老後はバスを利用したい
利用客は少ない様ですが、便利と思う
利用することはないけど、高齢者はうれしいと思う。
あまり乗らないが子どものいる家庭は助かっているみたい
これから先バスを利用できたらと思います。
まだ利用したことはないが、もう少し小さなバスでも良いように感じる
定期バスがあるので、とても便利です。
これからの時代には必要なので、小さいバスに切り替えていき、高齢者の運転率を下げられると良いと思う。
利用者がいなくても定期的にバスが走っているから。
町内は乗る方も多いと思うのですが、郡部になるとどうなのでしょうね。
車の運転が出来なくなった時
現在利用していませんが、路線はしっかりしています。(居住場所から)
町営バス、阿寒バス、根室交通、合わせるとそれなりに便利だと思う。
主な通りはバスが走っている。

そう感じない理由
停留所の雨対策は必要ではないか
バスを利用したことがない
町内循環バスは高齢者、障がい者等には極めて大切な交通手段。現行は大型バスでの運行だが、これでは頻度を上げると経費もかかるので、小型化して運行頻度を上げるのが、住民サービスの基本ではないか。
もう少し便を増やすとか、一方から行くのではなく、もう一方からも運行してほしい
バスを利用している人をあまり見たことがない
車での移動に頼っている。需要と供給のバランスで難しいが、今後バス利用で生活できる環境作りが必要。
買い物に行く場合は遠回りで時間がかかる
私は自家用車を常に利用していますが、バスの本数など見ていると車は離せないです。
バス停が少なすぎる。バイパス道路沿い方面でバスを見かけない

町内循環バスが一系統な為、目的地に行くのに時間がかかる。自動車がなければ生活に支障がでる
マイカーの方が多い
バス等の回数等が少ない。小型バスの導入をしてはどうか
郊外地区を走る町のバス、利用者は？あんなに大きなバスが必要でしょうか。小型にするだけで経費削減できるのではと思います
本数が少ない、料金が安い
バス等の停車場位置など遠くてわからない
バス停の位置が悪い。高齢者に月々〇〇円までのタクシー無料券など配布してほしい
自家用車があり、公共交通機関を使うことがないので、わからない
バスの停留所まで遠いのと本数が少ない、マイカーが多い
路線や時間がわかりづらい
バスの便が少なく利用できる時間帯がない
バス停まで遠い
バス路線と便数の確保
年配者の免許返納後のフォローがあまり充実していないと思う
まだ、バスを利用せず自家用車を使用しているので、わからない！でも、聞くと不便だと聞くことが多い
町外へ行くバスが少ない(特に釧路)
年配の人がバスで買い物いったら何時間かかる。半日つぶれるとか言ってるので、利用する人が少ないので、仕方ないと思いますが、
車のない世帯の住民のため最低限の公共交通は維持しなければ、。題目はわかるが、現実的ではない。他の解決方法を考えた方がいい
無理かも知れないけど、巡回場所便数かな？
市内のバス路線がわからないし、運行時間もわからない。
バスの便をもう少し増やしてほしい。
もう少し小さなバスでこまめに動いた方が免許がない高齢者には使いやすいのでは。
周りにバスを使っている人はいないので
各種のバスが一本の路線を走ると恩恵の受け方に大きな差ができる。(20年間バスを利用していない)
バスに乗ったことは無いが、利便性が悪いイメージがある
時間的にロスがある。(運行間隔が空きすぎ)
今のバス運行システムでは、町内、町外バスを含めて便利に暮らすことは出来ない。特に免許返納などすると社会と遠くなる。
緑ヶ丘地区にはバスの運行はありません。不便です。
タイミングがなかなか合わないと思う。
市内便は目的地まで大回りなので
自分は今はバスは使わないので感じないですが、あと10年～20年経ったらわからないです。
中心を外れるとないため

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

満足している理由
東京便がある。2便あれば最高
市街地から近い
めったに自分が利用することはないですが、身内、周辺の人が利用していただいているから
急ぐ時急々の時などには良いのではないかなと思う
札幌便が3便、東京便が1便あり、非常に便利であると思うが、料金があまりにも高いのではないかな
利便性がいい
現状ではこの町が中心であり、主要都市への移動を考えれば現状で良いと思う
東京便を1便多くほしいとの感じはある
近くて便利。ただ一つ東京便の時間が昼に1便だけだと、。昼だと移動で一日つぶれる感じ
鉄道がない分助かっています
町から近い。便数は少ないが、あまり利用することがないので、不便と感じたことはない
便利だと思う
駐車場が広く無料なところ
行きたい所に乗り継ぎが出来る
便数は少ないが、空港があるというだけで助かっている
きれいだから
町内に空港があることでとても利便性が良い
どこいくにも高い(金額)
年に2～3回は利用している
千歳と羽田があれば十分だし、本数もよいと思う
空港があるのはホントにありがたい。東京便がもっと早い時間ならとか色々思うところもあるが、概ね満足。空港がなければもしかしたら住んでないかも
出発時間や便数も満足している。しかし東京便は少し時間を早めた方がいい気がする。
便利だが便数がもう少しあると助かると思う
東京行きは利用しやすい
羽田直行便がある。
市街地から近い。(その割に騒音が少ない。駐車場が便利。渋滞がない。)
東京、札幌に直行増便があったらもっと便利
札幌に行くのが便利だから
時々利用しますが、不便を感じることは無いです。
中標津発着を考えると、千歳と羽田で充分だと考えます
中標津空港があるので便利です。
最近乗っていないが、しるべつとに有名人を呼べたり、いざという時に飛行機を使えることは良いと思う。
街と近くて利用しやすい。東京便の出発時間を早くしてください。
ほとんど乗ったことがないが、いいと思う。
空港があることで旅行とか帰省する子どもたちにとっても便利です。中標津に空港があることが自慢です。

札幌や道外に短時間で行ける
満足しているが、駐車場が狭く感じる。
運行されているだけでありがたい。
家から10分、大変ありがたいです。
願わくば、東京便が昔のように2便あると更に良いと思う。
満足はしているが、時期的に悪臭をどうにか出来ないでしょうか。
乗ろうと思えば空きはある
羽田、千歳便があるので
今は利用してませんが、あるだけで十分です。

満足していない理由
空き時間が多い。多方面への運行希望。
道内各空港への路線があれば・・・丘珠、函館等
便を増やしてほしい
便数が少ないのどこから札幌、東京行きの時刻が不利と感じます。でも飛行場は絶対必要です。
利用したことがない
各県直通の便があればいい。月に2本くらい
もっと本数や行き先を増やせば観光客も増えると思う。
もう少し多くの地方へ便が増えたらうれしい(基本的には満足)
利用した事がないが、他の利用者の話を聞くとあまり利便性がないとよく聞く
今は2路線だけであり、季節に合わせ航路を増やしてほしい。また本数も増やせるのであれば、お願いしたい
街から近くて良いが、東京便の時間が遅い
料金が安い
羽田便が午前と午後2便あると便利だと思う。
丘珠空港便があれば、札幌へ行きやすい！！
羽田便の時間が不便です。
羽田便を増やすか時刻を早めてほしい
東京便で午前中に羽田に到着するのがないと使えない→非常に不便
千歳便と羽田便だけではなく、丘珠便もあるといいと思う
便数が少ない。関西方面にも飛ばしてほしい。
東京便、朝－9:00ごろ。不都合です。
広報が不十分に感じる
東京便の時間が遅いから
東京便が2便になってくると便利

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

そう感じる理由
水がおいしい
水質が良く、断水トラブルが少ないのは大変良い。
水道代は高いと感じる
いつでも利用できる
今後、水道管の老朽化による事故にならぬような、保守、点検が必要ではないか
夏の暑い時でも水道の制限がないのが大変良いと思います。
断水などの不便さを感じたことがない。水がおいしいと思う。
安心して水道水を利用できる
地震以外水道が出来なくなることがない
不便を感じたことがない
全く問題なく利用できている
豊かな水源のある町である
特に不便を感じたことはないが、何かが発生した場合はどうか？
水道が止まったことがないから
水もきれいだし、水道料金も適正だと思う。
水道水が飲めるから
料金の見直し
飲用水として何も問題なく使えているから。
安心して水道水が飲めている
理由なし、地震の時も水の配りよし
塩素臭くもなく何も問題ない
断水がない
水圧が下がることなく、キレイな美味しい水を飲める
カルキ臭や消毒の濁りがいい
水道水に困ったことは一度も無い
現在はそう感じているが、将来の基幹産業に利用する水資源が確保できるか不安。
浄水器を使っているが、特に不便なく使用できている。
20年前に比べるとおいしくないが、料理にも使えてよい。
水質が良い
酪農なので、使うことが多く、水道代も大きいです。
災害による断水はほとんどなく、安心して利用できる。
災害も少なく、年間を通して、美味しい水が利用できていると思う。
神奈川県に住んでいた事もあり、そこに比べ、中標津の水道水は美味しく感じます。

努力していると思う。
安定して供給されているから
蛇口をひねると水が出る
道外の水道よりはやはり良いと思う

そう感じない理由
管路が整備されていないので、時間帯により水圧が下がる
毎月の水道代は高いですね
公住の水はキレイではない。水道管が古くて汚い
塩素の臭いを強く感じる時がある
安全な水道水が利用できているのか？水道料金が安い(管内の中でも)
水道水を飲みたいと思わないので！！

問15 墓地の施設に満足していますか。

満足している理由
掃除してくれている
町内の墓地に殆ど行きませんが、公園など隣接しているから
ありがたく利用しておりますが、墓地の整備等で維持費を徴収しても良いのでは... (年間2,000円くらいで)
墓地内はいつもきれいになっていて気持ちが良い。
市街地近郊にあるから
区画が豊富
町の人口増減から考えると現状で良い
草刈りは計根別同志会で。水のみ場は町で整備していただいたため
利用がないが、問題を感じたことはない
駐車場をもう少しだけ広くしてほしい
墓地は利用しない予定
お盆などは交通整理もされている
きれいだし良いと思う
今は特に不満はないが、将来この墓をどうするのか悩み。(見る人がもういないので)
不便を感じたことがないから
出口が2ヶ所になって前ほど混雑しない
充分だと思う。
墓地の場所はあるのですが、墓地を作った方がよいのか？
春、秋の彼岸、お盆と草刈整備がされている
草刈や管理がきちんとできている。
近くで良い
用地の確保がなされていると思うから
いつもキレイで本当に助かっています。
こんなものだと思います。
町内では、墓終いなどと聞きますが、それも時の流れでしょうね。農家の場合は代々守っています。
第2墓地もできた。
共同墓地ってありますか？
第1墓地の通路をもう少し整備。
綺麗な環境になっている感じがする
トイレがある

満足していない理由
住宅地に墓地は必要なく、一ヶ所に総合しては
もっと墓地を増やしてほしい
後継ぎがいないので、永代供養とか散骨葬などを考える
まだ、お墓の準備はしていませんが、町の近い所は、もう一杯で俵橋地区は遠い気がしています。もう一ヶ所町内に墓地は無理ですか？
郊外にほしい
もっと町外れに設置してほしい
行ったことがないのでわからない
住宅地に近すぎる、墓地不足
現墓地の場所
道路の舗装化。泥道の改善
共同墓地など必要と思う。
雨降り後の道路の破損
車の交差ができないのが困ります。
今後は墓地が遠くなるので(市街地外)
通路が歩きにくい

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ(住環境)である」と感じますか。

そう感じる理由
町内会役員が頑張っている
公園が隣接している
歩いて買い物に行ける。児童館も近くで子ども達が遊ぶ場所には困らない
それぞれの家庭の環境保全に対する気持ちが強く、ゴミ出し、草刈り、除雪などしっかりやっているので
住みやすい

静かな住環境が確保されている
住民同士が清掃し合っている
生活の保障制度は別として、町自体は素晴らしい環境だと思う
みなさん優しい
問題を感じたことがない
犬の放し飼いがなくなってきている
50才を過ぎて田舎暮らしをしたいと思っていたので良好である。
ゴミ等の散乱が少ない、それなりに治安が良いと思う
町の外れに住んでいるので、夜は周囲が全体的に暗い。子供も多いので帰宅時が心配。
スーパー、病院が近い
道路整備以外は良い
道路環境がよい
自然がいっぱい！しかし、伸びすぎた木、腐ってきた木など、もて余している部分も。誰に頼んで切ってもらえば良いのか
近所は皆きれいにしている
郊外なので自然が美しい。
住み慣れているので
自然環境が豊かで商業施設が整っている。
事件がない
不便はないので
夜も安心して歩ける。
もう少し街灯があると子どもが安心。
道路も広くなり、街並みがきれいになった
酪農なので、地域団体が環境づくりに頑張ります。
自分の住んでる所は緑があり、空気が良い。
比較的良好と思うが、所により汚い。
最近道路沿いのハイマツが切り取られ、右、左折しやすくなった
近くに公園2ヶ所あり、他に運動公園があり、大満足です。
声がけも良い
コンビニや大型スーパーも近くにあるため。
家の前は排水穴がなく道路もアスファルトでない(100m弱)でも次々と新築されているので
緑、公園がある。
人があまりいないから

そう感じない理由
住宅街での工場・運送業による騒音
舗装されていない道路のほこりがひどい
町内会の整備環境が整っていない
街灯の整備が必要
雪の排雪をしっかりとやってほしい。事故を招かないため
大雪の時家から出られない。夜間除雪がない。
子どもがいる住宅街で公園がない。
堆肥の臭いがひどい。バイオ添加剤などの義務化で悪臭の対応をしてほしい
家畜の糞尿の臭い
急激な人口増、行政の立遅れ等による消滅直行止まり道。除雪車を入れる為、道路に面した私有地の無償提供等
自分(親の)土地の道路なのに誰でも通っている
戸数は増加しているが、環境整備が必要と思う
お店がない
上下水道がない。
春になると道路が悪い
住宅街に会社があり、冬、朝3時、4時に暖気のため、30分位重機のエンジンがかかる
朝、夕、車のスピード出しすぎ
住宅の建ち方が不規則
下水道がなく浄化槽でも良いのですが、汲み取り時にいないといけないうえ仕事していると不便(日も決まっているので)通してもらえるとうれしいです。

問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

そう感じる理由
インターネットで情報が得られる
町役場から連絡が来る
わからない事があった時、役場の係へ出向くと大変親切に対応していただけたので。
定期的に内容の確認等の連絡がある
自分に関わる問題は解決されているため。
高望みしない
役場で丁寧に説明を聞くことができる
配布された資料やパンフレットなどによく目を通している
保険、年金、困ったことなし
いくらもらえるか気になる
広報で取り上げている
ホームページが充実してきている
健康について、いろいろお話しできる。
年金相談の実施

年金定期便などのお知らせが届くから
年金をもらっているの。
広報などに載せてくれていると思うが難しい。
訳がわからないで税金を払っているのしか思っていないから。
自分で調べれば良いので

そう感じない理由
年々複雑になり知りたい情報が何か容易に判断がつかないこと
必要にせまらなさと情報をキャッチしようとしていないと反省
制度内容が非常に複雑でありわかりやすく利用できる情報の提供を願いたい
「知りたい」と思う機会があまりない
情報が少ない
積極的に調べないと、利用できないサービスや給付金が多い
どうしたらいいかわからない
将来の年金支給額などよくわからないことが多い。
深く考えていない
あまり情報を得る活動をしていないが、特に情報を目にするのがない
通知等の情報が少ない、分かりにくい(通知内容)
役場に行っても冷たくされる
入院、ケガ等で保険手続きなどどうしたら得かなどの情報が全くわからない
わからないことがたくさんあるが、気軽に聞きにくい雰囲気
町のホームページなどで調べられるとありがたい
家族が理解できていなかった
必要にせまられた事がないのでよくわからない
聞けば教えてくれるのではなく、こと細かい情報を伝えてほしい
目にしない
関係機関からの全般的情報は得られているが、日常的、日常生活に係る具体的解説等を希望している。
年金がよくわからない。
広報を読んでも、意味が理解できない(自分が悪い)
情報と現実が乖離している。将来を考えると不安が増幅している。「不安の一言」
釧路年金事務所が中標津に来ていても、仕事があるので、もう少し早めにわかると休みがとりやすい
本人が知ろうとしなかった
年金情報はたまに送られてくるので、なんとなく得られている
もっと年金の具体的な情報がほしい
上がったり、下がったりする

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

そう感じる理由
チラシ等で中標津産を見かけるときがある
乳製品、野菜
地元の産物を多く使い、地域の振興を大いに願っている。
酪農のまち「ガンバレ酪農！！」と思っているが、地域に還元してほしい。例、牛乳の無料配布等
購入時は意識している
常に出て食べている
計根別では農業者が多く、農業高校もあり、乳製品加工施設もあるため、身近に感じる
SNS等で中標津農畜産物を紹介している(よいもの)
スーパーに特産品コーナーがある。農業高校の製品
中標津牛乳はとても美味しく、地方の知人に送っても喜ばれる。
牛乳、チーズ、しいたけ等をスーパーで良く目にする
徐々に野菜出荷の種類が多くなっている
アイス屋の充実
牛乳や野菜は地場産が手に入りやすいから
地産品が多いので
おいしい
けっこう送ったり食べたりしているので
生産しているから
できるだけ地域の物、周辺の物を買うようにしている！！美味しい物が多いと思う！！
地元産の食料が購入出来る
地元の素材でのメニューや食料品の販売をしている店舗があり、とても良いと思う
加工研修センターに実習に行ったり、その他の加工場所に働いている人が身近に多くいる
農業関連に従事していたから
一般商品と別なスペースで販売しているから
主に地元の生産物を食することは良いと思います。
実家や知人の家で作っているの。
イモ
あまり買わないが、いろいろあるのは知ってる
用事なども年と共にバランスを少し考えています。
中標津製品をなるべく利用していますが、ほかの会社の製品より高い値段なので、全ての中標津製品でまかなうことは出来ません。
頑張っているので応援しようと思う。おみやげに使ったりする。

給食時の牛乳など
何より新鮮であり、安心できる。(地元産の生産拡大、消費が大事)
見た目で感じるだけ
地元なのに高い
なかしべつ産の物を見る

そう感じない理由
高額のため身近にない
値段が高いのでどうしても手がでない
地産地消にもっともっと積極的に力を入れ安く提供していただきたい
店頭に出ている表示されてない商品が多い
関係者の知人がいないので、身近に感じない。加工品をお店で買うだけ
身近にない
買い物に行った時、農畜産物のPRが少ないと感じる
地元のを積極的に購入しようとしているが、値段が高いものもあり、他の物を買ってしまうときがある。
町内の店に出品されているものは、品が少なく、身近には感じない。
意識しない
金額がちよっと高いイメージがあります。
農畜産物以外加工品があまりあると感じない。
商店に思ったよりも地物が少ない
中標津産と書いた肉なんかはある店ぐらいにしか置いてない
もっと地元産物をアピールしてほしい。
目にする機会が少ない(他の商品に埋もれて陳列されている)
中標津は良い所たくさんあると思いますが、牛乳だけでなく、チーズやその製品を使った加工品などもっと出した方がよいと思います。

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

満足している理由
子ども達が参観して楽しめるイベントが多くて良い
活気を感じます
食、チーズ、ソーセージ、肉、野菜とレベルの高い商品が多いと感じる(加工品が特に)
盆踊り、冬祭り、マラソンなど良いイベントだと思います。
お祭りなど楽しませてもらっている
夏祭り、冬祭りなどイベントにはよく参加し、楽しませてもらっている
イベントがたくさんあるので
露店が充実している
道立ゆめの森公園は素晴らしい！
人が少ない
スタンプラリーをまたやってほしい
冬場はイベントも少なめなので増えて出かける機会が増えるとうれしい。夏も短いので外で誰でも参加できるイベントが増えるとなんていい
きれいになっている
空港があるのがとても良い
中標津→開陽台しか思い浮かびません
おいしいお店が多くなった
個人的には満足しているが、灯台下暗しで資源に気づかず、生かされていないよう...
中標津の名産品が多くなってきてとても良いと思う
更に町独特な資源の発掘が欲しい
場所的に良い雰囲気だと思います。
おいしいイベントが多い。
開陽台のPR
よくやっていると思う
景観はきれいだと思います。しかし、もっといきいきしたものを感じられると思います。
何より継続が大切
参加している
特に不満なし
まあまあ美味しいところあり
空がキレイで自然があって近くに温泉もある中標津は魅力ある街だと思います。

満足していない理由
通年同じイベントしか行われていないのではないかな
PRや情報が少ない
全国区に向けての観光イベント、誘致
商工観光祭など盆踊りなど早くするので、なんとなくおもしろくない
年々イベントなどが縮小しているような気がする
食については不満
真に観光資源に活用できる資源があるか？
もっと大々的にイベント活動を行うべき
あまり観光資源として何か感じることがない
イベント、景観が少ない
町のPRが出来ていないと思う。メインの観光がなにかわからない

あまりイベントに行けていない
インパクトのある観光スポットがないので、悲しい。イベントは色々あり楽しい
一生懸命やっているのにもかかわらず、仲間内だけで楽しんでいる感じ。お祭り人間的な人が少ないイメージ。盛り上がり欠ける。町民性なのか
イベントに参加したことが無い。内容充実PR不足かな？
いいものは沢山あると思うが、どれも中途半端な感じです。
根室市に続く中標津(大型酪農)としての特徴等PR不足。もっと前面に出せる物が少ない！
イベントがマンネリ化してつまらない
もっとイベントに町民が協力してもらえるといいのに
継続されていないものもあり残念。
足が向いていかないのが現状です。
なさすぎ
観光資源が少ない。それに伴いイベントも少ない。
観光アピールが少なく感じる。
中標津＝牛・開陽台くらいしか名が売れていない？
町外に魅力を発信する機会が少ない。(標津は水キラリ、別海はえび祭り、ジャンボホタテバーガー)
目玉がない

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

満足している理由
周辺と比べ雇用はありますが、更なる雇用先の確保
通年雇用の職場があるから
特に問題ない
仕事はある。マッチングの問題
子育て世代が働きやすい職場や環境が整っているから
働く気があれば仕事はたくさんある
なんとか働く場所があれば、満足していると思う
通年で働けるのはいいが、もう少し賃金があがると良いのに！
経営者の体力強化(企業者として)

満足していない理由
若年層が町外に流出しているので、雇用創出はされていないのではないか
利用していない
年寄りも働ける場がほしい(NPO法人で趣味の物作りなどテレビで見たとあります)
もっと色々な場面で特性を生かせる職場、職種があると良いと思う。
所得向上が必須であり、安定した生活水準が確保出来る雇用対策が必要
もっと通年制度を充実させてほしい
人手不足が続いている
求人出しても納得のできる人材が少ない
中標津に限ったことではないが、北海道の平均所得額が低すぎる
若い人が残る(来る)要素が少ない
雇用条件が少々厳しい所がある
時間・労働の割に賃金が少ない
雇用が少ないと思う。企業が少ない
高齢者の就業機会が殆どない
仕事がない
9:00～13:00までのパートがない(子どもが幼稚園の間働きたいが時間が合わないので、町外で働いている)
あまり仕事がないイメージ
雇用したいが人材がいらない
病院などで人員が少ないので
不安を感じて町外医療機関に行くようでは×
65歳以上の働く場所が少ない！
高校生や高齢者を働かせることで、雇用者の教育スキルもあがると思う。ワンオペが普通だと接客が雑になると思う。町の接客スキルが低く感じる。
正規雇用、冬期の雇用など給与水準が低い
酪農で緊急の場合としてヘルパー事業がありますが、なかなかすぐ取ることが出来ない。
現状では、通年雇用先の確保が難しい。
子育てとの両立ができるようみんなが短期間ずつ働けるような体制があればうれしい。
雇用促進のチラシよくみるが(食や林業)、国からのお金なのでもう少し大事に使った方がいいのでは
事務系の仕事が少ない
若い人に未来が見えていない
通年雇用ですが、有休がなく、休むと減給なので
人材の確保が難しい

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

満足している理由
医療救急が早い
今のままでいい
救急車やドクターヘリが充実している
土日の町立病院で午前中小児科医がいるのはありがたい。しかし不妊医療をもっとしっかりやってほしい
救急車を利用したことがあるが、とてもお世話になり大満足です。

町立病院を持っている。
入院していたことがあるが、病院はよくやっていると思う。
地方町村として大変努力されていると思いますが？
大きな手術などの時、北大などから医師確保してくれるので。
ドクターヘリが飛ぶのが大きい

満足していない理由
サービス業としての認識が低いのではないかな
腕のある医者
町立病院での診療体制で全ての部門にての医療スタッフを揃え、町民が必要以上に他市町村への通院がなくなるような努力を願いたい。
根本的な医療形態の矛盾
医療、過疎になりつつある
町立病院の医師不在、出張医のみの科はなんとか常駐にしてほしい
専門が少ない
町内医療機関にかかっても病名がはっきり出ず、町外の病院にかかることが多い
病院の先生が信用できない
町内医療機関で完結できる医療体制を強く望む
診療に不満がある、長期に検査を受けても病気の内容がでない
まったくもってこの町の医療は終わっている。充実を早急に求む。
病院の待ち時間が長い
良い病院がない。安心して受診できない。子供が風邪の症状でインフルエンザの検査もなく耳も診てくれず、中耳炎を心配したこともある。
病気のことで心配になると釧路に行ってしまう。
信用できる機関が少ない
病院は大きいけど、常勤医が少ない。
町立病院等があるも、救急時は別地域で対応しないといけないうこと
町立病院の医師が傲慢すぎる
町立病院の医師確保(出張医でなく)
病院の充実をしっかりとしてほしい
良い医者がいてほしい。義母が診てもらったが、誤診であり、大変なことになったため
高度な設備が全くない
病院の診断が適当。通い続けてて良くならず、釧路行ったら重病！みたいな話をよく聞く。
夜間の救急に不安を感じる
常勤医が少ない
町立病院の職員の対応。診療科(泌尿・眼科)の医師の増員
専門医が少ないため、釧路などに行くのは大変
ドクターが少ない。今後増々高齢化となるも、眼科をはじめ少なくなってきた。
災害時医療体制に対する町民の理解度が浅い。
町立病院の医師不足、病気をきちんとみれる、みつけれられる医師が少ない。不安がある。災害を想定したことがあるのかとても不安がある。
先生不足だと思う。
子どもを預けている時間内に眼科が終わらず困っている。できれば常勤医1人でも確保できたらと思う。外科医は1人不安な方だったので変わって良かった。
大きな病院があってもちゃんとした検査をしてもらえない状態なら釧路の病院へ行ってしまう。
眼科、泌尿器科の常勤医が少ない。災害時の医療体制がどうなっているかわからない。在宅へ往診してくれるドクターが少ない。
救急医療の受入体制
地元診療が出来ず、バス等で遠くの通院が苦痛である。
病院の内科、外科、以外の診療科目が充実していない。
町立病院の午後診療
町民に体制のPRが少ないため、無関心の人が多いと思います。
安心して受診できない。優秀な医師の確保をしてほしい。
病院に活気がない。医師に対する信頼性がない。訪問看護が充実していない。
医療の面であまり良い話を聞かない。
医師の固定化、専門医不足(町外で治療)
医療体制を信用していないから
町立病院の充実がなされていない。
ほぼ町立病院のみで高齢になった時にどうなるのかと心配なところもある

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

そう感じる理由
地域が一体となって子ども達を見守っていることが感じられる
ラジオ体操で子どもを見る
通学時など見守る大人の姿が見受けられる。尚更、見守る方が増えてほしい
働きながらも子どもを預けられる所が充実していると思う
安心して育てられていると思いたい
夫と祖父母の協力が得られている
学力の向上が課題
会話がある
早朝からの通学指導や夜間のパトロールが実施されている
子育て支援の充実
自然の中でのびのび生活できている
子どもと接することが少ないので、分からないが、知らない人(自分)にもあいさつしてくれる子が多いことは感動に値する

教育環境が比較的良い、事件、事故が少ない
児童センター
病院も近い、幼稚園も近いので
子育てに関するNPO法人の存在が大きい
子どもたちの明るさ
コンパクトな市街地と人口規模、都会と違いまだ住民に心の余裕があるように思う。
保育施設の数が増えたと感じるから
町内会の見守りや児童館があるため安心
防犯活動の充実
郡部で閉校となり、孫もバス通学しています。バス時間に合わせ児童館も利用しており、安心もあります。
深夜間の徘徊などは見られない。児童館の充実など
一部で問題あるケースもあると思うが、概ね良いと思う。命の大切さや人との関わりを教えてほしい。
町内では声かけは多い。
周囲の子どもの数が多い
期間限定ではあるが、横断歩道等で誘導。地域でパトロール等

そう感じない理由
都会化しているのでは？地域の子供たちに声掛けなど、もっと積極的にできる環境が必要
事故なく子や孫が巣立っている
変質者が多いから(メール等により連絡がくる)
医療費が3才までしか無料ではないこと。子供を生んでも補助が良くないので、子作りしたいと思わない。標津町はいいと思う。
最低限の生活はできるが、+αの事業がほしい。仕事をしていても十日祝の預け先や病児保育も訪問があると助かる
子どもが大きくなり、接する機会がないが、児童館が近くにない、どこで遊んでいいのか？
別海、標津との差が激しい
変質者が出るため、地域の人が一帯となり防犯に力を入れてほしい
優秀な高校がない。学力レベルが低い
すぐ子どもがインフルエンザにかかると聞くとから保育所などの不安がある
道路で遊ぶ子どもが多く、安全でないと思う
障がいがあっても幼稚園で加配をつけるようにしていった方がよいと思う
子どもに何かあったとき(夜間等)救急外来で対応できるか心配
よくわからないが、両親とも働いているところが多いので、安心して育てられているとは思わない。
下校時(児童)の見守り。地域で今出来ることたくさんあると思う。児童を見る目を高めてほしい(関心増)学校と地域の連携強化！！
周りから感じる

問39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

そう感じる理由
高齢者同士の付き合いがあるように感じる
周りの方が施設を利用している
デイサービスなど充実していると思う。
そのような活動がされていると思う。
認知症に誰もなりたくない。人間関係をよくし、人の話を聞くこと(受入れ)とか年をとってもできることはさせて頂くプラス思考で居たい。
近隣住民と楽しく暮らしているから
救急体制も充実しており不安はない
多くの高齢者が町の行事に参加している
高齢者の人々が生活できる施設が人口の割には少ないと思う。別海町の方が多い。
年寄りの生きがいが多いと感じるから(野菜づくりなど)
市街は色々参加しやすいが、市街以外の方をどうしていくかが課題
あまり接する機会はないが、昔から住んでいる方がほとんどのようなので安心はあるように思う
楽しそうにしているのだから
周りが高齢者がいきいきしているから
身近にいらっしゃる方は、お花の手入れ等お元気に生活していらっしゃるため
町内会などでサロンなどが行われていて多数参加している
環境はある程度整っていると思う。その人次第だと思う。
冬期間の健康保持への施策が欲しい。ウォーキング路の整備等
やろうと思えば、畑で野菜を作ったり、老人クラブに参加したりと機会は多くあると思う
気軽に声を掛け合うことです
町内で趣味を楽しみたいのですが、なかなか選ぶだけでなく、釧路へ出向く人もいます。
シルバー人材センターなど高齢者の働く場所が確保されている。
働いている方が多い。
サークルなども多い
特に不安だと聞いたことがない。

そう感じない理由
何かと不便が多い
個性を生かせる、さまざまな講座等、年寄りだからという狭まった選択ではなく、色々な活動の場があったらいいと思う
生きがいがない
もっと老人の集会所があればいい
年金等(中小企業)

独居老人宅へのサービスが悪い。お金のある高齢者しか安心して暮らせない。老人ホームに入れない
温泉に行くと高齢者のぐちを聞かない時がない
高齢者を支援する体制が弱いと思う
老人ホームの充実
どういった生きがい作り等があるのかが分かりにくい
高齢者が使う施設(遊び場)などがない。
完全な車社会となっている
安心して暮らせるとは思わない。まあこれは町内としての問題ではないのだろうが。
デイサービスやショートステイの利用が困難。老人施設の入居ができない
高齢者の活躍の場があまりない
高齢者の交通の利用が不便
各町内会等で高齢者サロンなどの活動が見られるが、参加者が限られているような気がする。高齢者同士の助け合いが足りないと思う。
自分も集会時に出席して、出てくる話は苦しい話のみ。安心して暮らしてはいない。
1人暮らしが増えている。
高齢者が集い、話し合う場づくりの徹底が必要。高齢者の交通手段の充実が必要
高齢者により添った街ではない。
その人その人の生活歴などあると思うが、気軽に行って、話せたり過ごせる場所、催し、サークルなどが沢山あってほしい。会館の活用など。
車の運転が出来ない人は、家に閉じこもりがちの人が多い
年金事業所(日本年金機構)の運用の在り方徹底。再考すべき。機関への徹底監視！！
差が広がっている
いつまで1人でがんばれるか、何歳になったら自動的に施設に入れればいいのかに
パチンコに通う高齢者をよく見る
車を持っていない高齢者は暮らしにくいと思う

問41 障がい者サービスが整っていると感じますか。

そう感じる理由
親が利用した
自分は障がい者とあまり接することはありませんが、本来整っているべき
働ける場が沢山あるのはいいと思うから
整ってきつつあると思う
整っているのかどうか注意してあまり見ていないので、詳しくはわからないが、サービスを目にすることもあるので
考えたことがないので、不満に感じることなく、サービス充実しているのかと思う
東武で色々イベントをやっているのを見かけるので
障がい者の職場及び施設があるようなので
活動が不透明、分かりづらい
よくわからないが、大型店舗でのエコサービスなどやっているのでは？
バリアフリーができています
社協等相談に乗ってくれる機関がある。
グループホームも増えてきている
高等養護学校がある。働く場が増えてきていると聞く
グループホーム、就業作業所があり、受け入れが出来ている。
デイサービス等それなりに充実していると思う。
福祉サービスの車両をよく見る

そう感じない理由
情報提供が少ない
道路、ボランティア
障がい者が家族がサービスや相談窓口についてよく理解して利用できているか疑問
障がい者施設が増えたと思います
道路環境も含め、まだまだ改善の必要性あり
もっと整えてほしい
特別良いと感じたことがない
必要な人に情報が伝わっていないのではないかな？
利用したことがないが、あまり施設がないと思う。(養護学校は別として)
やはり家にこもっている人が多々いるような気がする。
聾学校がないと聞いたから
どのようなサービスがあるか分からない
障がい者の活動の場をあまり見ることが無い
引きこもり若者が連帯感を生み出せる施策。
幼稚園で加配がつかないこと。保育園に障がいをもった子が増えて先生の負担が多すぎると感じる。
サービスとはどういうことを指しているのかわからないが、自分の考えでは、遅れていると思う。
障がい者により添った町ではない。
あまり見かけたことが無い。ということは、サービスが充実していないのだと思う。
車イスの人が1人で外出できない。道路が悪い。店に段差があるので入れない。
健康者と対応に差がある。助け合いの言葉・行動が必要！！
道路、車イスでは散歩は大変です。
施設内に配慮は感じられない

問4.3 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

そう感じる理由
親が利用した 病院の相談電話等 どこかに相談すると、渡りを付けてくれると感じている 民生委員さんより毎月のはがきが楽しみ。アイデアも感心している。 社会福祉協議会で相談できる 町に相談すれば、はやく分かることが多いと思う。 役場福祉課での相談 がんばっていると思います 役場へ行ったら相談できそう 民生委員がいるので、相談できる 社協など相談できる機関がある。 相談の案内など病院で見かける 集団生活になじめない児童・生徒・社会人への対応専門職の充足。 保健センターで相談すると親切に対応してくれる。 役場など相談すると良い 役場の職員の方や児童デイサービスの先生の対応が良いので。保健センターは少しもの足りなく感じる。

そう感じない理由
相談場所・窓口がわからない 障がい者、家族が相談できているのか、どうしたら良いか悩んでいる家族も多いのでは。 情報の提供が少ない 身近なところに実例ないので... そのような制度の活動しているんですか？直面したことがないので、なにも感じません。 困ったことがあった時、どこに相談すべきか調べても分からなかった 相談する場所がない 福祉制度・活動をしているのかわからない 相談内容によってどこに相談したらいいかが分かりにくい。知り合いがいると相談しにくい 今のところ利用していないため 相談できる所も限られていると思う。支える福祉制度、活動など感じない。 専門のスタッフが少ない。 相談できるところはあるが、その後がなかなか良い方向に進んでいかない。 身内に障がい者がいたが、福祉の制度がわからなくて、とても苦労していた。 相談できる人がいない(誰に相談すべきかわからない人が多い) そのような施設を知らない そのようなPR聞いたことがない。 広報不足に感じる

問4.5 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

そう感じる理由
問題報道を目にしない 身辺から不都合なことを聞かないので 楽しく学校へ通えているから 子や孫が素直に育ったからです 自然豊かな環境下での学校は心豊かな学童が育つのではないかと 指導者が豊富 現在まで犯罪となる事件は聞いたことはない 新しい校舎での学習は良い環境と思う。 色々スポーツ教室をやっているのだから 教育レベルは知らないが、あいさつできる子が多いのはすばらしい 教育環境が整っていると思う 幼稚園でたくさん経験させてもらってるので 悪い話を聞かないから 礼儀正しい 道ですれ違う時元気にあいさつしてくれる。きちんと教育されると思う 特に問題はないため 冬期間の通学路を除いて。 施設や備品などは整っているのだと思うが、人的な所では、良い時とそうでない時があると思う。 施設の充実(家庭と学校との連携不足、コミュニケーション不足) 児童が体育館に通うのをよく見る

そう感じない理由
学力テストの結果が低いので、環境が良いとは思えない 現代社会では難しいと思うが、教員の立場が弱く、指導範囲が狭い 飲酒、タバコが吸えれば大人、二十歳になれば何しても良いと思っている子どもが多い 児童館での活動、指導員の関わり方 良い話を聞かない 学校によって児童の性格差がある あまりにも過保護で強い心が育たない

問50 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じますか。

そう感じる理由
文化会館が効果をあげているのではない
PR紙が入っているのを見る
発表会などがあると聞いています
外部からの招聘や地域の方々の発表の場、機会があるように思う
充実してはきているが、内容の見直しは必要と思う
町内会活動をしている
音楽関係にはよく聴きに行くから
イベントの充実
しるべつとが混んでいるから
しるべつとでやっていることは知っている
文化会館でのイベントはよく参加しているが、いいと思う
色々なイベントや発表会活動をしていると思う
内容詳細です
色々な発表会やライブも見れるようになってうれしい
私は行かないが、周りがよく文化会館へ行っている
しるべつとがある
様々なイベントよく見に行ってます。
文化会館で展示しているので、しるべつとで色々鑑賞できる
発表会等の募集を見る
しるべつとでの発表の場があるので良いと思う
秋の芸術の発表は定着していると思う
その方向に努力されつつあると感じている
イベントをやっているチラシをよく見る
釧路の友人に「中標津はいいね」と言われた。
十分とは言えませんが、話題の方々や色々なジャンルの芸術が鑑賞できる。
しるべつとが活用されていると思う。
コンサートは楽しんでいます。

そう感じない理由
充実しているとは思えないが
もっとあってもいいのでは
イベントが少ない
日程などPR不足では
発表会などの時間が合わない
高齢化が進行（リーダー不足）
関心が無い
認知が不足している？
行く時間がないので

問54 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

そう感じる理由
平等社会が通用していますが、本来不平等である部分があっても当然だと思います
どこでも男女が一緒に働いているから
私は自分の仕事を夫の家族の協力も得て無理なく続けることが出来ているので
テレビ、新聞など見ているから
女性で働いている知り合いが多い
男女差別はないように感じている
最近では女性議員等が増えている
少しずつではあるが、男女の役割分担が若い人の仲に解消しつつあると感じる
女性が男性に引けを取らず、女性が出世できる社会になってきたと思う
女性もバリバリ働いているので
女であることに弊害を感じる場面が減ってきていると思う
人権・男女共同参画の施策が見えない
昔に比べるとなっていると思う
そうでないと困る
男女の平等が成り立っていると思う。
集団の大小によって進捗状況に差はあると思うが、...
男女平等で取り組んでいると思います
感じますが、よくわかりません
現在は、女性が多く参加していると思う。

そう感じない理由
従来と代わり映えていないと思う
管理者の意識の欠如
まだ男尊女卑
1次産業が多い地域なので、どうしても男性中心の社会になっていると思う
周りの女性は「私は女だから〇〇するのはおかしい。」というのをよく聞く

今一つ全体的に見直しが必要だと思う
働く場所がない(子育て中の午前中だけなど)
女性が働きやすい環境になっていない
フォローが少ない(お金がかかる)
育休などの理解が足りない気がする
まだ男性が子育てのために休みを取りづらい
仕事は平等に参加できていると思う。家庭では、まだまだ女性の負担が多すぎる
やはり男性先だと思う。
女性の管理職が少ないことに違和感を感じる。
パワハラ、セクハラ等、人としてのマナーや優しさが足りないのでは(正義感も)
平等はまだまだな感じ(現実)女性の活動場を増やしてほしい。
指導者の考え方で平等にならないことが多々あります。
女性優先なことが多い
女尊男卑の世の中に感じる

問59 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

そう感じる理由
漁業問題
身近に元島民、家族、2世3世がいる
地域的に
返還に向けての様々な取り組みの継続と次の世代への継承が必要
根室市に夫の仕事関係で10年ほど住んだ時、北方領土返還に向けて、町を上げての取組にも参加してきました。大切な問題です。
地元の問題だからです
日本固有の領土として早期返還を求めているが、国としての動きが鈍く、問題意識が地域限定的となっている
日本固有の領土である
返還されるとたくさん漁ができる
もともと日本の領土でありながら、理不尽に奪われたから
家族に元島民がいる
中標津町の住民だから
根室市出身なので、子どものときからいろいろな話を聞いてきた
距離的に近いから
じいちゃんが関係しているから
海岸線から見る国後島
日本固有の領土だったため(わずか70年余りまで)
戦前・戦中・戦後の島の姿を見てきたから。
お互いに身近になれば何か得られると思います。
中標津町にも関わる身近なことです。
根室、標津、羅臼に出かけますと、目の前に北方領土が見える。
元島民の方々も多いし、近い場所であり、魚も食べたい。
現実には厳しい。住民の関心度が薄い。
2世なので
北方領土とは、どちらの言い分が正しいのかわからない
TVの影響
こちらに来てから領土も見えろしと思うようになった

そう感じない理由
ロシア政府が返還するとは思えない
自分にかかわりが少ないから
北方領土に関係のある親族などがいないため
毎年同じようなデモを繰り返していますが、政治がらみであまり進展がなく残念に思います。
知人がいない
申し訳ないが、北方領土問題の知識がない
例えば日本返還になったとして、北方領土を発展させるとは思えない。漁の区域だけが問題かと思う。
道外から来た人間にとってはニュースや教科書で知る程度の知識しかない
盛り上がりを感じない
戻ってきていない
何も動きがないから
意識低いですよ(海沿いに比べ)
何か今や一応返せーと言っておくれ...みたいなイメージ
世代が変わりつつあるので、身近かと言われてもあまり感じない(親世代も根室出身ではない)
署名くらいしか関わりがないため
北方領土がどちらのものでもいいからそこに住んでいる人たちの生活を考え、もう少しお互いの土地を大切にしてほしい。
具体的に何が問題なのかしっかりと把握していない。
どうせ還ってこないと思う
みなさんが騒いでいることが良くわからない
町内であまり耳にしない

問61② あなたは、今後(今後とも)どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。

仕事があるうちは難しいので、終えたら参加したいと思う。

問62 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

そう感じる理由
現在知りたい情報が特にありませんが、大多数が知りたい情報は公表することが大切だと思います。
必要な時に必要な情報を提供してくれていると思う
広報中標津などで感じています
毎月の広報紙にて情報が入手できている
常に公開している
広報紙を通じておおむね分かる
町・職員に必要事項を尋ねると、とても丁寧に教えてくれる
広報紙が届くので、読んでいます
ビギナーなど読んでいます
お知らせ冊子がありがたい
広報紙及びFMはな
広報紙にのっているから
広報紙・ライフマップ・各種情報類で役場の情報が伝わってきている
町だよりなど見ているので
特に問題ない
広報紙の内容が良い
インターネットに情報がちゃんと載っている。
広報中標津にて
町民の要望・希望の欄も欲しい(1~2名程度でも)
町の広報紙、その他で得られる。
広報紙、連絡、回覧板等で徹底開示(IT操作できる人が少ない。特に高齢者)

そう感じない理由
モデル事業を実施してもアンケート結果や効果がHPに掲載されていない
興味のある工場や農場など個人的にでも見学できると良いです。
役場の人たちの態度が悪い
中標津広報楽しく読んでいます
情報に関しては知りたいことに個人差がある
広報紙等では不十分
全体的に雰囲気が悪い
わかりづらい
暗い
あまり身近な感じがしない。行きにくい。個人情報に筒抜けな感じ。
窓口が不親切
知りに行く機会がありません
職員の不祥事の開示がされていない。処分が甘い(公務員の自覚が足りない)
HPの充実をお願いしたい。知りたい情報を探しにくい
広報紙などではあるが、一部であり、その他のことは良くわからないし、むずかしい。
広報紙を読めば情報は得られるが、先日の冬季オリンピックの応援などの集まる場所の情報などはもっと宣伝してほしいです。
広報紙を見ることがなかなかないのが現状です。
もっとHPなどに情報を載せて欲しい
何事にも財政、財政。これを補う努力がなされているのか

問63 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

そう感じる理由
分かりやすく説明してくれる
近年利用したことはありませんが、当然のことだと思います(利用する人全員に)
皆さん親切でありがたいです
窓口の方によるとと思います。人間性というのか、好感が持てる場合と嫌な思いをしたこともあります。
利用しやすい
わかりやすい
年に1度くらいしか行かないが、困ったことはない
みなさん、淡々とお仕事されている。いつも空いているので、待ち時間がなくて良い
子育て支援?の窓口はとても親切だった
分かりにくいと思ったことはない
窓口はわかりやすいが、明るい対応を望む
いつも対応が良い
何回か行った事があるが、ちゃんと表示してあって分かりやすかった気がする
親切に対応してくれる。
分からないこと、困りごと、対応が早い
臨機応変な対応がされている。(休日・時間外)
聞けば教えてもらえる
親切で利用しやすい
若い職員さんが分かりやすく説明してくれる...
不便は感じない
老人に分かりづらい点があります。
説明をちゃんとしてくれるので

あまり利用したことがないので、はっきりとしたことは言えない。
別に普通です！
いつも利用する窓口は利用しやすいと思う。ほかの窓口見ても同感です。
表示もあり、わかりやすいし、困っていると、声をかけてくれ案内しているのを見かけた(以前)今はわからないが。
あまり行くことはないが、わからなくても、近くの人に聞くと教えてくれる。
上の看板を見ればわかる。書くところが通路ないので狭い
各窓口のプレートが見やすい

そう感じない理由
総合案内窓口の利用と案内人が必要と思う
利用する時いつも聞いている
一階ロビーに全館が一目で解るパネルを設置しては？
どう行か迷う時がある
サービス業とは違う仕事だが、暗くてあまり利用したくない。(人の話し方、表情など)
転入の手続きの際、書類をもらったが口答の説明がなかった
笑顔が足りない。もう少し親しみある態度を取ってほしい。無愛想だ。
とにかく暗い(活気がない)
1階の奥のほうが少し複雑に感じる
あまり行く機会がないので
保育所のことを聞いた際感じが悪かった
窓口にいる職員が事務的。愛想が今一つない
わかりづらい
最近行っていないのでよくわからないが、年金の事務手続きの時は教えてもらった
対応が悪い。無愛想。
ごちゃごちゃしている。
行く度に迷っていますので。1階は良いのですが。
机の上が汚いのがみえていたり、ごちゃごちゃしていてだらしない。課によっては、知っている前提で話してくる人もいて不親切。若い子は丁寧だが。
行きづらい。どこの課に行けば良いのかわからない時など案内の方がいてくれると良いと思います。
各課に表示はあるが、もう少し色を使うなどして明るくしてほしい。(雰囲気も明るくなるし、もう少し工夫ができるような気がします)
窓口担当者の勉強不足。(特に電話で照会時、わからなければ先輩に聞いて、すみやかな対応を)
明るさがない
役場の字を太く大きくした方が分かりやすい
行く所を必ず探しますし、人に聞くようにしています。
窓口の場所がわかりづらい
役場の窓口を利用したことがない。
狭い！
役場の職員は愛想がなく冷たく感じる。

V【別添】町税等の納付方法に関するアンケート調査結果

【別添】町税等の納付方法

(1) 町税等の納付方法について

問Ⅰ 納付方法の一手段として、クレジット納付を導入した場合、利用したいと思いますか？

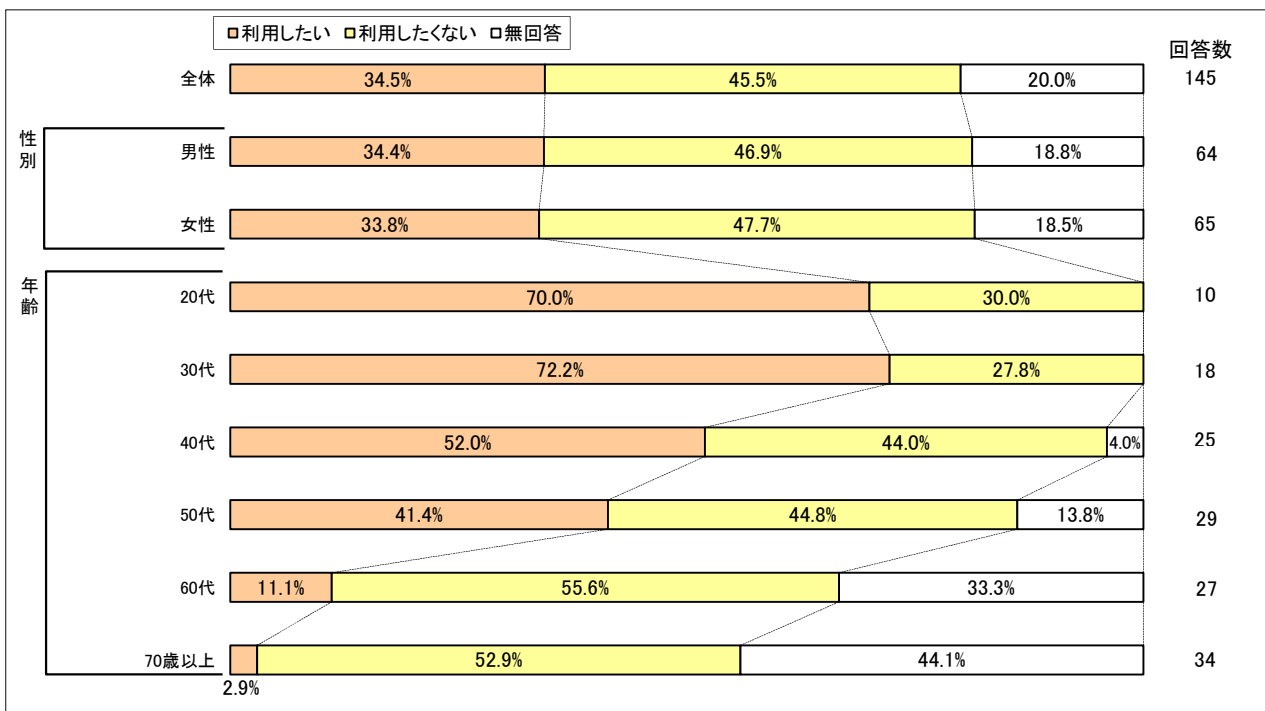
● “利用したい” が34.5%、“利用したくない” が45.5%。

クレジット納付を導入した場合に利用したいかについてたずねたところ、「利用したい」が（34.5%）となり、「利用したくない」が（45.5%）となっています。

性別の“利用したい”人の割合は男性が（34.4%）、女性が（33.8%）と男性が0.6ポイント上回っています。

年齢別の“利用したい”人の割合は30代が72.2%となっていますが、70歳以上は2.9%と低くなっています。[図表Ⅰ参照]

図表Ⅰ 町税等のクレジット納付を導入した場合利用したいか（全体、性別、年齢）

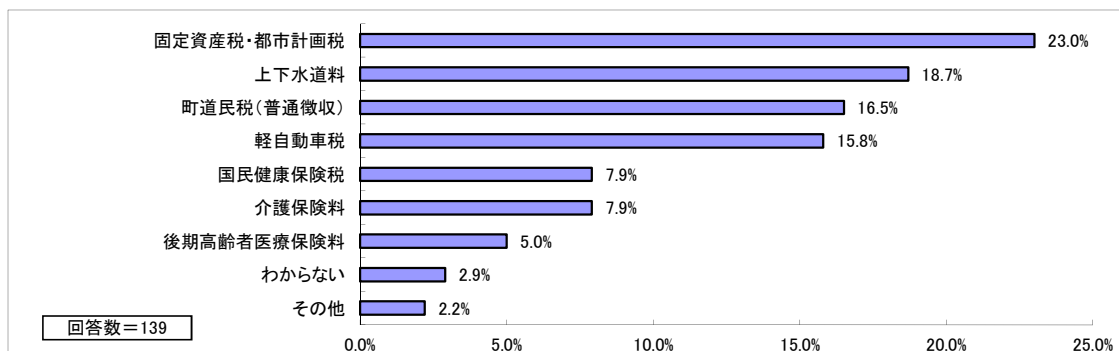


問Ⅱ 納付方法の一手段として、クレジット納付を導入した場合利用したい町税等がありますか？【複数回答】

●「固定資産税・都市計画税」が第1位。次いで「上下水道料」、「町道民税（普通徴収）」、「軽自動車税」、「国民健康保険税」の順。

クレジット納付を導入した場合利用したい町税等についてたずねたところ、「固定資産税・都市計画税」（23.0%）が第1位に挙げられ、次いで「上下水道料」（18.7%）、「町道民税（普通徴収）」（16.5%）、「軽自動車税」（15.8%）などの順となっています。【図表Ⅱ参照】

図表Ⅱ クレジット納付を利用したい町税等について（全体／複数回答）

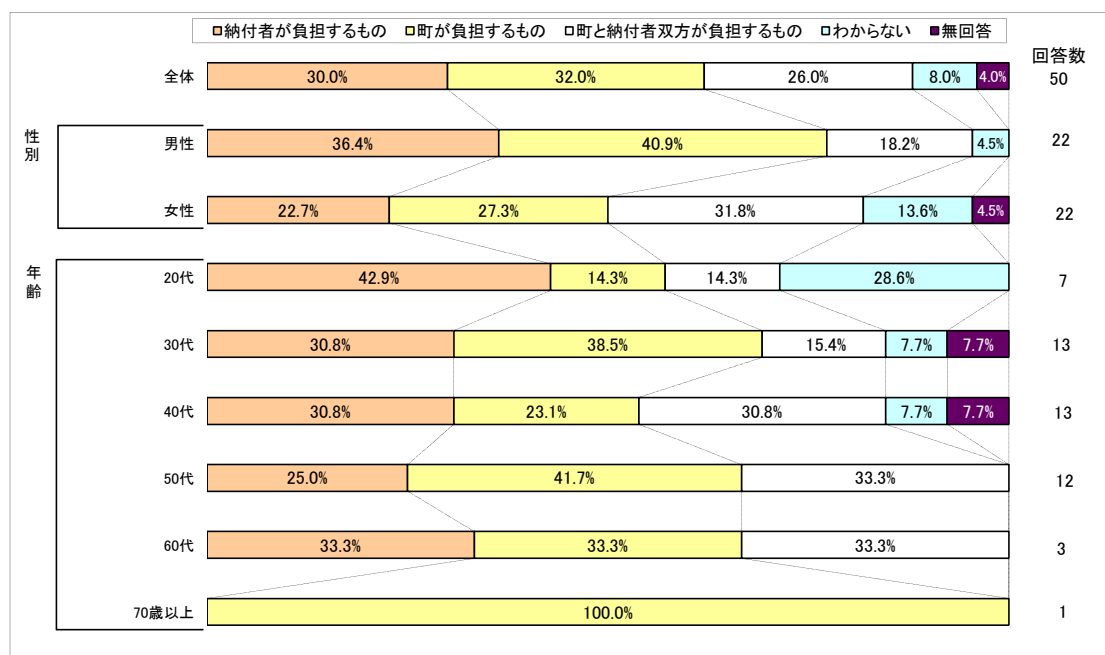


問Ⅲ クレジット納付を導入した場合、手数料についてどのように思いますか？

●“納付者が負担するもの”が30.0%、“町が負担するもの”が32.0%。

手数料の負担についてたずねたところ、「納付者が負担するもの」が30.0%となり、「町が負担するもの」が32.0%、「町と納付者双方が負担するもの」が26.0%となっています。【図表Ⅲ参照】

図表Ⅲ 町税等のクレジット納付の手数料について（全体、性別、年齢）



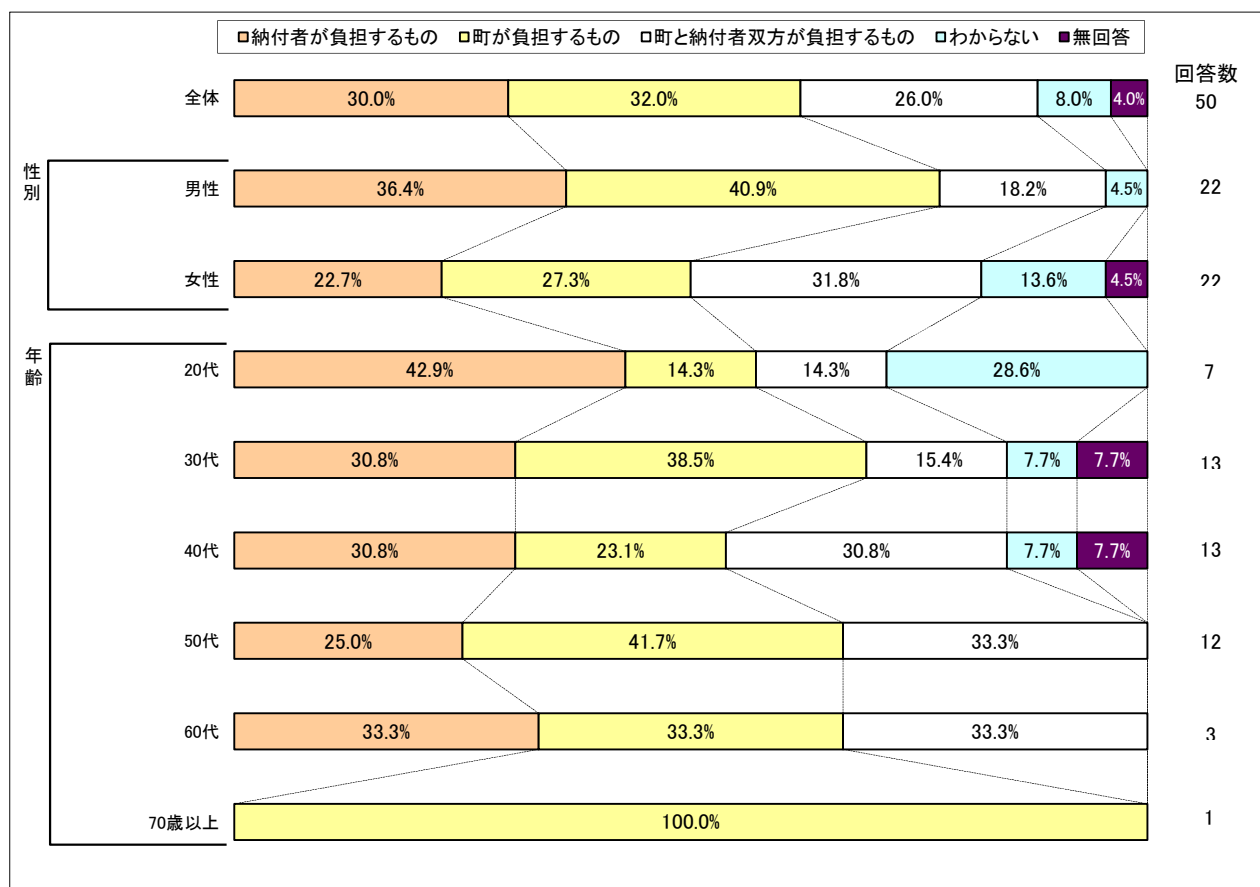
問Ⅲ クレジット納付を導入した場合、手数料についてどのように思いますか？

- “納付者が負担するもの” が30.0%、“町が負担するもの” が32.0%。

手数料の負担についてたずねたところ、「納付者が負担するもの」が30.0%となり、「町が負担するもの」が32.0%、「町と納付者双方が負担するもの」が26.0%となっています。

[図表Ⅲ参照]

図表Ⅲ 町税等のクレジット納付の手数料について（全体、性別、年齢）



参考資料

《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート ご協力をお願い

町民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、中標津町では、今後のまちづくりを進めるうえで指針となる第6期中標津町総合発展計画に基づいて各種取組みを計画的に推進しております。

本調査は、町の取組みに対する町民の皆様の声を調査し、今後の町政に反映することを目的として、町内にお住まいの20歳以上の方の中から500名を無作為に抽出してお願いしております。

このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することとはなく、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

まちの将来像「空とみどりの交流拠点・中標津」を目指し、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいという趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いします。

平成30年5月

中標津町長 西 村 穰

-
1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
 2. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ指定していますので、おまちがえのないようお願いします。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
 3. ご記入いただいたアンケートは5月31日（木）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
 4. このアンケートについてのお問い合わせは、下記の連絡先までお願いします。

中標津町 総務部 企画課

電 話：0153-73-3111（内線327）

FAX：0153-73-5333

あなたご自身のことについてお伺いします。

問 1 それぞれの項目ごとにあてはまる番号1つに○印を付けてください。

(1) あなたの性別	1. 男性 2. 女性
(2) あなたの年齢	1. 20歳代 4. 50歳代 2. 30歳代 5. 60歳代 3. 40歳代 6. 70歳以上
(3) あなたの職業 (※主たるもの)	1. 農林業 5. パートタイム・アルバイト 2. 製造業・建設業 6. 主婦(夫) 3. 卸小売業・飲食業 7. 無職 4. その他サービス業等 (公務員を含む) 8. 学生・その他
(4) あなたの通勤・通学先	1. 町内 2. 町外 3. 該当なし・その他
(5) あなたの家族構成	1. 夫婦(子どもはいない) 4. 単身(あなた1人) 2. 親子(2世代) 5. その他 3. 親・子・孫(3世代)
(6) あなたの出身地	1. 中標津町 2. 根室管内 3. 道内 4. 道外 5. 国外
(7) あなたの居住地	1. 中標津市街 2. 中標津町農協区域 3. 計根別市街 4. 計根別農協区域
(8) あなたの居住年数	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上20年未満 4. 20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 感じている | 3. どちらかといえば感じていない |
| 2. どちらかといえば感じている | 4. 感じていない |

問 3 定住意向についてお伺いします。
①あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい | 3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない |
|--------------------------------|--------------------------------|

※①で「1.」または「2.」に○をつけた方は
②にお答えください。

※①で「3.」または「4.」に○をつけた方は
③にお答えください。

↓

②住み続けたい主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

↓

③住みたくない主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

1. 自然が豊かだから
2. 教育環境がよいから
3. 通勤や通学が便利だから
4. 医療や福祉が充実しているから
5. 日常の買い物が便利だから
6. 生活する環境が便利だから
7. 職場があるから
8. 親や親戚がいる住み慣れた土地だから
9. 友人など人間関係があるから
10. 町の将来に希望がもてるから
11. 特に理由はない
12. その他

(具体的に：)

1. 日常の買い物が不便
2. 道路事情や交通の便が悪い
3. 地域の行事や近所づきあいが面倒
4. 子どもの保育・教育のことが心配
5. 町内に適当な職場が少ない
6. 保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
7. 消防・防災・防犯体制に不安を感じる
8. スポーツ施設や文化施設が不十分
9. 生活基盤施設の整備が遅れている
10. コミュニティ活動など住民の交流がない
11. 情報通信基盤が整っていない
12. その他

(具体的に：)

※ 質問には、あなたの尺度であなたの感じるままにお答えください。自分が関わっていない部分などでわからない場合は、周囲の状況をもとに考えてお答え下さい。

中標津町全体についてお伺いします。

問 4

全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
<u>○満足している理由</u>	<u>○満足していない理由</u>

問 5

まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 関心を持っている | 3. どちらかといえば関心を持っていない |
| 2. どちらかといえば関心を持っている | 4. 関心を持っていない |

問 6

町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
<u>○そう感じる理由</u>	<u>○そう感じない理由</u>

問 7

今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 健康で安心して暮らせるまち | 6. 広域的な拠点都市機能が集積したまち |
| 2. 酪農や商工業など活力ある産業のまち | 7. 教育文化スポーツ等の水準の高いまち |
| 3. 自然と共生する美しいまち | 8. 多くの人が訪れる観光・交流のまち |
| 4. 便利で快適に暮らせるまち | 9. その他 |
| 5. 町民同士がふれあい豊かに暮らすまち | (具体的に：) |

生活環境についてお伺いします

問 8

中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 9

道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 10

自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 11

公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 	○満足していない理由

問 13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 広域幹線道路（国・道道）の整備充実 2. 町内幹線道路の整備充実 3. 地区内の身近な生活道路の整備充実	4. 中標津空港の航路の充実 5. 路線バスの利便性向上 6. その他（具体的に：
---	---

問 14 安定して水道水が利用できていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由 	○そう感じない理由

問 15 墓地の施設に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 	○満足していない理由

問 16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 道路の改良、舗装 2. 道路側溝の整備 3. ガードレール等交通安全施設 4. 下水道・排水路 5. 駐車場 6. 公園、子どもの遊び場（ひろば）	7. 集会所 8. 高齢者福祉施設 9. 障がい者福祉施設 10. 商店・スーパー 11. 街路灯・防犯灯 12. その他（具体的に：
---	--

問 17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 18 地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 環境美化活動の支援 2. ごみ減量化・リサイクル活動の支援 3. 不法投棄など取り締まりの強化 4. 河川の水質浄化対策の推進 5. 省エネルギーや新エネルギーの導入	6. 緑あふれる景観づくりの支援 7. 自然保護運動の支援 8. 自然環境の調査・監視体制の強化 9. 環境保全意識の啓発 10. その他（具体的に：
--	---

問 19 日常生活でインターネットなどを活用していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 活用している 2. どちらかといえば活用している	3. どちらかといえば活用していない 4. 活用していない
--------------------------------	----------------------------------

問 20 インターネットを活用した社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 2. 町のホームページの充実 3. 申請・届出など手続の電子化 4. 各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供	5. 学校・生涯学習など情報教育の充実 6. 個人情報保護対策等セキュリティ強化 7. 情報弱者への対応 8. その他 （具体的に：
---	--

問 21 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. している 2. どちらかといえばしている	3. あまりしていない 4. していない
----------------------------	-------------------------

問 22 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 参加している 2. たまに参加している	3. あまり参加していない 4. 参加していない
---------------------------	-----------------------------

問 23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 消防・救急体制（消防署）の充実 | 7. 防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実 |
| 2. 消防団の体制の充実 | 8. 災害時の情報連絡体制の充実 |
| 3. 防火・防災意識の啓発活動の充実 | 9. 河川など災害発生危険箇所の整備 |
| 4. 消火訓練・避難訓練の充実 | 10. その他 |
| 5. 地域における自主防災組織の育成 | (具体的に：) |
| 6. 防災ボランティアの育成 | |

問 24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

環境問題への取り組みについてお伺いします

問 26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 意識している | 3. どちらかといえば意識していない |
| 2. どちらかといえば意識している | 4. 意識していない |

問 27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. している | 3. あまりしていない |
| 2. どちらかといえばしている | 4. していない |

産業振興についてお伺いします

問 28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 参加している

2. どちらかといえば参加している

3. どちらかといえば参加していない

4. 参加していない

問 30 地元で買い物をすることを意識していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 意識している

2. どちらかといえば意識している

3. どちらかといえば意識していない

4. 意識していない

問 31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 商店の専門店化や品揃えの充実

2. 歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備

3. 地元商業者主体の共同店舗等の整備

4. 休業日、営業時間の改善など

5. イベント、売出し等共同事業活発化

6. 駐車場や自転車置き場の整備

7. 後継者（若手経営者）の確保・育成

8. 核となる大型店の誘致

9. その他

（具体的に： _____ ）

問 32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 美しい景観の保全・整備 | 7. 観光ルート設定や観光案内標識整備 |
| 2. 既存観光施設の充実 | 8. 町外への観光PRや情報提供の強化 |
| 3. 地域特色のある観光・体験施設整備 | 9. 地域性のある各種イベントの充実 |
| 4. 観光サービス施設の整備 | 10. 来訪者へのサービスの向上 |
| 5. 地域特色のある料理、土産品の開発 | 11. その他 |
| 6. リゾート施設やテーマパークの整備 | （具体的に： _____ ） |

問 34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している }
2. どちらかといえば満足している }

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない }
4. 満足していない }

○満足していない理由

保健・医療・福祉についてお伺いします

問 35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している }
2. どちらかといえば満足している }

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない }
4. 満足していない }

○満足していない理由

問 36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 医療機関の充実 | 7. 健康づくり活動の充実 |
| 2. 救急・休日・夜間医療の充実 | 8. 健康に関する知識の普及 |
| 3. 往診・訪問看護など在宅医療の充実 | 9. 保健師などの訪問活動の積極的推進 |
| 4. 各種検診の充実 | 10. 食育や食生活改善運動の推進 |
| 5. 感染症対策の充実 | 11. その他 |
| 6. 健康教育や健康相談の充実 | （具体的に： _____ ） |

問 37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
<u>○そう感じる理由</u>	<u>○そう感じない理由</u>

問 38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 保育所の充実	5. 子どもの遊び場など公園の整備
2. 子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	6. 児童館の整備
3. 子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化	7. 児童虐待の予防・解消対策の推進
4. 学童保育の充実	8. その他
(具体的に：)	

問 39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
<u>○そう感じる理由</u>	<u>○そう感じない理由</u>

問 40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 生きがいづくりや働く場の充実	5. 介護保険サービスや施設の充実
2. 安心して利用できる道路づくりや施設づくり	6. 高齢者保健福祉サービスや施設の充実
3. 高齢者と若い世代の交流機会の充実	7. 地域で見守るような住民の助け合い活動の育成
4. 学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実	8. その他
(具体的に：)	

問 41 障がい者サービスが整っていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	}	
○そう感じる理由		

3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない	}	
○そう感じない理由		

問 42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 相談窓口や情報提供の充実	6. 就労に向けた支援や雇用環境の整備
2. 障がいの早期発見と教育・療育の充実	7. 障がいへの理解や交流
3. 在宅支援サービスの充実	8. 社会参加の促進
4. 入所施設やグループホーム等の整備	9. ボランティア活動などの地域福祉活動の促進
5. ユニバーサルデザインなどによるまちづくりの推進	10. その他 (具体的に：)

問 43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	}	
○そう感じる理由		

3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない	}	
○そう感じない理由		

問 44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 毎年受けている | 3. 定期的ではないが受けたことがある |
| 2. 毎年ではないが定期的に受けている | 4. 受けたことがない |

教育・文化・スポーツについてお伺いします

問 45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 46 青少年を見守る活動に参加していますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 参加しているし、今後も参加したい

2. 参加していないが、今後は参加したい

3. 参加しているが、今後は参加するつもりはない

4. 参加していないし、今後も参加するつもりはない

問 47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成

2. 地域ぐるみでの子どもの育成活動

3. ボランティア活動に重点をおいた教育

4. 地域特性や地域の人材を活用した特色ある教育

5. スポーツに力を入れた教育

6. 音楽や美術に力を入れた教育

7. 情報化に対応できる教育

8. 基礎的な学力の向上を目指す教育

9. 食育に関する教育

10. いじめなどの心の問題への対応

11. 子どもの安全・安心対策の強化

12. その他

(具体的に：

)

問 48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 取り組んでいる

3. あまり取り組んでいない

2. どちらかといえば取り組んでいる

4. 取り組んでない

問 49 生涯学習情報誌「らいふまっぷ」から知りたい情報は得られていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 得られている

3. どちらかといえば得られていない

2. どちらかといえば得られている

4. 得られていない

問 50 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 51 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. 音楽・美術などの鑑賞機会の充実 |
| 2. 指導者や相談体制の充実 | 7. 学習・文化活動等の発表機会の充実 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 8. 学習・文化団体への支援 |
| 4. 文化施設など活動の場の整備充実 | 9. 文化イベントの企画・開催 |
| 5. 史跡・文化財の保存や伝統文化の後継者の育成 | 10. その他
(具体的に：) |

問 52 運動やスポーツに取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない |
| 2. どちらかといえば取り組んでいる | 4. 取り組んでない |

問 53 スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 指導者や相談体制の充実 | 5. スポーツ団体への支援 |
| 2. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. スポーツイベントの企画・開催 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 7. その他 |
| 4. スポーツ施設など活動の場の整備充実 | (具体的に：) |

人権・男女共同参画についてお伺いします

問 54 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
}  ○そう感じる理由 	}  ○そう感じない理由

問 55 男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 女性の働く場所の充実 | 6. 男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 |
| 2. 保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 | 7. 町の審議会や委員会などへの女性の登用 |
| 3. 育児・介護休業制度の一層の普及 | 8. 男女共同参画についての学習の充実 |
| 4. 女性の就労条件など企業に対する啓発 | 9. その他（具体的に：) |
| 5. 女性のための職業訓練の機会の提供 | |

問 56 女性が抱える様々な悩みに対応する相談窓口があることを知っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 知っている

2. 知らない

地域間交流についてお伺いします

問 57 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. そう思う

3. どちらかといえばそう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. そう思わない

問 58 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 国内外の姉妹・友好都市交流

6. 案内板や刊行物等の外国語併記

2. スポーツ、文化を通じた人的交流

7. 地域の歴史等を通じた交流

3. 文化などを紹介するイベント

8. その他

4. 町内や隣接圏域の外国人との交流会

(具体的に：

5. 学校教育・生涯学習などでの外国語教育

)

北方領土問題についてお伺いします

問 59 北方領土問題を身近な問題として感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

3. どちらかといえばそう感じない

2. どちらかといえばそう感じる

4. そう感じない

○そう感じる理由

○そう感じない理由

取り組みに対する費用負担についてお伺いします

問 60 これまでの設問4から設問59において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 賛成である

4. どちらかといえば反対である

2. どちらかといえば賛成である

5. 反対である

3. どちらともいえない

6. その他（

)

住民活動等についてお伺いします

問 61

地域活動・ボランティア活動についてお伺いします。

① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。（1つに○印を付けて下さい。）

- 
- 1. 現在、参加しているし、今後も参加したい
 - 2. 現在、参加していないが、今後は参加したい
 - 3. 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない
 - 4. 現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない

【①で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。】

② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（3つまで○印を付けて下さい。）

- 1. 町内会や自治会などの活動
- 2. 公園・道路の清掃や花壇の世話
- 3. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動
- 4. 農協や商工会などの活動
- 5. 老人クラブや女性団体、子ども会などの活動
- 6. 子育て支援に関する活動
- 7. P T A、青少年の健全育成に関する活動
- 8. 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動
- 9. 伝統芸能の保存に関する活動
- 10. 高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
- 11. 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
- 12. 募金や寄付、バザー等に関する活動
- 13. 地域づくりやまちおこしに関する活動
- 14. 自主防災や災害援助に関する活動
- 15. 交通安全に関する活動
- 16. パトロールなど防犯に関する活動
- 17. 国際交流、国際協力に関する活動
- 18. その他（具体的に： _____）

中標津町役場についてお伺いします

問 62

町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 63 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

3. どちらかといえばそう感じない
4. そう感じない

○そう感じない理由

将来人口目標について伺います

問 64 第6期中標津町総合発展計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）では、平成32年度の将来人口を25,000人（平成29年3月末現在 23,582 人）と設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

[illegible]

行政との関わりについてお伺いします

問 65 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実
2. できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実
3. 講座や教室の開催等を通じた、まちづくりに関する学習機会の提供
4. 地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり
5. 町民参画・協働のまちづくりの方向性や基本的な役割分担等を定めた自治基本条例の適切な進行管理
6. 各種行政計画策定の際の審議委員の一般公募、パブリックコメント（ホームページ等を通じた住民意見の募集）の充実
7. 公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への町民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり
8. 新たなまちづくりの担い手としてのNPO（民間非営利組織）等の育成・支援
9. その他（具体的に：

防災対策（情報収集）についてお伺いします

問 66 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。
(あてはまるもの全てに○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 「広報中標津」 | 4. コミュニティFMラジオを活用した防災放送 |
| 2. 中標津町緊急情報メール「キキボウ」 | 5. テレビ |
| 3. インターネットやスマートフォン | 6. その他（ ） |

問 67 コミュニティFMラジオを活用した防災放送についてお伺いします。
あなたは、コミュニティFMラジオを活用した防災放送を聞いたことがありますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 1. よく聴いている | 3. 放送していることは知っているが、
聴いたことはない |
| 2. たまに聴いている | 4. 放送していることを知らず、
聴いたことがない |

自由意見について

◎ あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

[illegible]

最後のページに続く→

別添

町税等の納付方法についてお伺いします。

問 I 納付方法の一手段として、クレジット納付を導入した場合、利用したいと思いますか？(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 利用したい



○利用したい理由

※「利用したい」に○を付けた方は問Ⅱにお進みください

2. 利用したくない



○利用したくない理由

※「利用したくない」に○を付けた方は、問Ⅳへお進みください

問 II 納付方法の一手段として、クレジット納付を導入した場合利用したい町税等がありますか？(番号に○印を付けてください※複数回答可)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 町道民税（普通徴収）※納付書や口座振替で納付する住民税 | 6. 介護保険料 |
| 2. 固定資産税・都市計画税 | 7. 上下水道料 |
| 3. 軽自動車税 | 8. その他（ ） |
| 4. 国民健康保険税 | 9. わからない |
| 5. 後期高齢者医療保険料 | |

問 III クレジット納付を導入した場合、手数料についてどのように思いますか？
(1つに○印をつけてください)

1. 納付者が負担するもの

3. 町と納付者双方が負担するもの

2. 町が負担するもの

4. わからない

問 IV その他、町税等を納付しやすくするためのアイデアなどご意見がありましたら、記入してください

ご協力ありがとうございました。

※ ご記入いただいた調査票は5月31日(木)までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)



町 民 憲 章

(昭和 40 年 7 月 1 日制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】 シラカバ



【町の花】 エゾリンドウ

発 行 中標津町 総務部 企画課

〒086-1197 標津郡中標津町丸山 2 丁目 22 番地

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@aurens.or.jp